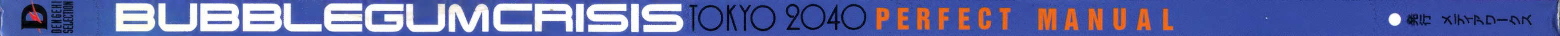
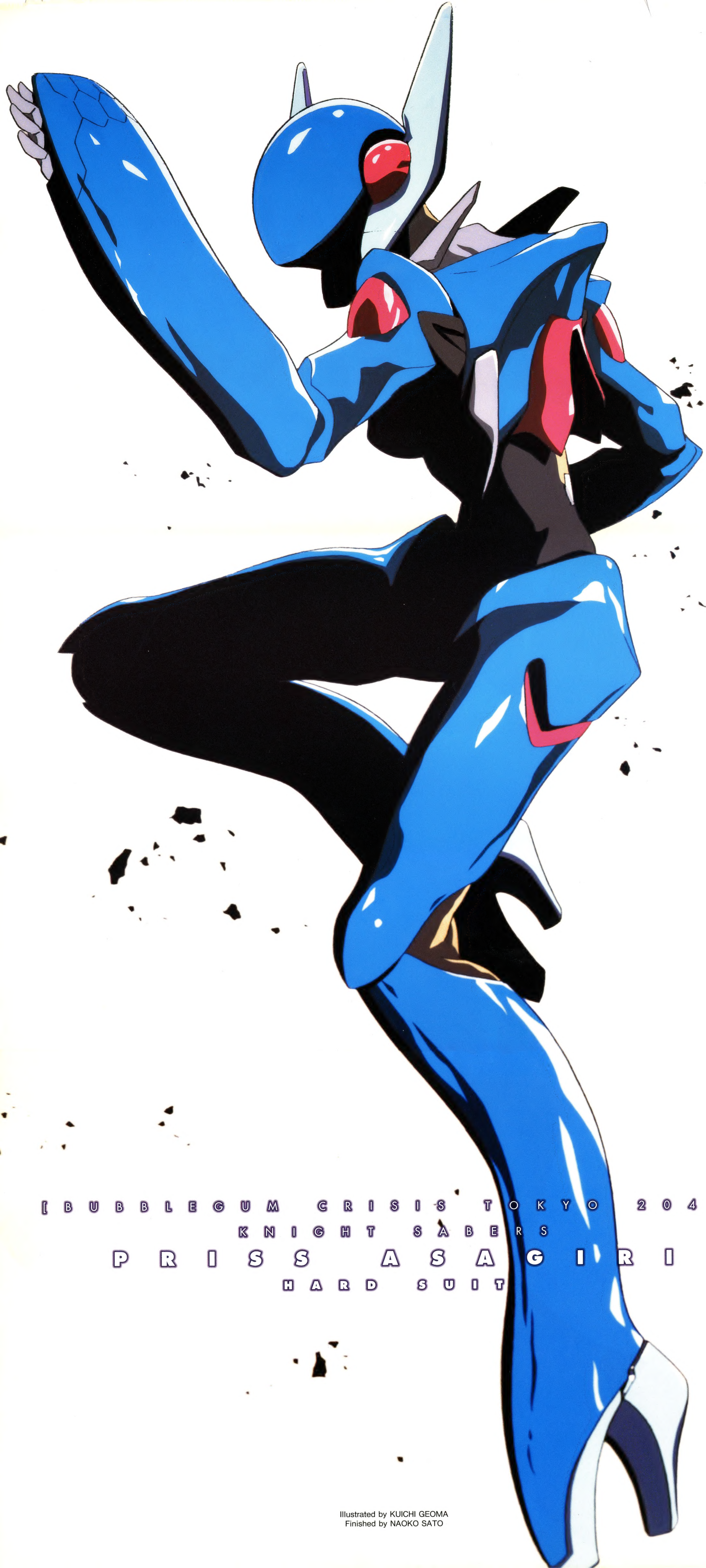

D DENGEKI SELECTION
LINNA YAMAZAKI
SYLIA STINGRAY
VOOMER
KNIGHT
BUBBLEGUM CRISIS
PRISS ASAGIRI
GENOM CORPORATION
TOKYO2040
PERFECT MANUAL


DENGEKI SELECTION
BUBBLEGUM CRISIS TOKYO 2040 PERFECT MANUAL
発行 メディアワークス



DENGEKI SELECTION

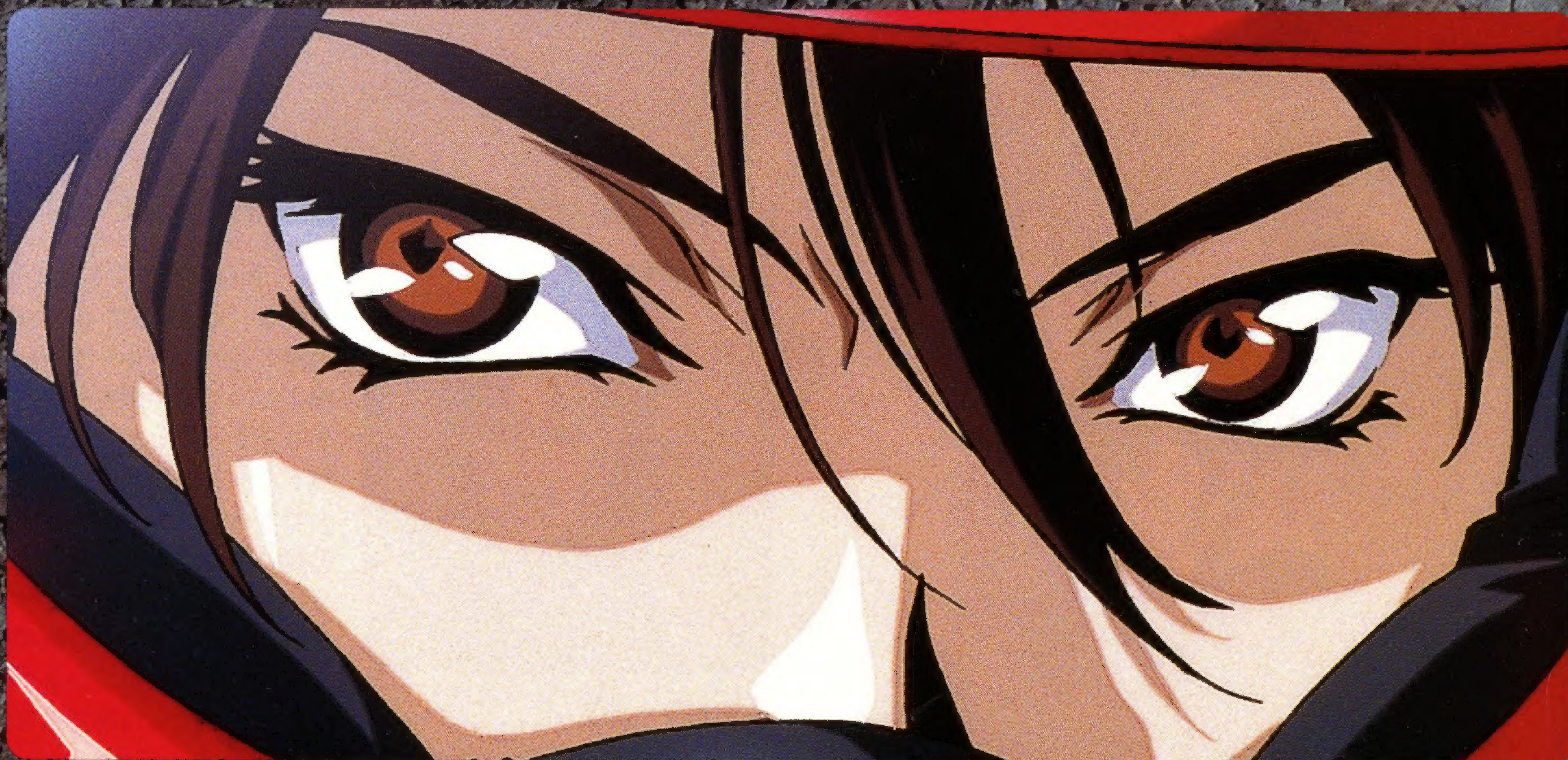


Illustrated by KUICHI GEOMA
Finished by NAOKO SATO



Illustrated by JUNICHI TAKAOKA／Finished by NAOMI ENDO／Special effected by TAKAHIRO HUKUDA

BUBBLEGUM CRISIS TOKYO 2040



PERFECT MANUAL

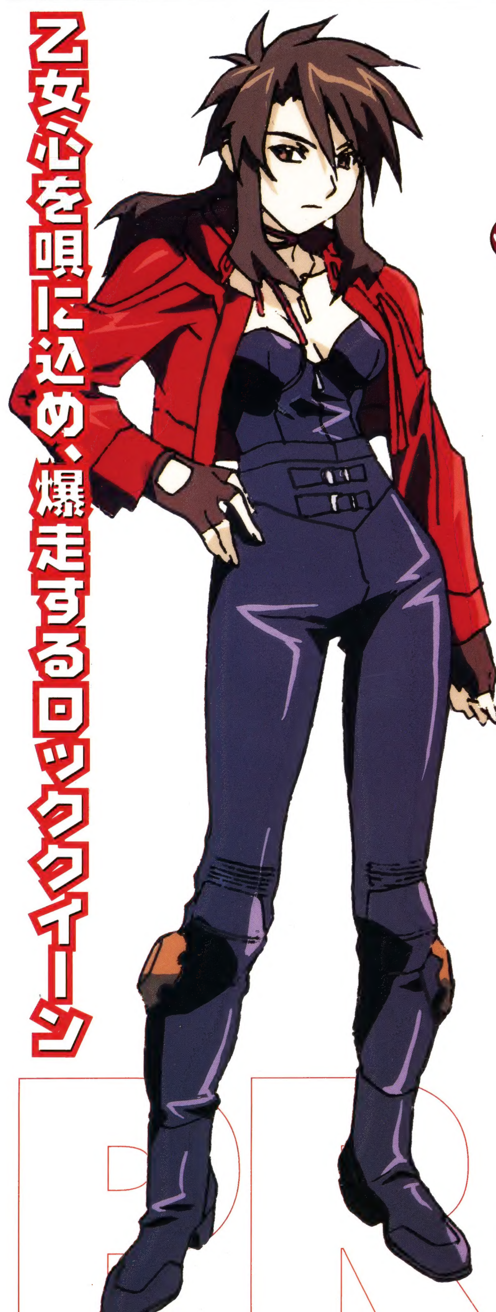
バブルガムクライシスTOKYO2040
パーフェクトマニュアル

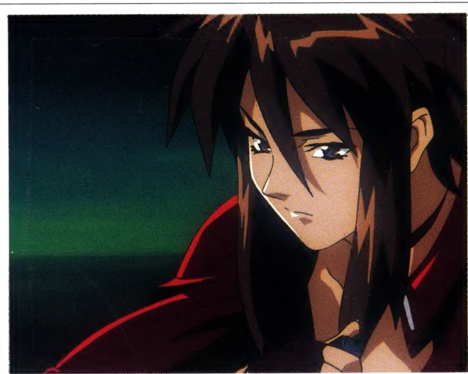
CHARACTER FILE

PRISS ASAGIRI [KNIGHT SABERS]

[プリス・S・アサギリ]

乙女心を唄に込め、爆走するロッククイーン







Voice

浅川 悠 ASAKAWA YU

〝ホットレッグス〟をハコにして活動しているバンド〝セキリア〟のヴォーカル。外区に打ち捨てられたトレーラーハウスに住み、気が向くとバイクで街中を疾走する。また、副業としてナイトセイバーズに参加、適応年齢を越えたシリアに代わる主戦力となっている。普段から口数も少なく愛想がない。一見人との関わりを避けているように見えるが、ナイジェルに密かな思いを寄せるなど、実際にはそれ程かたくなでない事がやがて明らかに。ADポリスを嫌っているが、その理由も他人から見れば大した事ではない。



HARD SUIT

プリスのハードスーツは格闘戦用に作られている。マッドブーマに対する直接攻撃でダメージを与えるボムを、ナックル部を始め各所に装備。新・旧スーツの外見に極端な相違は見られない。

PRISS

バブルガムキカイデス

その弐 プリス・アサギリの巻

by. Shinji Aramaki

ブーストキック＋キックボムでドトゲを倒すプリス。破壊力絶大だが、これで目標にヒットしないと10回転位するハメになることもしばしば……

バシューッ

プリスがプライベートで乗ってるバイク。ガスタービンエンジン駆動だが！ほとんどが電気動力になっているこの時代には、法外(?)な税金が課せらるらしい。でも当然、プリスは払ってはいないが…。ガスエンジン等、全てにナイジェルの手が入っているらしく、プリスが知らないうちにモトスレイヴのテスト用のパーツ等も組み込まれていたり

(マッキー談)

プリスのハードスーツ(TV版)はリンナと同じく、OAV版の後期タイプをベースに若干の変更を加えた物。このイラストはさらにその別バージョン。リンナが参加するに際し、予算が足りにならない…と、ぼやくプリスに、シリアが提案した武装強化型。通称「ボムスーツ」。基本のナックルボム、キックボムに加えてエルボー(ヒジ)、ニー(ヒザ)、そして極めつけはヘッド・ボム。それにショルダーにもボムが追加装備されている。プリスは更に、カカト・ボムも欲しいと言ったとか…

OAV版 初期型プリス用ハードスーツ これがスペースのオリジナルである。(デザインは園田健一氏)

腕部が左右非対称で右腕にレールガン×3とビームガン×1が仕込まれている。

意外なことに最初にナックルボムを装備していたのは、プリスではなくリンナのハードスーツだったのでした。

ナックルボム(拳)の分解図

衝撃吸収装置

本体ケース

成型炸薬

カバー＆信管

⇩足のUP こんな感じでプリスの足が入ってる。見た目に大変そう。

キックボム×6コ

クルブシの前にキックボム用ブースター(左右)

ガチョッ

ナックルボム使用時。

こっちの手はプリスの手がそのまま入ってる。各種アタッチメント装着有。

ニーボム (ボムヒザ当たり)

■イラスト・文／荒牧伸志（ビデオテープ＆ＬＤ第２巻ライナーノートより転載）

⇧手製のサンドイッチを頬張るプリス。料理は得意そうではないが、マスタードの付け過ぎに気づくぐらいの味覚は持ち合わせているようだ

⇨ガンを飛ばすような迫力に満ちた瞳の持ち主プリス。初めは無愛想だった彼女だが、回を重ねる毎に次第に穏やかな表情になってゆく

⇨賭けに負けドレス姿にさせられてむくれる図。ただし服を選んだのは自分自身だった

⇧“ホットレッグス”で熱唱するプリス。プリスの本音は唄として吐き出される

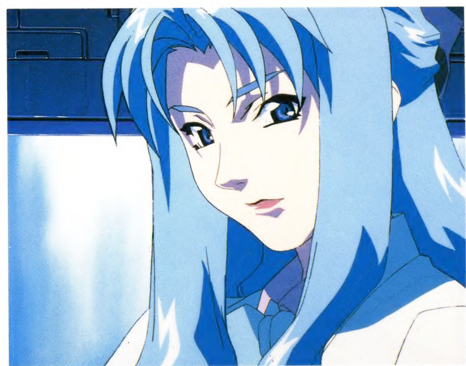
⇦シリア程ではないが、ハードスーツが嫌悪していたブーマだと知って驚愕する

CHARACTER FILE

SYLIA STINGRAY [KNIGHT SABERS]

[シリア・スティングレイ]

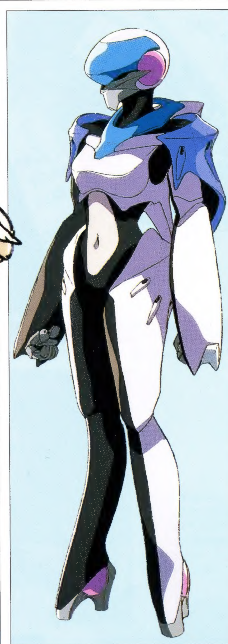
悲しい過去に縛られた、ブティックオーナー

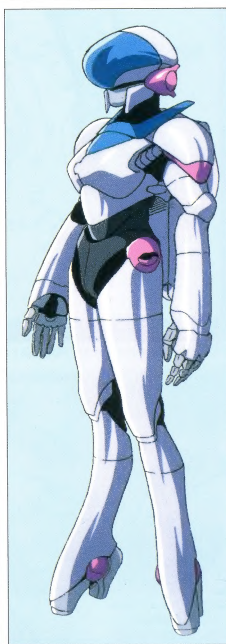




雪乃五月 YUKINO SATSUKI

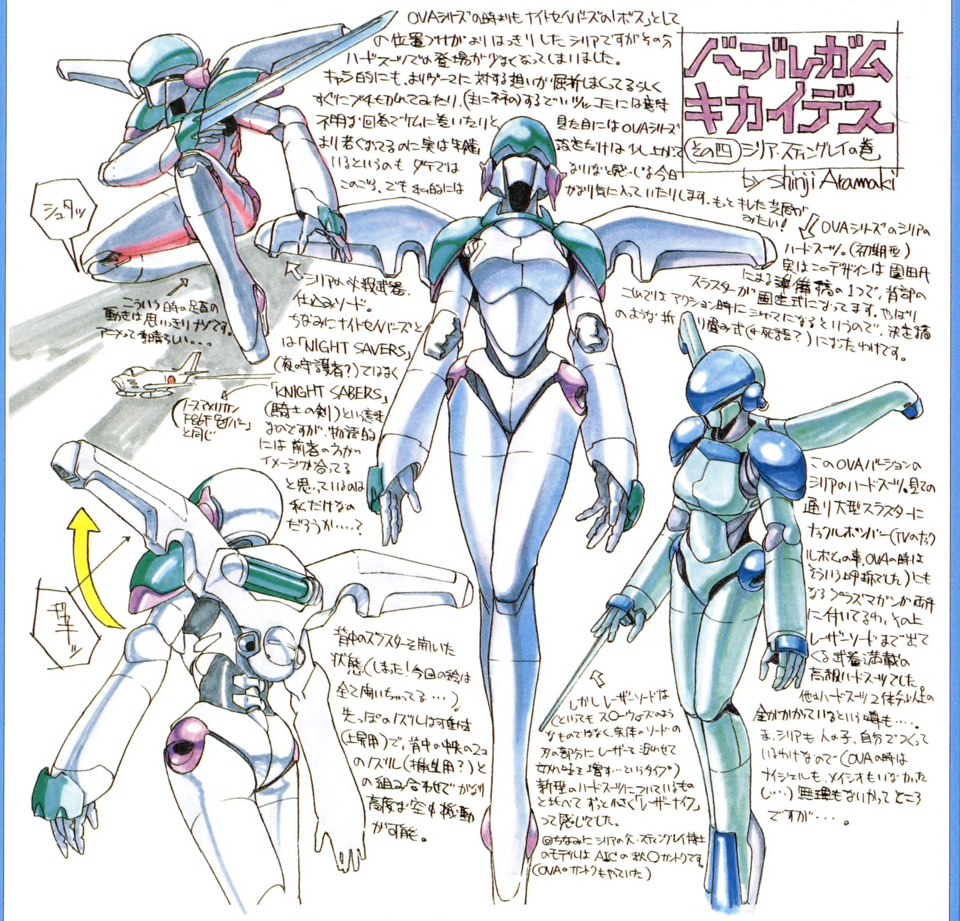
この物語の実質的なヒロイン。自社ビルを持つブティック〝シルキードール〟の代表にして、亡きスティングレイ博士の実娘。彼女が幼少の時、父親は彼女に愛情を注ぐ時間と懐を持ち合わせていなかった。加えて、母の死と、父にブーマ製造のための実験体にされた事が彼女の精神を屈折させた。この屈折からブーマを憎む彼女は、ブーマを開発して得た父親の遺産をブーマの破壊に使用する事を思い立つ。かくして、非合法なマッドブーマの始末屋、ナイトセイバーズを組織。時にはリーダーとして前線に出る事も。





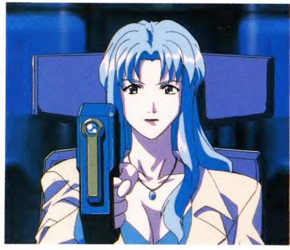
HARD SUIT シリアのハードスーツはナイトセイバーズ（騎士の剣）の名に相応しくソードを装備。背中には翼のようなスラスターがあり、蝶のように舞い、蜂のように刺す。設定上スーツのメインカラーは銀色

SYLIA



■イラスト・文/荒牧伸志(ビデオテープ&LD第4巻ライナーノートより転載)

⇨ナイトセイバーズのリーダーとして出撃を指揮するシリア。射出チャンバーのスイッチは引き金状になっている



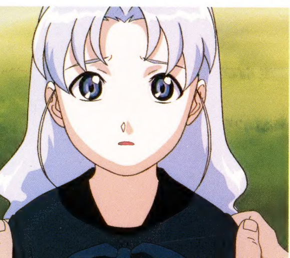


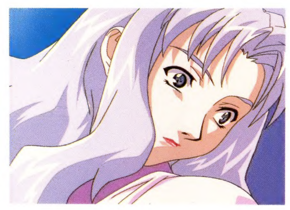
⇧ニュースーツに身を包んで出撃したシリアは、ブーマの長たるガラテアに対して私怨をあらわにする。一方、ガラテアは壮大な野望を胸に秘めていた

⇨感情を爆発させるシリア。母親の激しく、時として抑えがきかなくなる性格を受け継いだ。反面、母性的な優しさも秘めているのだが……



⇨父母をこよなく愛する、汚れなき幼少期のシリア。しかし彼女に対する父親・スティングレイ博士の所業は、この時期から徐々に彼女の精神を蝕み始めていた





⇦虚勢を張って生きてきたシリア。しかし“最愛の弟”であるマッキーの精神を奪われ、自らも殻の中に閉じ籠もってしまうことに

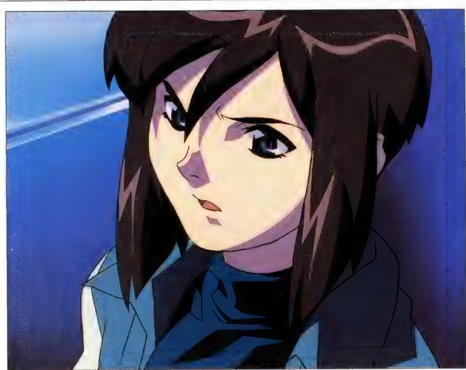
CHARACTER FILE

LINNA YAMAZAKI [KNIGHT SABERS]

[リンナ・ヤマザキ]



熊本出身。負けず嫌いのオフィスレディー





夏樹リオ NATSUKI RIO

ナイトセイバーズに接近し、参加・活動するに至るまでを体験する、視聴者にとっての物語序盤の案内役。九州は熊本に生まれ育ち、就職のために上京したばかりの新人ＯＬ。ゲノム系企業であるヒューガイド社の営業第二課に勤務している。負けん気の強い性格で、幸運に恵まれなかった反動からか、自ら人生を切り開く、というスタンスで生きている。４人の中ではいちばん平凡に見えるが、高校時代は〝大運動会〟な日々を過ごしていたらしい。一見しっかり者だが意外とドジでナイーブ。本名は漢字で〝山崎琳那〟と書く。





HARD SUIT リンナのハードスーツは、当然ながら４人の中でいちばん最後に開発された。ナイジェルが趣味で取り付け（?）、ネネが羨ましがったブレードカッターは、あらゆるものを一瞬にして切り裂くリボン

LINNA

バヴルガム キカイデス
その壱
リンナ・ヤマザキの巻
by Shinji Aramaki

■イラスト・文／荒牧伸志（ビデオテープ＆ＬＤ第１巻ライナーノートより転載）

⇨リンナがナイトセイバーズに入ったのは自分を探すため。やがて本当の自分に出会える日を信じて彼女は戦い続ける

⇦係長から理不尽な叱責を食らってムカツク図。感情をストレートに出してしまうタイプで、その辺りで人生的に損をしてしまう性質のようだ

⇩新入社員の味見係長、ケインに飛ぶリンナの鉄拳。陸上競技で鍛えた体から繰り出されるパンチは、想像以上に強力だ。１話のラストのケインの悲鳴も当然かも

⇩入社当初はナイトセイバーズ絡みで勤務態度は悪かったが、持ち前の負けん気で成績を上げ、半年後には一課に配置変えになっている

⇨物語の後半明かされる驚愕の真実。実はリンナは酒乱だった……！（笑）

CHARACTER FILE

NENE ROMANOVA [KNIGHT SABERS]

[ネネ・ロマノーヴァ]

技術は天才的、心は等身大の通信オペレーター







小西寛子 KONISHI HIROKO

ナイトセイバーズの情報面を、天才的な能力で処理する。普段はブーマ事件処理のために設立された特殊警察、ＡＤポリスの情報センターでオペレーターを務めている。弱冠18歳でありながら、大人を手玉に取るような存在。その反面、年齢相応の心の弱さも持ち合わせているため、落ち込むこともたまにある。が、生来の明朗快活な性格が幸いして立ち直りも早い。シリアにその才能を見いだされ、セイバーズの一員となるが、当初は運動能力面で苦労したらしい。チーム（番組？）のムードーメーカー的な役割でも多大に貢献。



HARD SUIT

ネネのハードスーツは後方支援に適し、飛び道具のニードルガンを装備。情報処理面に重きを置く設計で、各種アンテナが特徴的。運動性が低いのは偏食過多で運動不足のネネ自身に問題あり（?）

■イラスト・文/荒牧伸志(ビデオテープ&LD第3巻ライナーノートより転載)

⇨天才少女らしく、精神的には純粋なまま成長してしまったネネ。シリアに好きだと言われて、思わずイケナイ関係を想像してしまう

⇩新入りのリンナに対して先輩として接するネネ。大いに先輩風を吹かせるが、それでも厭味にならない所が彼女の最大の魅力かも♡

⇦宇宙飛行士に憧れていたという、夢多き少女の一面も持っているネネ。だが、現実はそれを許さず、タッパが足りずに断念。精神と肉体のアンバランスが原因で落ち込むこともある

⇧時と人と場所・場合によって態度がコロコロと変化するネネ。ADポリスのフロンターであるレオンは、彼女にとって好きなタイプに属するが、その対応はひたすら冷たい

⇦例えハードスーツを装着していても、プリスはネネを戦力として認めていなかった。しかし、彼女の情報面での力には侮れないものがあり、後で後悔することに……

THE OTHERS



CHARACTER FILE

[その他の人々]

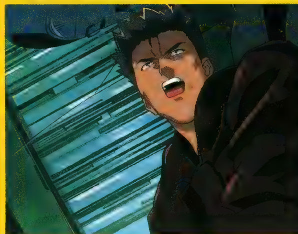
途中で消えた者、途中参加の者、はたまた一度しか登場していない者。だがいずれも、2040年の日本に生き、『バブルガム』の世界を形成するために重要な人物ばかり。ここでは、セミ・レギュラー＆ゲストのキャラクター達をご紹介しよう。中には、旧作ＯＶＡ版の監督もいるらしいゾ。

ナイジェル・カークランド




36歳。ナイトセイバーズのメカニック制作、及びメンテナンスを担当。普段は外区のバイク工房で働いている。震災前は〝ウィズラボ〟のブーマ部門で研究員をしていた。寡黙で、他人に干渉しない事を心情とする。（３話〜）

レオン・マクニコル




24歳。ADポリスフロンター。元々はノーマルポリスにいたが、志願してADポリスへ。職務を奪うナイトセイバーズに敵意を燃やす。仕事においては考えるより先に行動するタイプだが、恋愛に関しては奥手。（１話〜）

メイシオ・ヘンダーソン



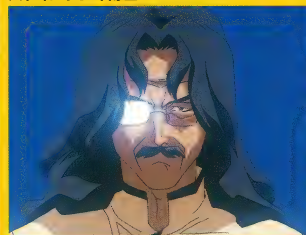

73歳。シリアが幼い頃から仕えている忠実な老執事。ナイトセイバーズの活動を続けるシリアを常に心配し、見守っている。残りの人生をかけてシリアに仕え、その生涯を全うする事が彼の望みである。（１話〜）

デイリー・ウォン



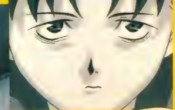

25歳。ADポリスフロンター。相棒のレオンとは対照的に、冷静沈着な皮肉屋。だが、なぜか気が合い、最高のコンビネーションを見せる。知識も豊富で、コンピュータにも精通。実家は農場を営んでいる。（１話〜）

スティングレイ博士




ブーマ研究施設〝ウィズラボ〟の所長であり、シリアの父親。その人生の大半をブーマ開発に費やし、娘のシリアでさえもその実験台にしてしまう。だが、ガラテアの暴走による〝ウィズラボ〟壊滅時に死亡。（４話〜）

ブライアン・Ｊ・メイスン

38歳。ゲノム副社長。会長に忠実な腹心を装ってはいるが、その胸中には「ブーマを覚醒させ、新しい世界を造る」という、大いなる野望を秘めている。子供の頃の手術により、体内には人工臓器が埋め込まれている。（２話〜）

ニック・ローランド




45歳。ADポリスフロンターチーフ。レオンとは常に衝突をしているが、いちばんその心情を理解している良き上司。トーテムポール占拠事件においては、Ｋスーツでブーマと戦い、元フロンターとしての実力を発揮した。（２話〜）

クインシー・ローゼンクロイツ




89歳。ゲノム会長。肉体を生命維持装置に繋ぎ生き長らえる、メガロシティの実質的支配者。ブーマにより東京を復興させ、人とブーマが共に暮らす理想郷の設立を目指すが、志半ばはメイスンの裏切りによって暗殺される。（１話〜）



フォックス
"セキリア"のベース担当。ロン毛で茶髪の優男。バンドの女性ファンには人気がありそうだが、メンバーの中ではイマイチ影が薄いかも…。（1話〜）



ジェイド
"セキリア"のドラム担当。その巨漢で、豪快なスティック裁きを見せる。セキリアで世界ツアーをするのが夢であったが、東京ブーマ化により泡と消えてしまう。（2話〜）



マクソン
"セキリア"のギター担当。目下の悩みはプリスには女性のファンが多く、男性ファンが付きにくいので、バンドの人気が伸び悩んでいる事。（1話〜）



ミサエ・タニグチ
リンナの会社の同僚で、一年先輩。リンナとは気が合うらしく、昼食も大抵一緒である。ブーマ嫌いで、曰く「なんであんなに人間に似せなきゃなんないの?」。（1話〜）



ムラカミ
クラタと同じくメイスン直属の部下。ブーマのマッド化工作から、ナイジェルとの接触、トンネルの破壊作業など、メイスンの命令であれば全てに従う。（4話〜）



オリヴァー・クラタ
メイスン直属の部下。ゲノムでも会長でも無く、メイスン個人の命令に従う忠実なる手足である。連絡役から作戦の指揮、時には自ら現場に赴く事も。（4話〜）



ヨシヒロ・クズイ
ゲノム社員。金と引き換えにシリアに社内の情報をリークしていたが、実は全てメイスンの計画の内であった。利用価値が無くなった途端、抹殺されてしまう。（2話〜）



ケイン
リンナの上司。新入社員査定係の立場を利用し、OLを喰い物にしていた「昧見係長」。リンナに手を出し鉄拳制裁を食らうが、それでも懲りずに今日も女性を誘う。（1話〜）



シャン大人
華人ネットワークのドン。7年前まで、ウィズラボに対しブーマ研究資金を出資していた。その為シリアを幼い頃から知り、尋ねてきた彼女へ助力をする。（13話〜）



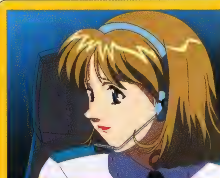
エレン・ノードバーグ
ビルの妻。3ヶ月間仕事で帰らぬ夫に不満を持ち、家に愛人を連れ込んでいた。しかし、モートの暴走とビルの死により、夫の愛の深さを知り後悔する。写真は新婚時代。（7話）



ビル・ノードバーグ
高圧力下用ブーマ実験施設の局員で、リモートスレイブ型ブーマ「モート」のリフレクター。作業中の事故により死亡するが、その記憶はモートへと受け継がれた。（7話）



マサキ
リンナの見合い相手。東京の大学を卒業後、父親の事業を継ぐために熊本に帰郷。リンナと意気投合するが、彼女がナイトセイバーズの出動で帰ってしまい破談(?)。（11話〜）



ネネの同僚
ネネと共にADポリス情報局で働くオペレーター達。写真はネネの隣の席のメグ(14話)。その他に、エリス(1話)や、男性オペレーターのチャック（11話〜）等がいる。



リンナの父母
熊本で農家を営む。勝手に見合いを決めてしまったり、常に父親と娘の間には衝突が絶えず、いつも母親がなだめ役に回っている。その実は娘の身を案じる普通の父と母である。（4話〜）



ヤン・ハルマ
ADポリス情報部長。ネネの直属の上司にあたる。ネネが凄腕のハッカーである事を知らずにいたが、トーテムポール占拠事件によりそれが発覚、仰天する。（16話〜）



タケヒコ・ヤノ
ADポリス総務部長。トーテムポール占拠事件では冷却装置を操作、暴走させ事件を解決した立役者。しかし、本当は第三種冷凍機械責任者の免許しか持っていない。（16話〜）



プリオ
雄。ネネのペット(?)のフェレット。モニター内をうろちょろしたり、ぬいぐるみとして悩み相談役になったりする。"プリオ"は、元々ネネのハンドルネーム。（2話〜）



リンナの上司
リンナに仕事を教える振りをして身体に触るセクハラ上司。リンナに「いつか殺す!」と陰口を叩かれる。某アニメ制作会社のプロデューサーW氏がモデル?（12話〜）



マリア・ローランド
ニックの娘。帰りの遅いニックを心配して、レオンのナビに通信する親思いの娘である。料理が得意らしく、ニックは彼女との写真をパスケースに入れる程の溺愛ぶり。（17話）



シリアの母
シリアが幼い頃に死去。仕事にのめり込み家庭を顧みない夫スティングレイ博士を恨み、徐々に精神を蝕まれていった。その性格は、シリアにも受け継がれている。（4話〜）

VOOMER



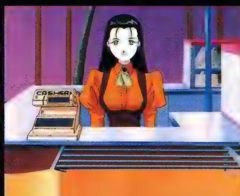
マッキー・スティングレイ

◎シリアにインプラントされたナノメカニズム＝素体から生み出された最初の人造人間。人間に近付き過ぎた事から量産化されなかった。プロトタイプである彼は、シリアの弟・マッキーとして人知れず人間社会で暮らし始める。心を持ち、人間との相違は肉体的な成長がない事

HUMAN TYPE VOOMER [ヒューマンタイプブーマ]



↑ヒューガイド社の新入社員教育担当ブーマ。仕事の説明をするだけでなく、忠告、罰則、査定等、人間の上司と変わらない判断をくだす（1話〜）



↑ヒューガイド社近くにあるファーストフード店ドスバーガーで働く店員。レジ係だけでなく、店内の清掃などの雑用も人間同様にこなす（1話〜）



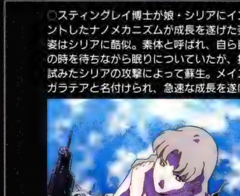
↑ゲノム本社で働くメイスンの秘書壱号。会長の命令でスパイ行為をしたためメイスンに銃で撃たれ、会長の暗殺を命じられる（2〜18話）



↑オープンカフェで働くウェイトレス。質の悪い男性客に、こぼしたコーヒーをなめさせられた事がきっかけでマッド化してしまう（3話）



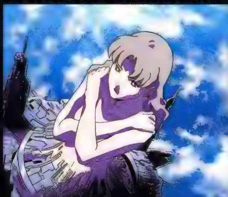
↑秘書ブーマ弐号。メイスンに屈折した愛を注がれ、二人は異常な関係を構築。彼女が進化する事をメイスンは望んでいる（5話〜）



ガラテア



◎スティングレイ博士が娘・シリアにインプラントしたナノメカニズムが成長を遂げた姿。容姿はシリアに酷似。素体と呼ばれ、自ら目覚めの時を待ちながら眠りについていたが、抹殺を試みたシリアの攻撃によって蘇生。メイスンにガラテアと名付けられ、急速な成長を遂げる



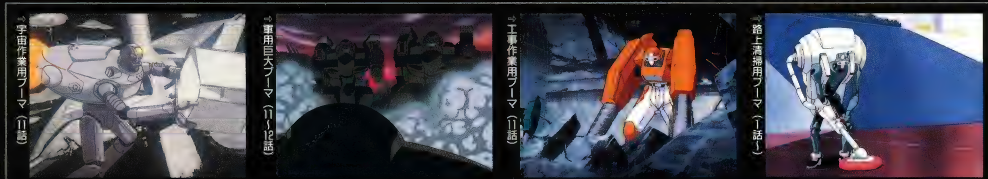








一般にゲノムコーポレーションは、大震災に見舞われた東京をブーマによって復興させた業績を高く評価されている。しかし事実は、震災そのものが同社のブーマ開発による事故を隠蔽するため人為的に引き起こされた災害であった。さらにこの機に乗じて同社は、東京の支配権を掌握。宇宙開発にまで着手した。現在、衛星軌道上に建設中のアンブレラが完成し、ショウハムプロジェクトが遂行された暁には、無限の太陽エネルギーをゲノム社が地球に供給する事になる。そうなれば同社は、全世界を支配する事になるだろう。



⇨宇宙作業用ブーマ（11話）

⇨軍用巨大ブーマ（11〜12話）

⇨工事作業用ブーマ（11話）

⇨路上清掃用ブーマ（1話〜）



マッドブーマ



ブーマはその心臓部に核となるコアチップを装填されている。このコアの突然変異によってブーマはマッド化する。ただし、この原因は未だに解明されていない



ノーマルブーマ



⇧クモ型ブーマ（5話）

⇧ウェイトレスブーマ（4話）

⇧ウェイトレスブーマ（3話）

⇧道路工事ブーマ（2話）

⇧ゴミ処理用ブーマ（1〜2話）

⇧ゲノムの武装ブーマ（14話）

⇧軍用巨大ブーマ（11〜12話）

⇧フッカーブーマ（11話）

⇧作業用ブーマ（9話）

⇧暴走ブーマ、ロードストーム（8話）

⇧シルキードール侵入ブーマ（22話）

⇧ブリスを襲った人形ブーマ（20話）

⇧ワーム（ドラゴンライン）（20話）

⇧トンネルの巨大ブーマ（19話）

⇧ブーマ化したトーテムポール（19話）

HARD SUIT

[ハードスーツ]

ADポリスのKスーツを代表とする、接近戦用に開発されたパワードスーツの一種。だが、あらゆる面で従来のスーツとは比較にならない程に高性能で、それを可能にしたのが他ならないブーマテクノロジーだった。全てオーダーメードで、シリアとの相性が着る人間との適合を決定付ける。

ナイトセイバーズの戦闘強化服 ハードスーツの秘密

パワードスーツ





●コア

↑プリス達も知らなかったハードスーツの核には、ブーマのコアチップが装填されている。通常のブーマのものとは形状に多少の違いがある



●バッテリー・メタル

↑大型の乾電池のような代物。芯の太さで残された活動時間を目測可能。これを交換すれば活動時間は延長されるが、何しろデカイのが難点

●武装

●ハードスーツの制作はナイジェルが行っている。基本的にオートクチュールなので、各メンバーの個性に合わせたもので、それぞれに適した必殺武器が装備されている。一見してそれらの武装が判らない事も"闇の仕置人"と呼ばれるゆえん



←ナックルボム

↑プリスのスーツの場合は、ナックル以外にも各所にボムが装備されている



←ソード

↑シリアのスーツのスラスターには、ソードが装備されいる



←ブレードカッター

↑リンナのスーツのリボンは、ネネが羨ましがったブレードカッター



←ニードルガン

↑ネネのスーツに装備されたニードルガンは破壊力は弱いが唯一の飛び道具

●モトスレイブ

→ナイジェルが趣味で作っていた可変バイク。変形してハードスーツを包み込み、より武装強化したパワードスーツとなる。バイクは好きのプリスに気に入られた、唯一のブーマでもある





←パワードスーツ形態のモトスレイブ。クライマックスには予期せぬ活躍を見せてくれる

●ハードスーツの正しい着装

←オリジナルスーツの着装は、最初にインナースーツを着ます。密着度が高いので、日頃から体型を一定の状態に保ってください。ハードスーツを着装する瞬間は冷たさを感じますが、着込んでしまえば大丈夫。新スーツは体全体を液状金属が覆うため着装に不快感を伴います。対処方は慣れるしかありません

①オリジナル・スーツ





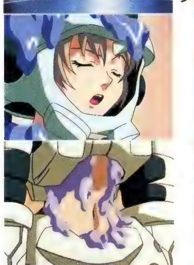






②ニュー・スーツ





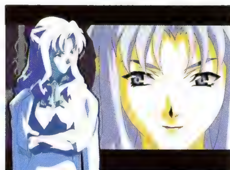
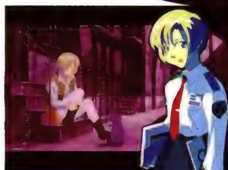
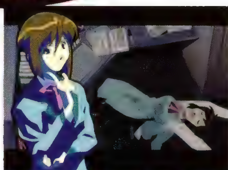


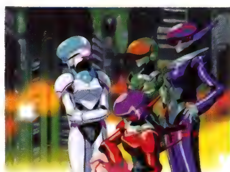


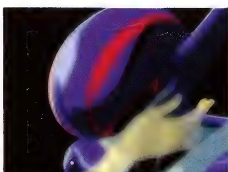
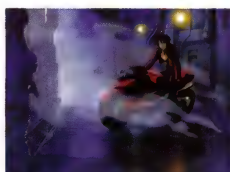
※イラスト／山田正樹（ビデオテープ&LD第4巻ジャケット用）

BUBBLEGUM CRISIS TOKYO 2040 FILM STORY EPISODE.1~24

OPENING





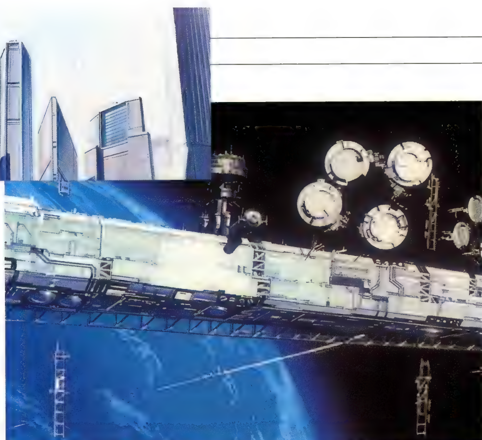

★須藤あきらが熱唱する、軽快な主題歌『y'know』に乗って展開するOP画面。これらは近年流行のフルCGによるもので、フィルムとは違った質感の映像に仕上がっている。演出・絵コンテは菅沼栄治、作画監督は山田正樹。ここから、新たな物語が始まる……。

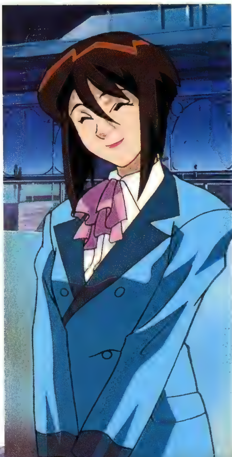
Can't Buy A Thrill

西暦２０４０年・メガロシティ東京。７年前に発生した大地震によって壊滅的な打撃を受けた首都は、生体的機能を持つ汎用アンドロイド〝ブーマ〟の働きによって、急速なる復興を果たした。しかし、その一方でブーマが突如狂暴化し、〝マッドブーマ〟と呼ばれる暴走状態となって破壊活動を始めるという事件が続発。対処機関であるＡＤポリスでさえも、日々増加するこのマッドブーマ事件に手を焼いていた。しかし、そんな狂暴なマッドブーマに対し、超高性能の強化スーツに身を包み、どこからともなく現れては戦いを挑む謎の一団があった。それがメガロシティの闇の仕置き人と呼ばれる女性集団、〝ナイトセイバーズ〟である。

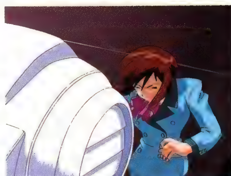
ブーマの開発販売を独占する巨大企業ゲノムコーポレーション。その傘下会社ヒューガイド社の新人ＯＬリンナ・ヤマザキは、入社初日に街で女性の運転するバイクにぶつかりそうになる。転んだ拍子に買ったばかりの昼食を落として台無しにしてしまい、さらに額を擦りむいたリンナは、怒ってバイクを追いかけるのだが、奮闘空しく取り逃がしてしまった。悔しがるリンナに、上司のケインが街を案内してやろうと声をかけてくる。その晩、ケインと繰り出した外区の街中で、壁に貼られた女性ロックシンガー、プリス・アサギリのポスターを見つけるリンナ。彼女こそ昼間のバイクの女性であった。

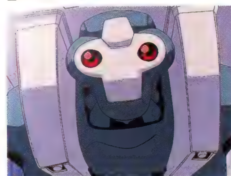
ep.1 Can't Buy a Thrill


6 天を貫くスカイフックのケーブル。その先の宇宙空間ではゲノムのプロジェクトが進行しつつある


1 「東京…だよね／」。熊本から上京したばかりのリンナは、林立する高層ビル群を見上げてメガロシティを実感する

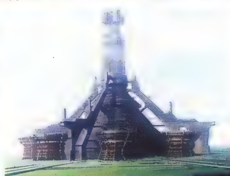

2 同僚のミサエに社内生活の教授を受ける

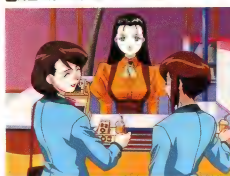

3 よそ見をしていたリンナがぶつかったのは…


4 路上清掃作業中のブーマだった


5 ミサエの指差す方向、そこには…




7 海上に浮かぶ巨城〝ゲノムタワー〟


8 ファーストフード店で昼食を買う二人


9 リンナの後方からバイクが迫り来る


10 買ったばかりのリンナの昼食が台無しに／


11 転んだリンナに「あんた意外とドジなんだ」


12 起き上がったリンナは、怒り心頭


13 「ちょっと、待てぇー／」。そのまま通り過ぎようとするバイクを呼び止めるリンナ


14リンナの言葉にバイクを止め、振り返るプリス

メガロシティでの新生活に、期待に胸を膨らませる新人OLリンナ。彼女の輝けるスタートに水をさす、バイクに乗った歌姫プリス。二人の運命的な出会いが、2040年東京物語の幕開けを告げる。

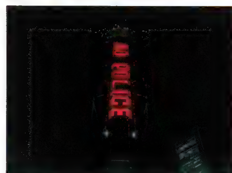

29巡回中のADフロンターから通信が入る


23罰として、便所掃除を命じられるリンナ


30不満を漏らすレオンに、デイリーの追い打ち


24リンナを夕食に誘う、係長のケイン


31「なにがナイトセイバーズだっ！」


25ADポリス本部・通称“トーテムポール”


26情報局では勤務時間の終わったネネが肩の力を抜く。暇すぎて転職を考えちゃうと嘆く


32夜のメガロシティを歩く二人


27同僚のエリス。「どんな仕事がしたいの？」


33リンナは一枚のポスターに目を止める


28「ナイトセイバーズ…みたいなさ」


19先回りし、体を張ってバイクを止めるが…

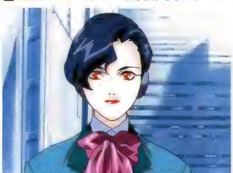

15バイザーを上げた視線がリンナを見据える


20プリスは方向転換して走り去ってしまう


16リンナの額の怪我を教えるプリス


21結局逃げられて、泣いて悔しがるリンナ


17プリスに指摘され、リンナは初めて傷に気づく


22新入社員教育を任されている上司もブーマだ

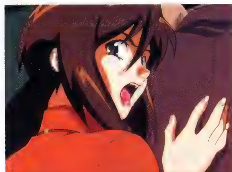

18そのまま走り去ろうとするプリスを追って、立体駐車場を駆け下りるリンナ

Can't Buy A Thrill

街を巡り、バーで食事をするリンナとケイン。夜もふけ、帰ろうとするリンナに、ケインは新入社員の査定係という役職を盾に関係を求めてきた。怒って席を立とうとするリンナ。その時、突如マッドブーマが店内に現れ暴れ始めた。我先にと出口に群がる人々。その中にはリンナを置いて一人逃げようとするケインの姿も。反対側の壁にもう一つ扉を見つけたリンナは、その奥の非常階段から逃げようとする。しかし、マッドブーマがその後を追う。マッドブーマに階段を破壊され、宙吊りになってしまうリンナ。その時、リンナの目の前に青いパワードスーツを身にまとった女性が現れ、彼女の窮地を救った。その姿にリンナが呟く。「ナイト…セイバーズ」。そしてその女性が、昼間の事故でプリスがリンナの額の傷を教えた時と、同じように額を指差すのを見て、彼女こそがプリスである事に気づくリンナ。圧倒的な力により、プリスはマッドブーマを破壊。衝撃で階段から転落したリンナは、下で待ち構えていたもう一人のナイトセイバーズ、ネネ・ロマノーヴァによって救われた。翌日、会社でケインに昨晩のお礼のパンチを見舞うリンナ。その晩、ライブハウス“ホットレッグス”の裏口でプリスを待ち、リンナは彼女にずっと自分の中にあった思いをぶつけた。「私もやりたいの、ナイトセイバーズ！」しかし、プリスは無言でバイクにまたがり、彼女を置いて走り去るのだった。



44混乱した人々の壁で、逃げ遅れるリンナ





43バーの客たちに迫るマッドブーマ



45反対側の壁に非常口を見つけ、扉めがけて走り出すリンナ

39ケインに脚を撫でられ、むっとするリンナ

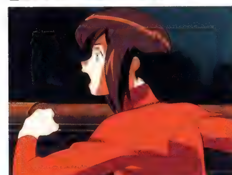




34様子のおかしくなるゴミ処理用ブーマ



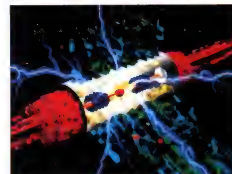
46逃げるリンナを追いかけるマッドブーマ



47「なんで、わたし狙うのよぉ／」



40突如、リンナとケインのいるエスニックバーの壁を突き破って現れるマッドブーマ／



35ブーマのコアが、突然マッド化を始めた



36閉店したシルキードールに、一人佇むシリア



48モバイルピットでナイトセイバーズ（以下KS）の指揮を取るシリア



41バイクで現場へと向かうプリス



42先を越されまいと、レオン達も急ぐ



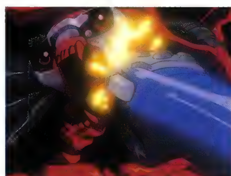
37マッドブーマ出現の知らせを受けるプリス



38入浴中だったネネも、大慌てで飛び出す

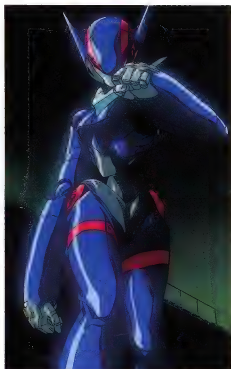
リンナはソレに追われ、プリスとネネがソレを追う。そして、怒りと憎しみの眼でソレを見つめるシリア。マッドブーマ。人間が、その恩恵を受けながらも忌み嫌う存在……ブーマ＝亜人の変異した姿。


62翌日、満面の笑顔でケインに挨拶するリンナ


57プリスの蹴りで、ブーマの顔が歪む

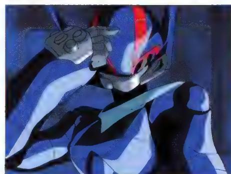

63「今（お礼が）したいの」とリンナ


58よろけるブーマに、さらにもう一発！


54闇に浮かぶ、ハードスーツの姿のプリス

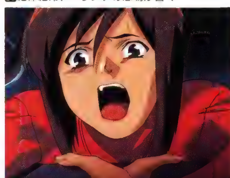

49「壊すのよ。徹底的に」。憎しみ籠もる言葉


64「これがお礼だ！」。ケインにパンチ炸裂!!


59昼間のプリスと同じジェスチャーに…

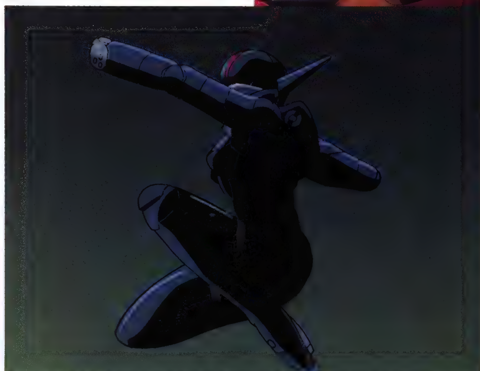

50階段を壊され、宙吊りになってしまうリンナ

51絶体絶命！　リンナの悲鳴が響く




55リンナに下へ飛び降りろと指示を出すプリス


65プリスの元を訪れるリンナ。「私もやりたいの、ナイトセイバーズ！」。しかし、当のプリスは…


52ブーマがリンナに襲い掛かろうとした瞬間、空からプリスが！


66バイクで走り去るプリス。一瞬振り返る


60「!!」。KSの正体を知るリンナ


67去って行くプリスを睨みつけるリンナ

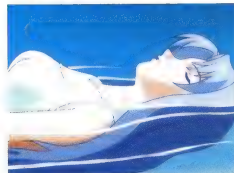

61落下するリンナをネネがキャッチ


56見下ろせばもう一人のKS、ネネが手を振る


53プリスのナックルボムがブーマに炸裂！



⓬ネネの反撃に、リンナは大慌て



⓭室内プールで優雅に泳ぐシリア



❽シルキードールへとやってきたプリス

Fragile

マッドブーマ処理の仕事を奪うナイトセイバーズに対し、確固たる対策の取れないADポリス。フロンターのレオン・マクニコルとデイリー・ウォンも、ナイトセイバーズの存在と上層部の対応に不満を募らせていた。その頃、リンナは先日のマッドブーマ事件が報道されない事に疑問を抱き、情報を得ようと会社のコンピュータからADポリスのサーバへ侵入を試みる。しかしナイトセイバーズの一員でありながら、情報局オペレータでもあるネネによってあえなく妨害されてしまった。その夜、バンド練習中のプリスの元へ押しかけ、もう一度ナイトセイバーズを志願するリンナ。しかしプリスはそれを軽く受け流し、またもやバイクで走り去ってしまう。だが今度はリンナもスクーターで懸命に追跡。やがてプリスが見知らぬ女性と一緒に街のブティック〝シルキードール〟にいるのを発見する。自分を招くかの様に開かれた扉から店内に入り、試着室に隠されたエレベーターで地下に降りるリンナ。するとそこにはプリスとネネ、そして先程の女性シリア・スティングレイが待っていた。このブティックこそ、ナイトセイバーズの秘密基地だったのだ。彼女達を前にナイトセイバーズになりたいと訴えるリンナ。その言葉に微笑むナイトセイバーズリーダーのシリアに促され、リンナはアクションレコーダーによって戦闘の疑似体験をする。しかし、その予想以上の激しさに愕然とするのだった。





⓮呼ばれて振り返ると、そこには…



❾「あらプリス、珍しいじゃない」



❺「なんで俺を、ちゃん付けで呼ぶぅ？」



❶檄を飛ばすADフロンターチーフ、ニック



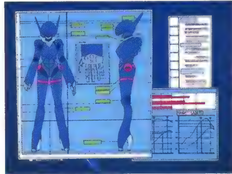
⓯シリアを心配する、忠実なる執事メイシオ



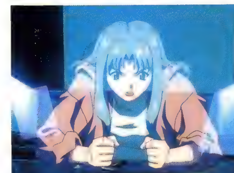
❿新たにハードスーツを作れないか聞くプリス



❻リンナは、事件の衝撃が忘れられない



❷ADポリスはハードスーツを分析



⓰ブーマへのゲノムの対応に、激昂するシリア



⓫サーバに侵入したリンナに気づくネネ



❼ニュースを見るリンナに、「減点対象です」



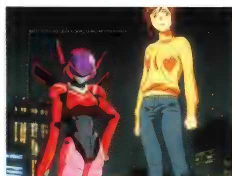
❸会議に出席しているレオンとデイリー



⓱「タワーの馬鹿者どもがっ〃」

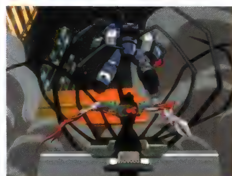


❹「おっはよー、レオンちゃーん／」。朝から元気一杯のネネ


32 ADポリスの戦闘をビルの上から見下ろす


28 シリアはリンナの事を気に入った

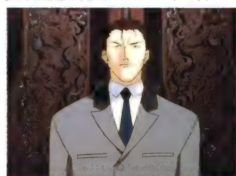

18 タワーの最深部。機械に繋がれてその命を長らえるゲノム会長クインシー・ローゼンクロイツ


33 マッドブーマに捕まるADポリスのKスーツ

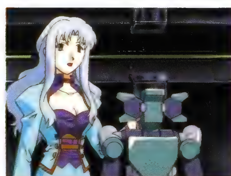

29 恥かしい過去をプリスにバラされ、焦るネネ

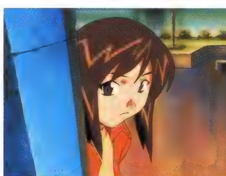
憧れのメガロシティの闇を駆け抜ける、憧れのナイトセイバーズ。憧れを憧れだけで終わらせたくない！　そんなリンナの一途な思いが、彼女をナイトセイバーズのアジト・シルキードールへと誘う。

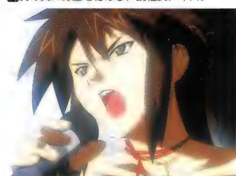

34 プリスのデータと一体化し、走るリンナ


19 胸の奥に野望を秘める、副社長メイスン


35 泣きながら、何度も拳を叩き付ける

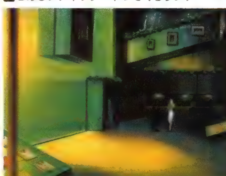

30 リンナに戦闘の疑似体験を勧めるシリア


24 とあるブティックへやってくるリンナ


20 ホットレッグスで熱唱するプリス


36 マッドブーマのコアを握り潰す!!


31 アクションレコーダーが再生される


25 店内には、プリスが一人の女性と話している


21 プリスに思いを受け流され、思わず涙が…



37 初めて体験した戦闘のあまりの激しさに、身体の震えが止まらないリンナ


26 「これからどうなるの…？」


22 リンナを置いて、再び走り去ってしまう


27 やってきたリンナを吟味するシリア


23 スクーターがエン故。「中古だから!?」



■イラストレーション：佐藤道雄／仕上げ：北村浩二／背景：アトリエむさ

EPISODE.3

Keep Me Hanging On

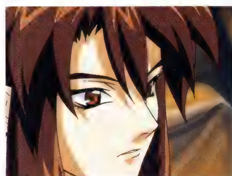
ネネがナイトセイバーズだとも知らず、頼み込んでＡＤポリスの記録からナイトセイバーズの事を調べようとするレオン。しかし、ネネの機転によって、その試みは失敗に終わる。その頃、地下ピットでは整備工のナイジェル・カークランドがリンナ用に新しいハードスーツの制作を開始していた。しかし、当のリンナは先日のアクションレコーダーによる疑似体験のあまりの激しさに、ナイトセイバーズとして戦う事への自信を失いかけていた。相談するためにネネの仕事が終わるのを待ちぶせし、カフェへと入る二人。するとそこで、ウェイトレスのブーマに難癖をつける客に遭遇。その態度に腹を立てたリンナは、男をやり込めてしまう。店を出て、自分の心境をネネに打ち明けるリンナ。そんな彼女に、ネネは自信が無いならやめろといいつつも、一緒に頑張ろうと励ましてくれる。その言葉にやる気を取り戻したリンナは、ネネと固い握手を交わすのだった。その後二人でシルキードールへ行くと、丁度リンナのハードスーツが完成したところだった。早速試着し、その軽さに驚き、そして喜ぶリンナ。一方、カフェでは先程のウェイトレスがマッドブーマ化していた。そこに偶然通りかかったプリスは、ハードスーツ無しで単身ブーマに挑みかかる。マッドブーマ出現の連絡を受けたシリアは、すぐに出撃できないプリスの代わりに、リンナにネネとの出動を命じるのだった。



❶ナイジェルのバイクショップを訪れるプリス。リンナ用のハードスーツの制作を告げる



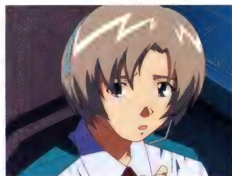
❷黙々と仕事を続けるナイジェル



❸ナイジェルの横顔を見つめるプリス



❹「ちゃん付けで呼ぶな」と、レオンにスナックを取り上げられ、「レオンさまぁ〜」と哀願するネネ



❺納得してスナックを返すレオンに…



❻さっと奪い返し、「卑怯者ぉっ／」



❼疑似体験が忘れられず、自分の手をみつめる



❽地下ピットにやってきたナイジェル



❾リンナ用のハードスーツの制作を始める



❿カフェに入る二人。大きな音に振り向くと…

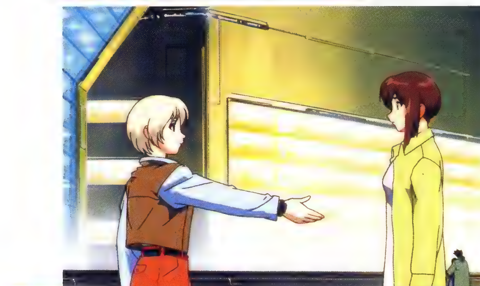


⓫理不尽な客に、ただ謝るウェイトレスブーマ



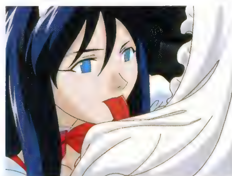
⓬「この変態野郎」。男に食ってかかるリンナ

プリスに気に入られ、シリアに認められたリンナ。そんなリンナを爽やかに迎え入れるネネ。いびつな心を持った乙女達はいびつな挨拶を交わし、……そして、ナイトセイバーズは４人になった。





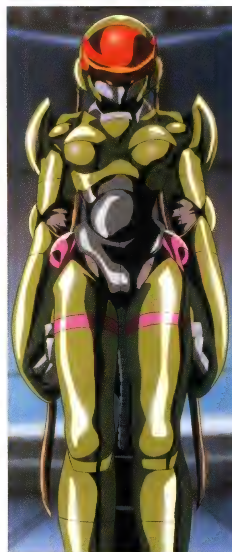
⓭「私…やる／」。ネネの励ましにＫＳとして戦う事を決意するリンナ。差し出されたネネの右手を握り返す。「がんばろ／」

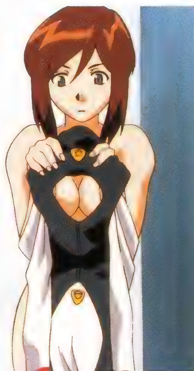

14エプロンドレスを舐め続けるブーマ


15「リンナのハードスーツ出来てるかもよ！」


16エレベーターを下りてきたナイジェルと…


17その後に続くシリア。…衣服の乱れを直す


18完成したリンナのハードスーツ。その出来栄えに「なにこれ？ ずるーい！」と不満のネネ


19インナースーツに着替えるリンナ


20「ちょっとキツイかも、これ」


21いよいよ、自分のハードスーツを着る事に


22ハードスーツの冷たさを感じながら装着する

23初めて着るハードスーツの感触を確かめるリンナ。自在に動く指に驚き、そして大喜びする


24その時、カフェにいるプリスから連絡が入る


25出動を命じられ、「え！ あたし一人で!?」


26「もう一人、いるでしょ？」

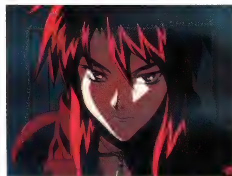

27射出口に入るリンナ。光が溢れる


28飛び立ったリンナとネネ。自分より高くジャンプするリンナに、ネネは「ちょと悔しいかも…」


29リンナ達より先に現場に到着するレオン


30ショットガンを装備するデイリー


31マッドブーマがプリスの存在に気付いた


32対峙するプリス。ブーマを睨みつける

EPISODE. 4


10「私、プリスよりも強くなる！」。リンナの力強い言葉を聞いて、少々驚きを見せるプリス

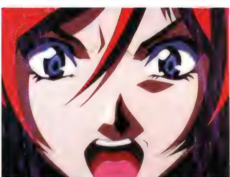
Machine Head

生身のままマッドブーマと対峙したプリスだったが、さすがにハードスーツ無しではどうする事もできずにいた。そこへＡＤポリスのレオンとデイリーが駆けつけ、続けてリンナとネネも到着する。その隙に店外で待つシリアのトレーラー移動基地〝モバイルピット〟へと走るプリス。初出動に張り切って戦い、初めての実戦とは思えない活躍でマッドブーマを追いつめるリンナ。だがしかし、バッテリーメタルが切れて行動不能に陥ってしまった。急激に重くなるハードスーツ。身動きできなくなったリンナはマッドブーマに捕まってしまう。このままではハードスーツが自動的にリンナを開放してしまう。もしそうなればリンナの命が危ない。そこへ危機一発でハードスーツに着替えたプリスが駆けつけ、マッドブーマを破壊してリンナを助け出した。遅れて突入したＡＤポリスの目を霞め、モバイルピットへと戻った三人だったが、リンナは疲労困憊で動く事もできない。シリアとネネはリンナの善戦を讃えるが、プリスは素人と組みたくないと言い放ち、出て行ってしまう。翌日、プリスの住むトレーラーハウスを尋ね、プリスよりも強くなる事を誓うリンナ。そして、身体を鍛えるために、一人スポーツジムへと通い始めるのだった。その夜、外区のとある工場の作業用ブーマに近づく謎の男達がいた。彼らの手にはマッドブーマから取り出したコアが握られていた……。

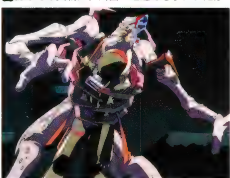
ep.4 Machine HeaD


14ホットレッグスに、プリスのシャウトが響く


6「リンナ、よくがんばったわ」。リンナの活躍に微笑みかけるシリア。だがプリスは…


1初めての実戦に、気合いを込めるリンナだが

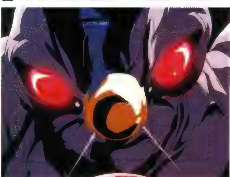

15プリスに追い付こうと、ジムへと通うリンナ


2メタルが切れ、逆にブーマに捕まってしまう

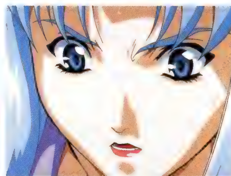

16しかし、二年のブランクは大きかった


11リンナは決意と共にサンドイッチに噛りつく


7憤るプリスに礼を言うリンナ

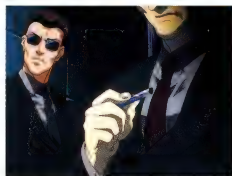

3リンナを締め上げるマッドブーマ


17学生時代、陸上部でのリンナの勇姿


12ネネのブーマ情報に驚くシリア


8その表情には、疲労の色が浮かぶ


4「リンナ！」。仲間達が叫ぶ


18ブーマに近づく謎の男たち。その手には…


13一人、もの思いにふけるレオン


9訪ねてきたリンナに、「半分食べる？」


5危機一発！　拳を振り下ろすプリス

EPISODE.5

Rough And Ready

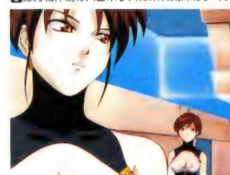
工場に現れた男たちは、ゲノム副社長ブライアン・J・メイスン輩下の者達であった。彼らの持っていたコアは、以前マッド化したブーマから取り出した物であり、正常なコアとそれを交換された作業用ブーマは、マッド化して工場で暴れ始める。ADポリスは総力戦の体勢を取り、重火器装備のパワードスーツ〝Kスーツ〟を投入して工場に突入。しかし、工場の機械と融合した上、動力用電流を吸収して強力になっていくマッドブーマにはまったく歯が立たない。さらに、マッドブーマはKスーツさえも取り込み肥大化しようとする。その様子を物陰から窺うナイトセイバーズ達。ネネは一人配電室へと向かい、配線を組み変えて逆位相の電力を流し、マッドブーマを弱体化させる事に成功。そしてプリス、ネネとの連携攻撃により、リンナは初めて自分の手でコアを握り潰しマッドブーマを倒した。バッテリーメタルは残り少なく、その場を立ち去ろうとするナイトセイバーズ達だったが、突如ADポリスが彼女達に攻撃を始めた。今回のADポリスの出動の真の目的は、ナイトセイバーズの捕獲にあった。そしてそれはメイスンとゲノム会長クインシー・ローゼンクロイツの狙いだったのだ。飛び交う銃弾の中、急いでその場を離脱しようとするプリス達。しかし着地した足場を破壊されたリンナが体勢を崩し、ADポリスの包囲の真っただ中へと落下していく……。




1 とある工場の作業用ブーマがマッド化した

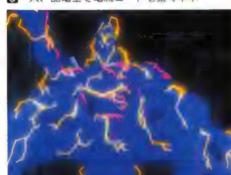

2「プリス、遅〜い」とネネ。マッドブーマ出現の知らせを受けて、シルキードール地下ピットへと集合したKSメンバー


3 総力戦体制のADポリスに呆れ気味のレオン


4 出撃直前、プリスを呼び止めるリンナ


5 ADポリスの戦闘を高みの見物

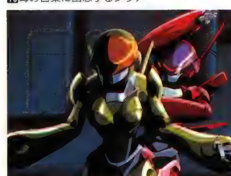

6 一人、配電室で電流コードを繋ぐネネ


7 ネネの働きにより、弱体化するマッドブーマ


8 ニードルガン連続発射!!

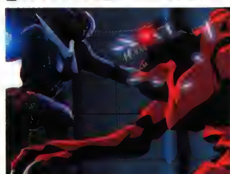

9 父の研究所を見下ろす、幼き日のシリアと母

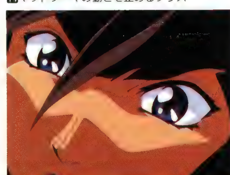

10 母の言葉に困惑するシリア


11 ネネのピンチを、リンナが救った!!


12 リンナのブレードカッターが触手を切り裂く

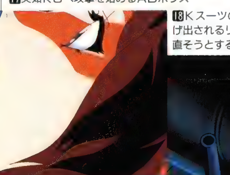

13 スティングレイ博士は、シリアを実験体に…


14 マッドブーマの動きを止めるプリス


15 コアを潰して！　シリアの声がリンナの耳に


16「私が倒した…」。リンナ、初めての勝利


17 突如KSへ攻撃を始めるADポリス



18 Kスーツの砲撃によって足場を崩され、宙に投げ出されるリンナ。スラスターを使って体勢を立て直そうとするが、空しく闇の底へと落ちて行く

EPISODE. 6

Get It On

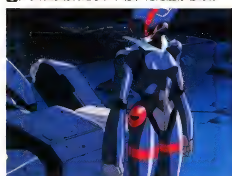
一人はぐれてしまった上、バッテリーメタル切れで逃げる事の出来ないリンナに、ADポリスのKスーツが襲いかかる。ナイトセイバーズに敵意を剥き出しにし、容赦無い攻撃をぶつけるADポリス。危機一発のリンナをプリスが救い、合流した三人はなんとか脱出を試みるが、工場の外には圧倒的な数のADポリスが待ちかまえていた。プリスは一人でも戦おうとするが、すでにマッドブーマとの戦闘によって彼女のバッテリーメタルも底を尽きている。ADポリスの攻撃に傷つくナイトセイバーズに包囲網が迫る。その時、ハードスーツに身を包んだシリアが颯爽と現れ、両者の間に割って入った。腕のブレードを一閃させ、Kスーツの装甲を切り裂くシリア。応戦に出るADポリスだったが、丁度その時、ブーマの暴れ回った工場で爆発が起こり、その隙にプリス達はその場から脱出するのだった。数日後、シリアの元に、彼女の弟と名乗る少年、マッキー・スティングレイが訪ねてきた。執事のメイシオは、シリアに弟などいないと困惑するが、シリアは笑顔でマッキーを迎え入れる。そうしてシリアと共に生活を送る事となったマッキーだったが、ある晩、地下ピットのマシンルームを見つけ、ハードスーツを整備するナイジェルに出会う。その腕に感激したマッキーは部屋の片隅で作業を見守り続け、初めは無視していたナイジェルも、ついには彼にメンテナンスを手伝わせる事にする。

全てに恵まれたナイトセイバーズのリーダー、シリア。しかし、その過去だけは謎に包まれていた。そんなある日、一人の少年が彼女を訪ねてシルキードールへやって来た。マッキー……シリアの弟!!


1 落ちたリンナを心配する二人


2 リンナを発見し、攻撃するKスーツ

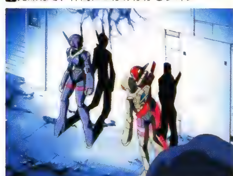

3 メタルの切れたリンナは、ただ逃げるのみ


4 脳天に一撃。Kスーツを倒し、リンナを救う


5 「早く帰ろう、ね」。リンナを救出したが…


6 撃ち落とされたリンナ達に駆け寄るプリス。だがその背後からADポリスの攻撃が!!


7 見兼ねて、仲間につかみかかるレオン


8 ADポリスに完全に包囲されてしまうKS


9 白銀のハードスーツに身を包んだシリア

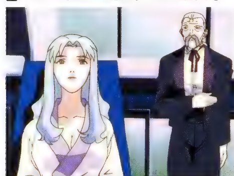

10 挑みかかろうとするKスーツの装甲を、シリアは腕のソードでたやすく斬り落とす!


11 ナイジェルのバイクショップを訪れるプリス

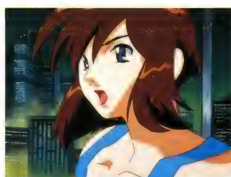

12 そっけないナイジェルの態度に少々がっかり


13 上司のセクハラにじっと耐えるリンナ


14 しかし上司が去った後で。「いつか殺す!」


15 くつろぐシリアに、来客を告げるメイシオ


30突然の事に、双方ビックリ!


26リンナもトレーニングに勤しむ


16「この子は間違いなく、私の弟よ…」。面会したシリアが言う。

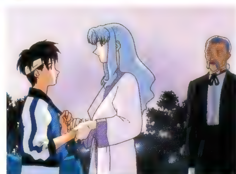

31 3人に取り囲まれるマッキー


27真面目なリンナにネネもたじたじ


32「あなたのピンクの下着なんて…あ!」


28更衣室に迷い込んだマッキーが見たものは

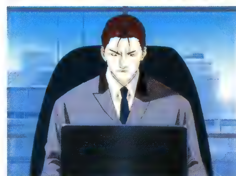

22秘書ブーマの膝に頬を寄せるメイスン

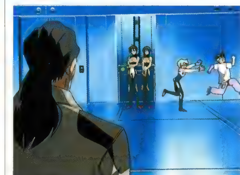

17シリアはマッキーを迎え入れる


33「ピンクねぇ〜」。口を滑らせたマッキーに、ネネ怒りの形相!


23地下に下りたマッキー。そこにシリアが…


18マッキーが持つ、幼いシリアとの記念写真


19KS捕獲失敗を会長に報告をするメイスン

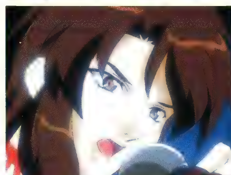

34「こらぁ! ちょっと待ちなさ〜い!」


29ハードスーツの調整の為に来ていたプリス達


24共に暮らそうと、優しく囁きかけるシリア


20ブーマから手を引けと命令するクインシー


35その様子に、呆れ顔のナイジェル


25セキリアの仲間達と練習中のプリス


21命令一つで喜怒哀楽さえも変える秘書ブーマ

Look At Yourself

大西洋の深海に建設された高圧力下用ブーマ実験施設から、一体のブーマが消えた。そのブーマとは地球外惑星での使用を目的として開発された、自己判断機能の無いリモートスレイヴブーマ、通称“モート”。操縦者は技術者ビル・ノードバーグである。モートが消えたのはビルが妻のエレンとの通信で、彼女の浮気を知った直後であった。それから一ヶ月後、消えていたモートが突如東京へ現れる。大西洋から遙々海を渡って街へと上陸したモートは、エレンの待つ家へと向かっていた。そして長い道乗りの末ついにノードバーグ家へと辿り着くが、そこには浮気相手と戯れるエレンの姿があった。そこへ待ちかまえていたADポリスがモートを包囲。しかしモートはADポリスの包囲を突破し、ハイウェイでついにマッド化を始める。レオンとデイリーは、どこかで操縦しているはずのビルを探し出そうとするが、実験施設の記録映像から彼は一ヶ月前に事故で死亡している事が判明。モートは死の直前のビルの記憶を取り込み、自ら行動していたのだ。一方、ハードスーツのメンテナンスの終わっていないリンナを残し、プリスとネネが出撃。だがプリスのハードスーツもまだ不完全で、戦闘中に右腕が動かなくなってしまう。マッキーの機転でピンチを切り抜け、なんとかモートを破壊するプリス。そして、レオン達から夫の愛情の深さを知らされたエレンは、モートの残骸を前に泣き崩れるのだった。




13 戦闘中に動かなくなってしまうプリスの右腕


8 家へ踏み込んだレオン達が操縦者ビルを探す


14 一ヶ月前、ビルは事故死していた…!?


9 ハードスーツ整備中で、リンナは出撃不能


15 腕の再起動法をプリスに伝えるマッキー


10 プリスは右腕に違和感を感じるのだが…

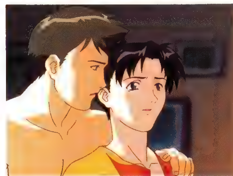

5 消えたモートの情報をシリアに伝えるクズイ


1 モートの操縦者（リフレクター）、ビル


16 回復した右腕を振り上げ、マッド化したモートにトドメの一撃を叩き込む！


6 帰還したモートを、ADポリスが包囲する


2 帰らぬ夫に不満をぶちまけるビルの妻エレン


7 モートの姿に、夫の帰宅を知るエレン


3 深海作業中のモートが、突如浮上しはじめた


17 ビルの愛情を知り、泣き崩れるエレン


11 モートを倒して大喜びするネネだが…


18 だが、ビルはもう帰っては来ない…


12 モートに反撃され、押しつぶされてしまう


4 メンテナンスの終了したハードスーツを着るネネ。その力は、以前よりもパワーアップ

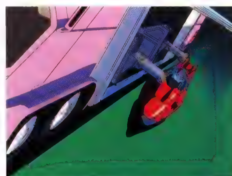
EPISODE. 8

Fire Ball

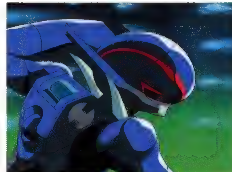
今夜もまた、大勢のファンが〝セキリア〟の演奏を、そしてプリスの歌声を聴く為に、ライブハウス〝ホットレッグス〟に集まってくる。「あなたにとって歌うという事は？」。インタビュアーの質問にプリスは答える。「あたしが今ここにいて、生きているっていう事を確認する事」だと……。

湾岸道路に超高速度で疾走するマッドブーマが現れた。一般車を蹴散らしながら暴走を続け、ＡＤポリスの車両ではそのスピードに追いつく事すら出来ない。ライブ中のプリスと連絡が取れず、ネネとリンナだけが出撃。二人はマッドブーマを追い上げて、動きを止めようと攻撃するが通じず、ブーマは疾走を続ける。その頃、シリアにナイジェルの制作していたプリス用の高性能バイク〝モトスレイブ〟が完成したと通信が入る。遅れて到着したプリスが、この新兵器で発進。スピードを上げて真正面からマッドブーマとぶつかり合うが、一撃目は失敗。反転して追いすがり、渾身の一撃を叩き込んだ。コアを破壊されたマッドブーマは、防護壁を突き破って海へと落下するのだった。戦いの後、一人ホットレッグスへと戻ったプリスは、誰もいないステージで歌を口ずさむ。するとそこに、小さな拍手が客席から聞こえてきた。見ればリンナ、ネネ、マッキー、そして壁際にはレオンの姿が。プリスは薄く微笑むと、リズムを取って歌い始めた。

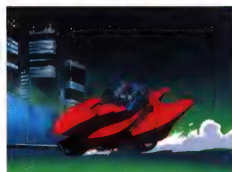


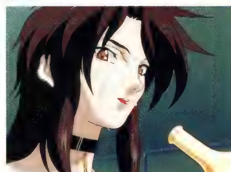

10完成したモトスレイブで発進するプリス


5プリスに彼氏のいないのは、女好きだから？


11マッドブーマに正面から突っ込むプリス


6ハイウェイで暴走を続けるマッドブーマ


12とどめをさせず、すぐさま反転


7ライブ直後のプリスに、ようやく連絡がつく


1ホットレッグスの楽屋で、ＴＶインタビューを受けるプリス

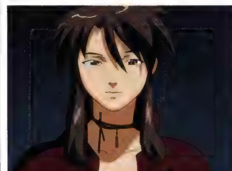

13海に落ちたマッドブーマを見つめるプリス。モトスレイブの初陣を勝利で飾った


4プリスも呼んだが、やはり来なかった


2風を切って走るプリスのバイク


14ホットレッグスに集まった仲間達


8疾走するマッドブーマを追う二人


15店の片隅に、レオンの姿を見つけるプリス


9ネネの攻撃！　だが、ブーマには通じない


3ネネの部屋へと訪れるリンナ。しかし、あまりの散らかりように驚きの声を上げてしまう



■イラストレーション：百瀬恵美子／仕上げ：遠藤奈緒美／特殊効果：福田貴博／背景：アトリエむさ

プレミア写真館

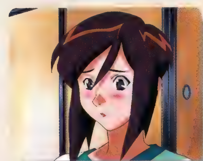
素顔のナイトセイバーズ①
リンナ・ヤマザキ編



故郷の熊本から就職のために上京したリンナ。入社初日のトラブルを見ても分かるように彼女の人生は波瀾に満ちている。本人もろくな運勢じゃないと独白しているが、明るく物おじしない性格のため、お宝写真も健康的なものが多く集まった。

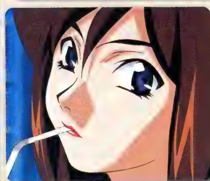
















超お宝写真 ～リンナの躍動～



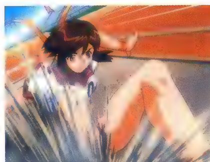
↑"大運動会"してる写真。リンナもコスモビューティーを目指していたのだろうか？



↑バーの高さは不明だが、見事にクリアーする瞬間のベストショット……だと思う



↑達成感の伝わって来る笑顔。リンナにとって素晴らしい時代だったに違いない



↑砂がジャマ……じゃなくって、この姿勢では良い記録は望めませんゾ、ウン



↑陸上で鍛えた足には自信がある。おかげで太くなってしまったのが悩みのタネ



↑プリスに負けじと身体を鍛えるリンナ。学生時代を思って自主トレに励むが、ブランクは大きかった



→学生時代の記念写真。陸上競技大会で優勝、もしくは新記録を出したと思われる。良い思い出も残しているのだ

EPISODE. 9

My Nation Underground

この半年の間に、外区の地下道で配線工事用のブーマが原因不明の失踪をするという事件が多発していた。一連の事件に興味を持ったメイスンは、報道規制をかけて事件を隠蔽。シリアもそれに気付き、その場所に何かがある事を感じとっていた。一方トーテムポールでは、ネネとプリスが知り合いだと知ったレオンが、ネネからプリスの事を聞き出そうとしていた。その様子に、面白がって二人を付き合わせようと計画するネネ。しかし、ピットでマッキーにコンピュータの使い方を教えている際に、彼女はその事をついシリアに漏らしてしまう。相手のレオンがＡＤポリスであると知り、激怒するシリア。「自覚が無いならやめてもらうわ。足手まといなだけだし」。シリアの言葉にすっかりスネてしまったネネは、マッドブーマ出現の知らせにも反応せず、一人部屋の角でうずくまる。心配するリンナに、シリアは一言放っておけと言い放つ。

３人で出動したものの、自分の力を見せようとするネネは、連携を無視して勝手に攻撃、コアを破壊しようとしていたプリスの邪魔をしてしまう。攻撃をかわしたマッドブーマが、アームを伸ばしてネネを捕らえる。その時、突如マッドブーマの足元が崩れ、地中から見たこともない謎の巨大生物が姿を現した。驚くナイトセイバーズとレオン達をよそに、怪生物はその触手で捕らえたマッドブーマを、巨大な顎で食らいはじめるのだった。

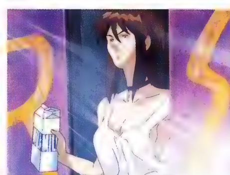

12「放っておきなさい」。シリアの冷たい一言


7シリアに、プリスとレオンの事を話してしまう

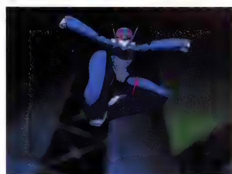

8「自覚が無いならやめてもらうわ／」


13「あたしだって／」。怒りをゲームにぶつける

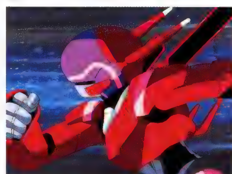

9シリアの言葉にネネはいじけてしまう


5朝日を浴びる、寝起きのプリス


1ブーマが消えるという噂が流れる地下通路


14マッドブーマの背後から飛びかかるプリス


2シリアはブーマの失踪事件を調べる


15ネネは自分の力を見せようとするが…

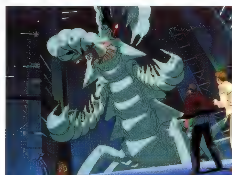
6「嘘ぉ、ＡＤポリスの人!?」。ネネの話に心配するリンナ


3プリスの事が知りたいレオンがやってくる


16逆にマッドブーマに捕まってしまった


10練習中のプリスを訪ね、探りを入れるリンナ


4「これは事件だ／」。プリスがレオンを誘ったと聞き、興味津々のネネ


17突然、床を突き破り現れる謎の巨大生物


11落ち込んでいるネネを、二人は心配するが…

EPISODE. 10

Woke Up With A Monster

巨大生物は、遅れて到着したADポリスのライトから逃げるようにして地下へ戻っていった。翌日、怪物の捜索打ち切りに怒り心頭のレオンは、フロンターテープのニック・ローランドと衝突。だが、怪物がブーマで無い以上、ADポリスは手が出せない。納得行かないレオンは、デイリーと地下に潜り、独自に捜索しようと計画する。

シルキードールを訪れたプリスは、シリアにネネを前線から外せと忠告する。しかし、昨日のネネへの態度を反省していたシリアは、プリスに一つの賭けを申し出た。次の仕事でネネがドジを踏めば、プリスの言う通りネネを外す。しかし、ネネがプリス以上の活躍を見せれば、プリスはシリアの言う事を一つ聞かなければいけない。そんな事は有り得ないと、賭けにのるプリス。地下へと下りたレオンとデイリーは怪物を発見するが、逆に反撃を受けて間一髪をプリス達に助けられた。しかしプリスとリンナの攻撃も怪物には通じず、捕まってしまった。怪物の放つブーマを弱らせる振動波に、シリアはその正体が過去のブーマ研究課程で誕生したミュータントである事に気づき、ハードスーツで駆けつける。しかしシリアも、不意を突かれて振動波にやられてしまった。この危機一発の事態を打開したのは、怪物の弱点を探し出したネネの一撃であった。後日、シルキードールには賭けに負けてドレスアップしたプリスと、その様子に笑いを堪える一同の姿があった。

Woke Up
ep10
MONSTER


1突如現れブーマを食らう巨大生物に驚くKS。ネネのニードルガンも跳ね返される

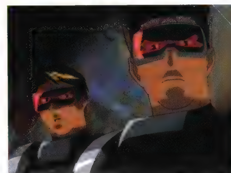

2サーチライトを浴び、逃げ出す怪物


3リンナからの通信に、空元気のネネ


4巨大生物の捜索に乗り出すメイスン


5プリスとの賭けを思い立つシリア


6レオン達の行動を察知するネネ


7地下へと下りたレオンとデイリー

8怪物へ向かっていくプリスとリンナ


9メイスンは怪物のデータを採取する


10マッキーも、そのデータを入手するが…

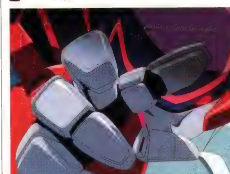

11怪物の正体を知り、突然取り乱すシリア

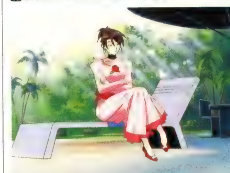

12二人の危機にシリアが駆けつけた！

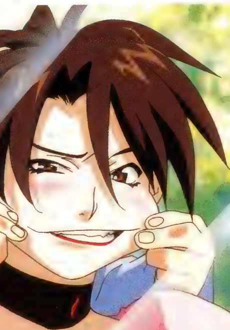
13シリアが見る幻。幼い彼女が見上げる先には


14彼女にとって大きな存在である、父の影


15幻から目覚めたシリア。振り返るとそこに…


16ネネの一撃が怪物の急所を貫く！


17賭けに負けて、ドレスを着せられたプリス



18「はい、チーズ！」。むくれるプリスを笑わせるネネ。二人の間のわだかまりも消えた

EPISODE. 11

Sheer Heart Attack

その夜、残業中だったリンナはマッドブーマ出現の知らせを受けて、スクーターを走らせるが、現場に到着した時には既にプリスとネネがマッドブーマを倒した後であった。帰っていくプリス達を、リンナは雑踏の中から複雑な思いで見送るのだった。翌日、プリスに会いにナイジェルのバイク工房へとやってきたリンナは、プリスにしばらく東京を離れると告げて実家の熊本へと帰郷する。久々の我が家では父と母、そして法事に集まった親戚の人々がリンナを出迎えた。夜もふけ、縁側でくつろぐリンナに、母は帰るのを一日伸ばし、お見合いをして欲しいと切り出す。この事態を予想していたリンナは、母の顔を立てて見合いを受ける事にした。渋々見合いの席へとおもむいたリンナだが、相手の男性マサキを見て顔を赤らめてしまう。庭で二人きりになるリンナとマサキ。東京で見つけた〝やりたい事〟。しかし、自分の思いばかりが空回りして、自分の居場所がわからないと弱音を吐くリンナ。そんな彼女にマサキは言う。「居場所って、開けて待っててくれるものだろうか？」。その言葉にリンナは一瞬ハッとなるのだった。

一方その頃、東京ではビル程もある巨大な軍用ブーマがマッド化して市街に現れ、暴走を始めていた。ネネから連絡を受けるリンナだったが、熊本にいるという事実と、ナイトセイバーズとしての自信の喪失から、ためらいを見せるのだった。

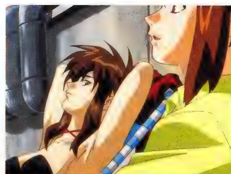



1スクーターで現場へと急ぐリンナ


2リンナが到着した時、仕事は終わっていた


3帰って行くプリス達を見上げるリンナ。その胸中には、複雑な思いが…

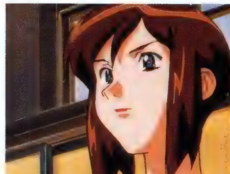

4ゲノム製のパーツに、眉をひそめるプリス


5リンナは、帰郷する事をプリスに告げる


6思いを引きずったまま、故郷へと向かう


7帰ってきたリンナを暖かく迎える親戚一同


8「私が本来のブーマを目覚めさせてやる」


9母の顔を立て、見合いに臨むリンナ


10リンナに微笑みかける、見合い相手のマサキ

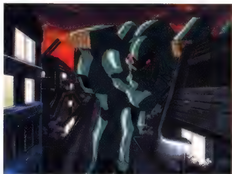

11その笑顔に、思わず頬を染めるリンナ


12庭に出て二人で話すリンナとマサキ


13研究員だった頃の、若き日のメイスン


14レオン達に残業を頼まれ、むっとするネネ


15「なんで私に振るかなぁ…」

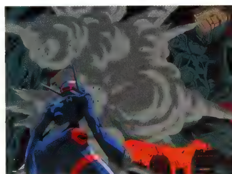

16巨大なマッドブーマが市街地に姿を現した


17リンナにも、ネネから呼び出しが。しかし熊本にいる彼女は、出動する事が出来ない…

Made in Japan

街に現れた巨大ブーマは、国防省所有の軍用機体であった。上層部からの圧力によってADポリスは手が出せず、国防省は自らの手で始末を付けようと同型ブーマを出撃させるが、その攻撃はブーマのマッド化を促進させるだけだった。さらに狂暴化し、軍用ブーマに襲いかかる巨大マッドブーマ。ナイトセイバーズもリンナはいまだ実家、ネネはオペレーターとしての仕事の為、プリス一人が出撃する事に。しかしその巨大さにコアを潰して倒す事ができない。ブーマの仕様を公開しようとしない国防省のサーバに、ネネはコンピュータウィルスを打ち込んで情報を得る事に成功。だが、プリスはハードスーツのバッテリーメタルが切れ、絶体絶命に陥ってしまう。そこに駆けつけたのは、迷いを振り切り東京へ戻ったリンナ！　換えのバッテリーメタルによって復活したプリスは、ネネの情報から巨大ブーマの装甲をこじ開け、内部に隠れたブーマのコアを破壊。ついに巨大ブーマを倒した。その夜シルキードールに集まって、団欒の時間を、過ごすプリス達。シリアに故郷の様子を聞かれ、「今はこっちが家だから」と答えるリンナ。そして、ネネとマッキーの間には微妙な心の変化が生まれていた。マッキーを意識し始めたネネはコンピュータでスティングレイ家を検索。しかしそこで見つけた十年前の写真に、少女時代のシリアと並んで写っていたのは、現在とまったく変わらないマッキーの姿だった。

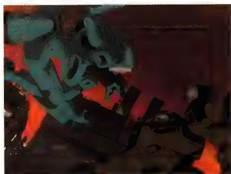
Made In Japan ep.12


13レオンの援護攻撃がプリスを救う


9メタル切れで、成す術の無いプリス


14対戦車ライフルをかまえるレオン


10振り返るマッキー。そこには…


6跳び上がり、軍用ブーマに襲いかかる


1市街地で暴れまわる巨大マッドブーマ


11「リンナさん！」。地下ピットへ駆け込んで来たリンナ。マッキーの言葉に大きく頷く

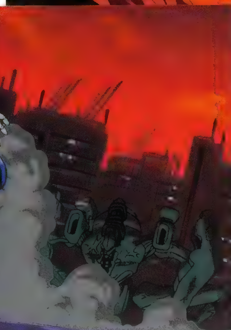

7巨大マッドブーマに一人戦いを挑むプリス。しかし、その巨体には攻撃がまったく効かず、コアの場所を特定する事さえできない。


2情報局の仕事に追われ、ネネは出動できない


3上層部の圧力で攻撃できず、苛立つレオン


15全身の武器で、一斉攻撃を始めるブーマ

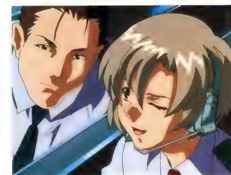





16交換用のメタルを持って駆けつけるリンナ


4マサキにチケット代を借りてしまったリンナ


17「来たぁっ！」。思わず声を上げるネネ


12ネネは国防省のガードを破り、サーバに侵入


8シリアに代わり、サポートするマッキー


5軍用ブーマの攻撃で、マッド化がさらに進行



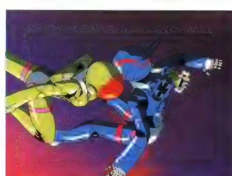
31 秘書ブーマに殺されてしまうクズイ



29 クズイの報告に衝撃を受けるシリア



24 思わず飛び退く二人



18 飛び上がりバッテリーメタルを空中で交換



32「ちょっと待って！　これっていつの写真よ!?」。ネネがネットワーク上で見つけた一枚の写真…



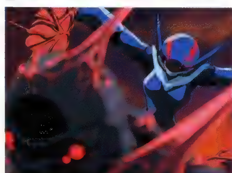
25 気まずい空気が流れる



19 ナックルボムでブーマの装甲をブチ破ると…



26 ショップに帰ったマッキーが見たものは…



20 内部には、通常サイズのブーマが

年下のマッキーに心ひかれてゆくネネ。ネネの中に、普通の女の子の思いが広がってゆく……。だが、彼女の天才的な一面が、開けてはならない扉を開いてしまった。それは、マッキー誕生の秘密！



27 ナイジェルの元を訪れたメイスンの姿だった



21 二人の協力で、巨大ブーマは倒された

33 そこには少女時代のシリアと並ぶ、今と変わらぬマッキーの姿が!!





28「あの子、どうして年下なんだろ…」



22 戦い終わって。皆で囲む食卓



34 ナイジェルの態度に、不信な表情のマッキー



30 冷たい笑みを浮かべる秘書ブーマ



23 地下ピットでマッキーにコンピュータの使い方を教えるネネ。二人はいつの間にか接近して…

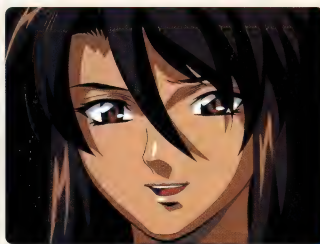
プレミア写真館

素顔のナイトセイバーズ②
プリス・アサギリ編

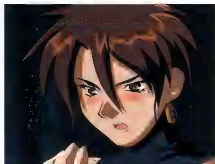
唄とバイクとナイトセイバーズの日々を送るプリス。まるで孤高の女戦士が、生きている事を実感するように、叫び、走り、敵を撃つ。しかしそんな彼女が女性らしい面を見せる瞬間は少なくない。そこでここでは彼女の、女性らしさたっぷりの写真を集めてみた





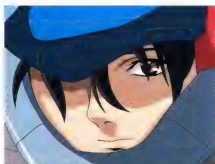

超お宝写真 ～プリスの女心～


↑すぐに照れて怒るのは、意外と単純な証拠。そんなところにレオンが惚れたのだろう

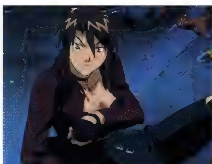

↑他の女の子のように群れない。本当に嫌いではなく、不得手なのかもしれない


↑自室に貼られたバンド仲間との記念写真。写真も意外だが自ら貼った行為も意外


↑シルキードールの地下ピットに入るためとは言え、思わず手にとってしまったピンクのドレス……


↑心の中のわだかまりを吐き出した後、おだやかな表情がプリスに宿る


↑すっかり女性らしくなったプリスの微笑み。それは、愛し始めたレオンに向けられる


↑胸が見えそうになり思わず隠すプリス。レオンにピンチを救われ、恥ずかしさも倍増

→レオンのバイクに同乗するプリス。照れてはいるが怒っていないのが珍しくもあり、可愛らしくもある



EPISODE. 13

Atom Heart Mother

7年前の大地震によって東京の地下に埋もれ、地殻変動によってその所在が不明となった、シリアの父スティングレイ博士のブーマ研究施設"ウィズラボ"。その場所を探すために、シリアは中華街に住む裏社会の大物シャン大人の元を訪れる。シャンは、当時のブーマ研究の投資者の一人であり、シリアの事は幼い頃から知っている存在なのである。必要なデータを彼から入手し、シルキードールへと戻ってナイジェルと共に捜索の準備を進めるシリア。その頃、マッキーとシリア、そしてスティングレイ家の過去に疑問を抱いたネネは、ADポリスのコンピュータによって情報を検索し、驚愕の事実を知ってしまう。スティングレイ博士にはマッキーという息子など存在しない事。そして7年前の震災は、ウィズラボで起こった謎の事故を隠蔽するため、ゲノムが人工地震発生装置によって意図的に引き起こしたものであった事を。

その夜、シリアはナイトセイバーズに召集をかける。そこでネネは、プリス、リンナと共にウィズラボ捜索の強力を頼まれるが、逆にシリアを問いつめる。マッキーの正体は？　ウィズラボの秘密は？　しかしシリアはただ謝るだけで、答えようとはしない。そんなシリアを信用できなくなったネネは、一人シルキードールを飛び出してしまう。残ったプリスとリンナはシリアの申し出を受け入れ、二人でウィズラボの捜索を開始するのだった。




13「一体、何人死んだと思ってるんだよ、あの地震で／」。衝撃の真相を知り激怒するプリス


14シリアを信じられず出ていってしまうネネ


8ラボの候補地も27ヶ所まで絞られた

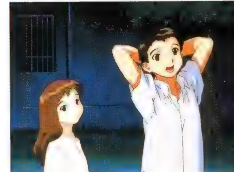

5プリスにシリアの話を聞くネネ


1中華街を訪れるシリア

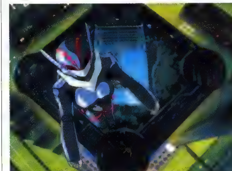

15二人でやっても5日で終わる、とプリス


9様子のおかしいネネを心配する二人


6マッキーの事を打ち明けようとするが…


2路地裏で遊ぶ子供たちに声をかける

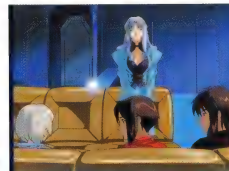
10シリアにウィズラボ捜索を頼まれるネネ達


16ウィズラボ捜索に出発するプリス達


11だが、逆にマッキーの事を問いただす


3「あんた綺麗だから、きっと会えるよ」。シャンの居場所を聞いたシリアに少年が言う


17不適な笑みを浮かべるメイスン


12ネネの口から、震災の原因が語られる

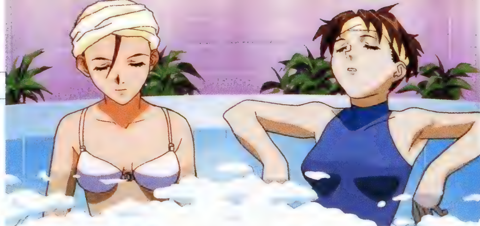

7実験に使用されるリンナのハードスーツ


4華人ネットワークのドン、シャン大人

[休息] REST



■イラストレーション：佐藤道雄／仕上げ：伊東さき子／特殊効果：福田貴博



EPISODE. 14

Shock Treatment

毎夜ハードスーツに着替え、ウィズラボの捜索を続けるプリスとリンナ。そして5日目の夜、ついにラボの位置が判明。プリスはそのまま潜入しようとするが、その時ちょうどバッテリーメタルが無くなって渋々断念する。帰還した二人は、一人で決着をつけようとするシリアを説得し、準備が整い次第仕事を手伝う事を約束させる。しかし、翌日シャン大人からマイクロウエイブ砲を受け取ったシリアは、一人で地下に潜ってしまった。同時にメイスンの指揮するゲノムの武装工作部隊も、ラボを目指して地下へと潜入。シリアの行動に気づいたプリス、リンナ、ネネの3人、そしてマッキーも後を追う。ついにウィズラボへと潜入したシリアは、そこで鉛で塗り込められた巨大な繭状の物体を発見。マイクロウエイブ砲によって破壊しようとするが、そこに工作部隊を引き連れたメイスンが現れる。シリアの行動を止めようとするメイスン。だが、シリアはためらわず引き金を引いた。〝スカイフック〟の接地時に発生する過電流によって巨大な電子レンジと化す〝封印〟。しかし、シリアの攻撃も効果無く、焼きつくしたはずの〝封印〟の中から光に包まれた一人の少女が姿を現した。それと同時に、ゲノムのブーマがマッド化、遅れて到着したプリス達のハードスーツも変容し動かなくなってしまう。メイスンが連れ去ろうとする少女に、シリアは苦しげに呻く。

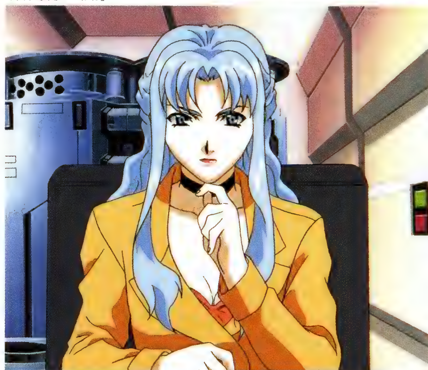
「素体……」。



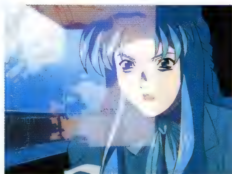

11 後は一人でやろうと考えるシリアに…


7 プリスを連れて、エステへとやって来たリンナ。マッサージを受けながら、「でもプリス、よくシリアの言う事聞いたわね」

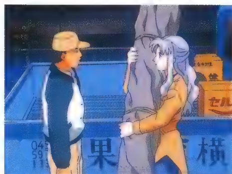

12 二人は共に行動する事を約束させる

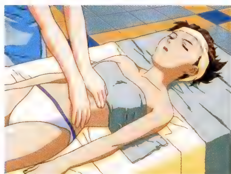

5 二人の指揮を取るシリア。だが、ウィズラボの所在は依然としてつかめない


1 ADポリスの休憩所で一人悩むネネ


13 しかし、シリアは一人で行動を開始する


2 元気の無いネネに、声をかけるレオン達


14 シャンの部下から、包みを受け取るシリア

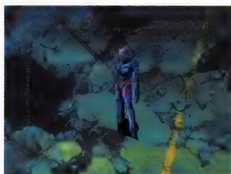

8 「バッテリーさえ無くなんなきゃ行ってたさ」


3 毎夜ウィズラボを探し、探知器を抱えて地下を進むプリス

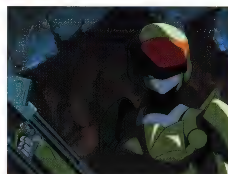

15 プリス達に告げず、地下へと潜ってしまう


9 必死にプリスを止めようとするシリア

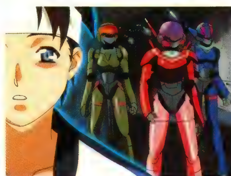

16 同時に、ゲノムも地下へと潜入

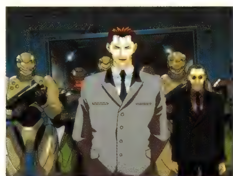

10 バッテリー切れで、プリスは探索を断念


6 ラボを発見。プリスはそのまま進もうとする


4 リンナも捜索を続けるのだが…

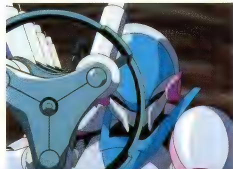

㉙そして、“封印”の中から一人の少女が現れる


㉗マッキーの異変に、驚くネネ達


㉒「そこまでだ」。シリアを制止するメイスン

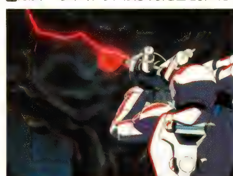

⑰ゲノムの動きを察知するネネ

隠匿された禁断の果実が甦ろうとしていた。それを消去する事は、シリア自身の決着なのか？　いずれにしてもそれは果たされず、果実は復活を遂げた。幼きシリアの姿をした少女＝素体として……。


㉓だが、一歩早くシリアは砲の引き金を引いた


⑱シリアの単独行動を知り、後を追うマッキー

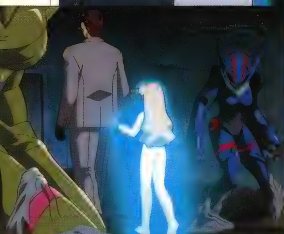

㉚全身から、マッキーと同じ光を放つ少女。その姿は、幼い頃のシリアそのものだった


㉔マイクロウェイブが中身を焼きつくす！

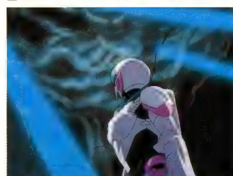

⑲プリス達も地下へと向かう

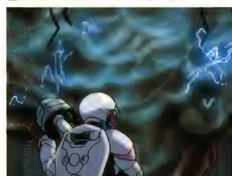

㉕“封印”の中に存在する者と共鳴するマッキー


⑳メイスンもまたウィズラボを目指す


㉛静かにその場から少女を連れ去るメイスン


㉘突然マッド化するゲノムのブーマ


㉖焼きはらったはずの“封印”から、光が溢れる


㉑ついにウィズラボへと潜入したシリア。ドームの中央に置かれた巨大な繭状の鉛の塊を、マイクロウェイブ砲を使って破壊しようとするが…


㉜行動不能におちいるKS達。去っていく少女に手を伸ばし、苦しげにシリアが呟く。「素体……」



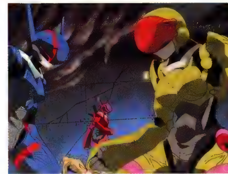
Minute by Minute

謎の行動不能状態となったナイトセイバーズを尻目に、少女を連れ去るメイスン。プリス達はハードスーツを脱ぎ捨て地下を進む。しかし様子を見るため一人で先に進んだプリスの前にレオンが現れ、ついにプリスがナイトセイバーズである事を知られてしまった。だがレオンは今は職務中ではないと、何もせずにその場を立ち去る。地上へと戻ったシリアは放心状態。マッキーは〝素体〟と呼ばれた少女との接触で倒れ、眠り続けていた。マッキーの元を訪れたネネに、ウィズラボの研究員であったナイジェルが過去を語り始める。〝素体〟とはシリアの脳内で作られた複製体。全てのブーマの原形であり、マッキーも同様の存在である事を。７年前、〝素体〟はウィズラボ内で暴走、周囲のブーマを次々とマッド化させ、ついには産みの親であるスティングレイ博士を殺害。地上へ出ようとする素体を封印する為に、ゲノムは地震を引き起こしたのだ。その頃、ホットレッグスでは、ハードスーツがブーマであった事を知ったプリスが、リンナに二度とハードスーツを着ないと言い放っていた。それでも、リンナはこのままで終わりたくないと言い残し出ていく。二人のやりとりを聞いていたレオンを誘い、バイクで海岸へと向かうプリス。話をするうちに、少しずつ打ち解けていく二人。その時プリスの脳裏に突然謎の映像が浮び上がる。その現象はリンナ、ネネ、マッキーにも同様に起こっていた!?





1 メイスンに連れ去られる少女＝素体



2 動かなくなってしまったハードスーツ



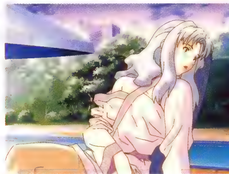
3 バッテリーメタルをエジェクトし、セイフティによってハードスーツを脱ぎ捨てるプリス



4 地上を目指して地下を進むＫＳ



5 先行するプリスの前にレオンが現れた



6 「素体…」。放心状態のシリア



7 ウィズラボ事件の真相を語るナイジェル





8 ７年前。暴走したガラテアはフェノメノンによりラボをブーマ化。スティングレイ博士を殺害した



9 「いちゃいけない人なんているわけない／」



10 ついにＫＳの正体を知ったレオン



11 「これで終わりなんて、あたし嫌だから／」



12 バイクで浜辺へ。次第に打ち解けていく二人



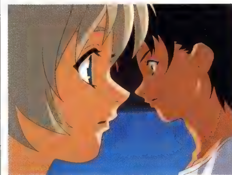
13 突如、プリスの頭に流れ込む謎の映像



14 悲痛な叫びを上げる幼い日のシリア



15 それがシリアの記憶である事に気づく



16 その映像は、同時にネネ達にも流れる



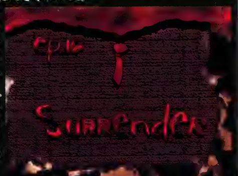
17 「怖いよ、私…」。怯えるリンナ

EPISODE. 16

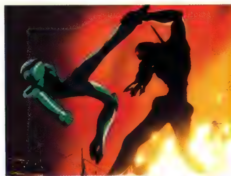
Surrender

頭の中に流れ込んだシリアの記憶に、プリス達はシルキードールへと急ぐ。そこには昏睡し、胸部から光を発して苦しむシリアの姿が。メイスンにより"ガラテア"と名付けられた素体が、シリアの肉体に干渉しているのだ。ようやく目覚めたシリアは、過去に存在したもう一つのナイトセイバーズの事を語り始めた。プリス達以前に、シリアと共にマッドブーマと戦っていたメンバーは、ハードスーツとの相性が合わず全滅してしまったという。ハードスーツを着るには、モデルとなったシリアと波長の合う女性でなければならず、そうしてプリス達は選ばれたのだ。だが、気持ちの収まらないプリスは、二度とナイトセイバーズはやらないと出ていってしまう。それでも新しいハードスーツを制作しようとするシリアだったが、スーツがブーマと知ったリンナとネネも、以前のように手放しで喜ぶ事はできずにいた。

翌日、ADポリス本部ビル・通称〝トーテムポール〟では、ADポリスがノーマルポリスに吸収される話が持ち上がり、組合員はストライキに突入。ネネは情報局に一人残り、ナイトセイバーズを続けるべきか悩んでいた。その時、人影の消えた署内に、突如警報が鳴り響く。地下に保管されていた大量のマッドブーマが甦り、暴走を始めたのだ。隔壁が下り、脱出不能となったトーテムポールに、ネネとニックを含めた四人の人間が取り残されてしまった！



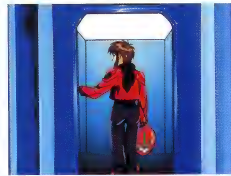

13 フェノメノンを放出するガラテア


7 ハードスーツが適応せず、次々と倒れていく

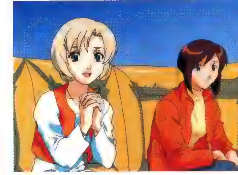

8 KSの条件。「それは、私が好きになれそうって思った娘じゃないと駄目って事」


1 ガラテアの力に共鳴し、苦しむシリア。その胸からは、ガラテアと同じ緑色の光が…

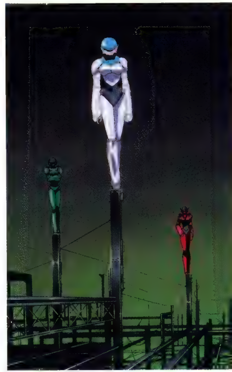

14 再びガラテアとの共鳴に苦しむシリア


9 二度とやらないと、出ていってしまうプリス


2 シリアを心配し、集まるプリス達


3 目覚めたシリアに、胸を撫で下ろすネネ


4 かつての、もう一つのKSの事を語るシリア


5 シリア自らが率いる、旧KS達


6 それぞれ、戦闘のエキスパートであったが…


10 KSを続けるか悩むネネ。ブリオに相談？


11 トーテムポール内に突然鳴り響く警報


12 署内に取り残されてしまう、ネネ達四人


15 マッキーも、ガラテアと同調してしまう


16 マッドブーマに応戦するニック達


17 ネネを助けようにもハードスーツは無い

Moving Waves

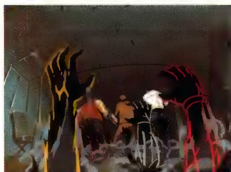
ガラテアが放出する、ブーマを覚醒させる力〝フェノメノン〟により、マッドブーマの巣窟と化したトーテムポール。そのセキュリティシステムは、ビルが占拠された場合、完全に外部との接触を遮断するように作られていた。その為、外界との連絡も取れず、襲い来るマッドブーマを牽制しつつ退路を探すニックと総務部長ヤノ、情報局部長ハルマの３人。ネネは一人オペレーションルームに戻り、情報を収集しつつ彼らの誘導を行う。しかし、次から次へと湧き出すように現れるブーマの群れに、ニック達は次第に追いつめられていく。そして、ついにマッドブーマ達はトーテムポール自体と融合を始め、ビルそのものがマッド化を始めた。ネネはセキュリティを破ろうとするが失敗。情報局のコンピュータまでもブーマに乗っとられ、慌てて逃げ出す。ニック達と合流しようとブーマの蠢くビル内を走り回るネネだが、廊下のド真ん中で隔壁が降り、閉じこめられてしまう。その頃、トーテムポールの外では、知らせを聞いたプリス達がシルキードールへと集まっていた。しかし、ネネを助けに行こうにもハードスーツは無い。そこで、プリスはモトスレイブをハードスーツ無しで乗れるよう改造し、それで救出に向かう事にする。トーテムポール前には、異変に気づいたレオン達ＡＤポリスが集結していた。そこにモトスレイブで駆け付けたプリスは、レオンに協力を頼むのだった。

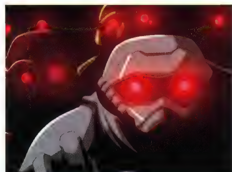
Moving ep.17 Waves


8「プリス、大変なのネネが！」。バンド練習中だったプリスに、リンナからの通信が入る


13異変に気づき、庁舎前へやってきたレオン達


9裏切った秘書ブーマを撃ち殺すメイスン

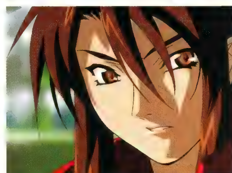

5床を突き破り、ニック達に迫るブーマの群れ


1トーテムポールに溢れかえるマッドブーマ


14そこへ、モトスレイブでプリスが駆けつける


10ネネの危機に、再び集まるＫＳ達


2内部に取り残されたニック、ヤノ、ハルマの三人は、なんとか脱出を試みるのだが…


15「レオン、手を貸して！」

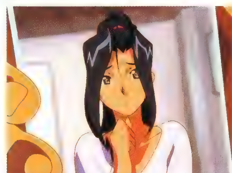

11あふれかえるマッドブーマの群れまた群れ


12襲い来るブーマにマシンガン乱射で応戦するネネ。その勢いでニック達の元へ向かおうとするが…


6銃を乱射してブーマを蹴散らすニック


3事件を知らず、食事中のレオンとデイリー


7ネネのいる情報局にもブーマの侵攻が…


4そこへ、ニックの娘マリアからの通信が入る

EPISODE.18

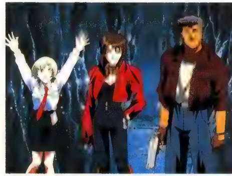
We Built This City

下水道と屋上の両面からトーテムポールへと侵入を試みるADポリス達。単独モトスレイブで突入しようとするプリスに、レオンは道案内が必要だと一緒にモトスレイブにまたがる。一方ニック達は整備棟でKスーツを入手し、隔壁に閉じこめられていたネネを救出。しかしマッドブーマの侵攻は止まる事を知らず、ネネ達はついにマッドブーマの群れに囲まれてしまう。そこに駆け付けるプリスとレオン。モトスレイブの機銃で群がるブーマを一掃し四人を救う。喜び、プリスに飛び付くネネ。その様子に思わずプリスの顔がほころぶ。レオンはブーマを食い止める為にニック達と残り、プリスとネネを先に行かせる。出口を目指し、溢れ返るブーマのまっただ中モトスレイブで疾走するプリスとネネ。しかしブーマの攻撃を受けて転倒してしまい、倒れたモトスレイブを置いて行かなければならなくなる。追ってきたレオン達と合流、退路を探して電子中枢ブロックを上へと進む一行。しかしブーマ達も電子中枢と融合するため、背後に迫りつつあった。そしてついにトーテムポールは完全にブーマと融合。これに対しニック達は冷却装置を暴走させてビルの冷凍化を企て、これを成功させる。ブーマは活動を停止した。その頃、ゲノムタワーではようやくメイスンの反逆に気づいたクインシーが彼を失脚させようと画策していた。しかし時すでに遅く、彼はメイスンの秘書ブーマにより殺害されてしまう。

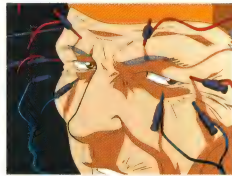
Ep.18 We Built This City


13 シリア達がヘリで迎えにやってきた

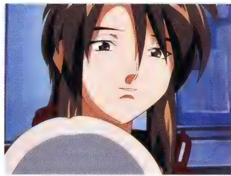

8 ブーマの攻撃に転倒してしまうモトスレイブ


14 ようやく、長く恐ろしい夜が明けた


9 全員が合流し、上階を目指して進む

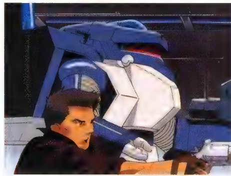

15 タワーでは、会長が最後の瞬間を迎えていた


10 トーテムポールの外には、シリア達も到着


5 その様子に、ふっと表情を緩めるプリス


1 ニック達はKスーツでネネを助け出す


11 ついにトーテムポールとの完全融合を始めたマッドブーマ。周りを囲まれ絶体絶命のプリス達


6 プリス達を先に逃がす為に残るレオン

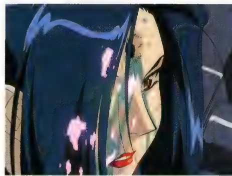

2 ネネ達の元へ、近づいてくるエンジン音


3 駆けつけるプリス！ モトスレイブの砲撃でネネ達に迫るマッドブーマを粉砕した！


16 ケーブルを引きちぎる秘書ブーマ



12 冷却装置を暴走させ、タワーを冷凍化した


17 その顔に、生命維持装置の液体が飛び散る


7 出口を探して、モトスレイブを走らせる

4 「プリス！」。抱きつくネネを受け止める

EPISODE.19

Are You Experienced

ガラテアのフェノメノンは、東京の地下深くを走るエネルギー供給路〝ドラゴンライン〟を伝って街中に広がり、東京中のブーマをマッド化させ始めた。ネネとデイリーの力を借りてＴＶ電波をジャックし、ブーマの正体とゲノムの所業を告発するレオン。しかし、すでに人々が退去し無人と化したメガロシティに、その言葉に耳を傾ける者はいないかに見えた。だが、東京に残ったＡＤポリスフロンター達は希望を捨てずにレオン達の元へと集合、ドラゴンラインを断ち切るために環八トンネルから地下貯水湖へと降りようとする。その頃、地下整備工房では、新しいハードスーツの制作が進められていた。二度とハードスーツは着ないと言ったものの、気になって店を訪れるプリス。そこへ、新ハードスーツに身を包んだリンナが現れる。全ての面でパワーアップしたスーツに大喜びのリンナは、プリスにも意地を張るのをやめて着てみろと薦める。その時、レオン達と一緒に行動していたネネから、マッキーに通信が入る。トンネル内に残っていた車が融合し、巨大なマッドブーマとなって現れたのだ。ＡＤポリスの装備ではまったく歯が立たない。レオンとデイリーはＡＤパトカーでマッドブーマに特攻をかけ、決死の攻撃により頭部ごとコアを吹き飛ばす事に成功。完全に活動を停止したかに見えたが……が、マッドブーマは一瞬にして再生を果たし、その活動は止まらなかった。

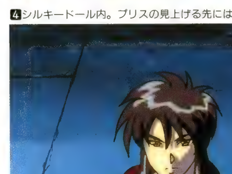



1 ブーマの徘徊する東京に、レオンの声が響く

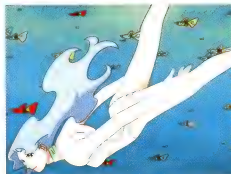

2 ブーマ化した機械に蝕まれるクインシーの屍


3 電波ジャックして真実を世間に訴えるネネ達

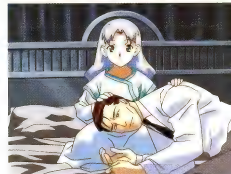
4 シルキードール内。プリスの見上げる先には

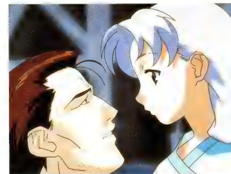





5 水槽内で人魚の如く泳ぐ、シリアの姿


6 ブーマとハードスーツの関係を語るシリア


7 メイスンはガラテアの創る新世界を夢想し


8 自らは〝観察者〟となる事を望んでいた


9 ＡＤポリスの仲間を出迎えるレオン達


10「プリス！」。呼ばれて振り向くと…


11 新ハードスーツに身を包んだリンナの勇姿


12 体のラインが露わな事をプリスに指摘される


13 トンネルから現れた巨大マッドブーマ


14 ＡＤパトカーで突っ込むレオンとデイリー


15 コアを潰す為、ギリギリまで引き付け…


16「今だ！」。デイリーの合図で一斉砲撃！


17 コアごと吹き飛ばされたはずの首が、一瞬にして再生。咆哮を上げる巨大ブーマ

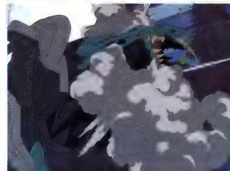

18「なんで!? コアが無くなったのに！」

EPISODE. 20

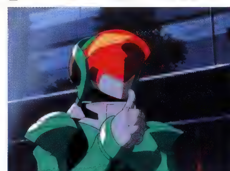
One Of These Night

　ドラゴンラインとの接続により、ついにコア無しでも活動できるまでに進化してしまった巨大ブーマがネネ達に迫りくる。しかし、その危機へ新しいハードスーツに身を包んだリンナが到着し、そのケタ外れなパワーによって瞬時にブーマを破壊した。その姿を見たネネは、自分もハードスーツを着る事を決意する。新ハードスーツの完成を待つため、ナイジェルの工房に集まるナイトセイバーズ。そこで、プリスはシリアとナイジェルが変えようもなく深い関係である事を知り、一人バイクで街に出てしまう。トレーラーハウスに戻ったプリスに、ブーマ化したオモチャの人形達が襲いかかる。生身の上、数の多さに苦戦する彼女を、救ったのはレオンだった。
　一方、ゲノムタワーでは急速に成長、学習を終えたガラテアが、メイスンの体内に存在する人工臓器に干渉し、マッド化させてしまった。そして、観察者として神になる事を望んだメイスンを、メガロシティを一望できるタワーの側壁と融合させてしまったのだ。さらに、地下に没したドラゴンラインを地上に引き上げブーマ化させはじめるガラテア。それを止めるため、リンナ、ネネ、シリアの三人は新型ハードスーツで出撃。しかし、地下埋蔵物と融合し、巨大なワームと化したドラゴンライン相手に三人は苦戦する。遅れてシルキードールに到着したプリスは、仲間を助ける為に進んでハードスーツを着るのだった。

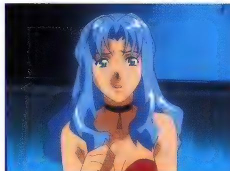
ep. One of thesE Night 20


1 駆けつけたリンナ、ブーマに先制の一撃／

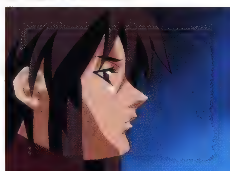

2 ブレードカッター一閃で、ブーマを粉砕


3 新ハードスーツの力を見せ付けたリンナ


4「やっぱり、私も／」。決心するネネ
5「神様になりたいのね？」。メイスンに問う


6 ナイジェルの言葉に傷つくシリア


7「心配してくれてるんだ…」


8 プリスは二人の会話を聞いてしまう


9 人工臓器をブーマ化されてしまったメイスン


10 急速度で成長してゆくガラテア


11 ブーマ化した人形達に襲われるプリス

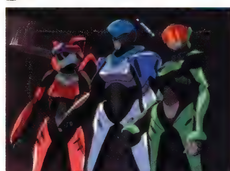

12 助けてくれたレオンに迫られるが…

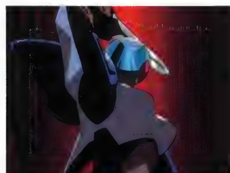

13 いいところで邪魔が入り、慌てるプリス


14 ネネ、新ハードスーツを初体験


15 インナーメタルに「気持ち悪いよぉ～」


16 ナイジェルにシリアを託すマッキー


17 新ハードスーツで出動した三人


18 ワームにソードの鋭い切先を叩き込み


19 ブレードカッターがその身を切り裂き


20 ニードルガンがその巨躯を吹き飛ばす


21 しかし、ワームの暴走は簡単には止まらない


22 捕まったネネを助けようとするリンナだが…


23 傷の痛みをこらえハードスーツを着るプリス


24 シリアが気づくと、リンナとネネが…



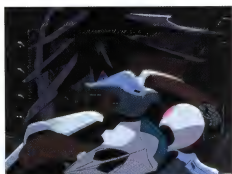
BOISTEROUS DANCE [乱舞]

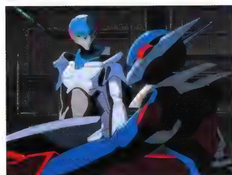


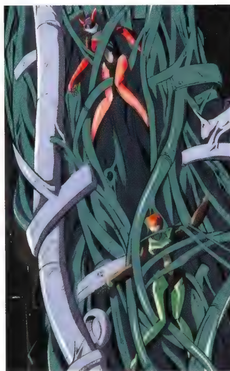
■イラストレーション：百瀬恵美子／仕上げ：大西峰代

Close To The Edge

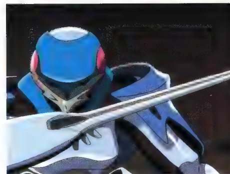
リンナとネネを捕らえ、ハードスーツを融合しようとするワーム。二人を助けようとするシリアの攻撃も通用せず、一瞬の不意を突かれ足元をすくわれた彼女にも、ワームの触手が迫る。そこへ新しいハードスーツに身を包み、新型モトスレイブに乗ったプリスが駆けつけた！　協力してワームを倒そうとするプリスとシリアだったが、シリアもワームに捕まってしまう。さらに、現れ出たマッドブーマの群れに囲まれてしまうプリス。だが新型モトスレイブの新しい力、パワードスーツ形態に変形させ、その強力なパワーで襲いかかるブーマを一掃する。その間にも、ワームに飲み込まれていくシリア達。その時、プリスの脳にシリアの声が響いた。新型ハードスーツと彼女たちの間に何らかの力が働き、精神的な感応現象が起きている。これを利用して、ワームのロジックをシリア達の意識で支配しようというのだ。シリア、リンナ、ネネの三人の意志により動きを止めるワーム。その機を逃さず、プリスはモトスレイブでワームの口から内部に進入。ワームはプリスの攻撃に大爆発を起こす。無事帰還して、シルキードールで一時の休息を楽しむナイトセイバーズ達。しかし、休む間もなく突如として店内に警報が鳴り響いた。地下基地へと集まる一同。ブーマの姿はどこにもないかに思われたが、やがて巨大水槽の中に浮び上がる黒い影。マッドブーマ達は、屋上プールから侵入を始めたのだ。


10 シリアに迫る触手。だが、その時／

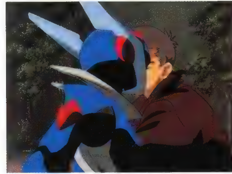

11 仲間の危機に、プリスが到着した


6 ワームは、ハードスーツを融合しようとする


12 残された男達は、ただ待つだけ…


7 二人を助ける為、一人立ち向かうシリア


4 ニューモトスレイブで仲間の元へと急ぐ


1 メット越しにプリスにキスをするレオン

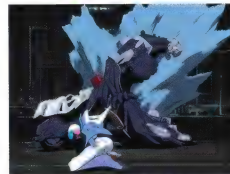

13 マッドブーマに囲まれてしまったプリス


8 ワームから伸びた触手が次々と襲いかかる


5 捕まってしまったリンナとネネ


2 「戻ってきた時には、メット無しでな」


14 パワードスーツへと変形するモトスレイブ


9 着地と同時に、マッドブーマを粉砕



15 プリスと一つとなったモトスレイブは、その強力なパワーによって、群がるマッドブーマを一瞬のうちに薙ぎ払った／






3 その言葉に答える代わりに、レオンのハートを撃ち抜くジェスチャーのプリス


㉘悪夢に目覚めるシリア。全身に汗が吹き出す

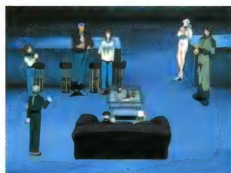

㉖データのバックアップを始めるマッキー


㉙鳴り響く警報に、全員が地下ピットへ集まる


㉗ブーマの大軍がシルキードールに向かう


⑯繰り出すパンチは、マッドブーマの頭を一撃で粉々に破壊する！


㉚「もう、この中に入ってる！」。叫ぶネネ。だがマッドブーマの姿は見えず、一同に緊張が走る


㉒戦いの疲れを癒すシルキードールでのひと時


⑰その時、シリアの呼び掛けが頭に響いた


㉓「お前たちが羨ましかった…」とレオン


⑱精神を集中し、逆にワームを支配する三人

再び集い戦うナイトセイバーズの4人。しかし、ガラテアの魔手が新たな侵略を開始。シルキードールの地下ピットに忍び寄るマッドブーマの群。そしてさらなる侵略が、見えない所で始まっていた。

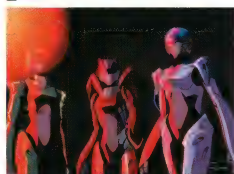

㉔レオンの告白に、嬉しそうなプリス


⑲プリスの一撃に、大爆発を起こすワーム


㉛シリアの背後。水槽に浮かび上がる、黒い影


㉜ブーマは屋上プールから侵入していたのだ！


㉕実体化させたフェノメノンに働きかけ、東京のブーマ化を進行させようとするガラテア


⑳「プリスは？」。仲間達の見守る中…


㉑燃え盛る炎の中から、生還するプリス



プレミア写真館

素顔のナイトセイバーズ③
シリア・スティングレイ編



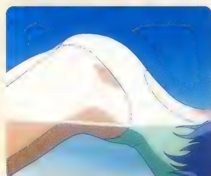
幼い頃、父母の愛情に満たされていなかった事が原因で、不安定な精神状態のまま成長したシリア。愛を求め、裏切られながらもさらに求め続ける。その肉体は成熟段階にあり、徐々にハードスーツを着装できなくなりつつある。そんな彼女のお宝写真は、やはりそのナイスバディの特写。時折見せる大人の女性の色気も要チェックだ。

















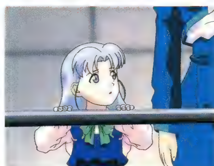
超お宝写真 ～シリアの過去～



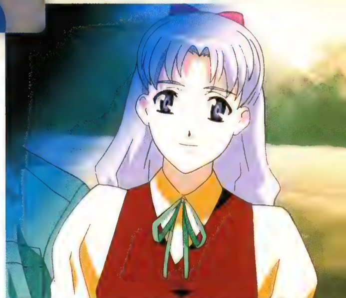
↑母親を亡くした悲しみに追い打ちをかけるように、父親は娘を実験体に選んでしまう



↑生まれた頃は幸せだったと想像されるシリアだが、この頃から泣く事が多くなってゆく



↑"ウィズラボ"を母親と訪れたシリア。しかし、この時既に夫婦関係は最悪だった



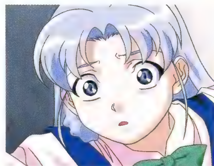
↑少女時代のシリアの記念写真。この時隣に写っている独りの少年の姿が、後にネネを驚愕させる事に……



↑悲劇の始まり。実験体として、ナノメカニズムを視床下部にインプラントされるシリア



↑メイスンに慰められるシリア。"ウィズラボ"を訪れても父親に会えない日々が続いた



↑母親によって父親から引き離されるシリア。この時のトラウマが彼女をファザコンにした



➔研究に没頭する父親に向かって手を振るシリア。この時の明るさは、過酷な運命の中でやがて失われてしまう

EPISODE. 22

Can't Buy A Thrill

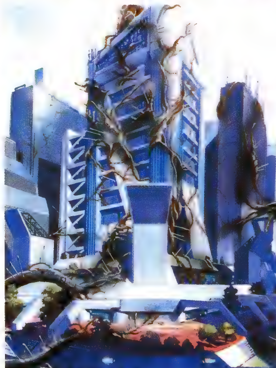
マッドブーマが水漕のガラスを破るのも時間の問題だった。急いでハードスーツに着替えるシリア達。そしてついにガラスを破り、基地に侵入してしまうマッドブーマ。大量の水が室内に流れ込む。ナイトセイバーズは水中で戦いつつ、なんとか全員が脱出に成功。しかし、外に出た彼女らが見たものは、すっかり様相の変わってしまった東京の姿であった。機械は全てブーマと融合し、巨大生物が街を徘徊する。シリアが呟く。「まるで、別の生態系を持ったみたい…」。その時、地響きと共にビルを突き破ってブーマ化したドラゴンラインが隆起し、シルキードールは完全に崩壊してしまった。一方その頃、ゲノムタワーと一体化したメイスンは、変わり果てた東京を見下ろし感動に震えていた。幼い頃の手術によって、普通の子供として生活できなかった彼の、歪んだ精神が望んだ新しい世界。それが現実のものとなった今も、彼は幼い頃と変わらぬ傍観者であった。東京中に溢れるブーマの群れ。休める場所を探してモバイルピットで街を走るシリア達は、機械の存在しない自然公園へと移動する。そこには逃げ遅れた人々が避難、生活していた。彼らと共に夜を明かす事になり、焚き火を囲み一時のくつろぎを得る一同。しかし姿の見えないマッキーを探してモバイルピットに戻ったネネがそこに見たのは、ガラテアに精神を乗っ取られ、虚ろな目でコンピュータに向かうマッキーの姿だった……。


1 ついにシルキードールにマッドブーマの群れが侵入した。水槽を突破されるのも時間の問題だ


2 ハードスーツに着替える四人


3 浸水したピットからの決死の脱出劇が展開


4 カナヅチのネネをかばう男らしいマッキー

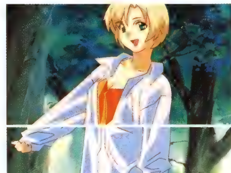

5 一晩で、すっかり様相の変わってしまった東京の街並み


6 「なんと、美しい光景」と傍観するメイスン


7 その姿が病弱な少年時代のメイスンと重なる


8 ブーマのいない自然公園へと移動した一行


9 そこでは、逃げ遅れた人々が生活していた



10 着替えて登場し、ヒンシュクを買うネネ

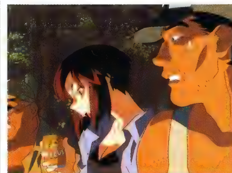

11 公園には五十人程の人間が非難していた


12 明るく振る舞う人々にシリアも笑みが零れる


13 コンビニへ"狩り"にやってきたレオン達


14 焚き火を囲み、ささやかながらも開かれる宴


15 マシン語で何かに語り続けるガラテア


16 実は酒乱だったリンナ。完全に悪酔い状態


17 モバイルピットへと戻ったネネが見たものは、ガラテアに操られたマッキーの姿だった!?

Hydra

「マッキー／」。深夜の公園にネネの絶叫が響く。モバイルピットに駆けつけたプリス達は、マッキーを包んだ光に弾かれ倒れているネネと、ガラテアに乗っ取られ記憶を消されようとしているマッキーの姿を見つける。プリスはコンピュータを破壊しマッキーを助け出すが、既に記憶の大半を奪われたマッキーは、人形のようにただ眠り続けるだけとなってしまう。翌日、決意も新たにガラテアを倒す為ゲノムタワーへと向かうナイトセイバーズの４人。しかしタワーを目前にしてブーマ化したナノメカニカルがガラテアに操られて壁を作り、ナイトセイバーズの侵入を拒む。その時モバイルピットで目覚めたマッキーが、最後の力を使ってガラテアのコントロールを一時的に混乱させた。破壊されるナノメカニカル。しかし、それによりマッキーは全ての記憶を失ってしまう。しかし悲しむ間もなく４人はタワー内部へと急ぐ。途中、変わり果てた姿のメイスンを見つけるが、彼はすでに話す事さえできなくなっていた。タワー内部へと侵入した一行を待っていたのは重力の無い超伝導空間。そしてついに４人の前にガラテアが姿を現した。実態化したフェノメノンがナイトセイバーズを襲う。それを交わしつつ、ガラテアと対峙したシリアのソードが、その身体を斬り裂いた。しかし何事もなかったように傷を再生したガラテアは、ゲノムタワーとの融合を始めるのだった。

Hydra


9 それぞれの理由から戦う４人。だがプリスは「私たちはナイトセイバーズ、それでいいじゃん」


5「マッキーを返してよっ！」

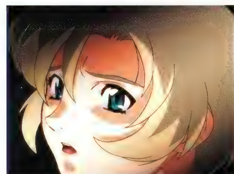

1 マッキーとネネがいない事に気づくシリア

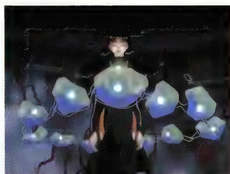

13 ナノメカニカルブーマに捕まってしまう３人


10 目指すはガラテアの潜むゲノムタワー


6 マッキーの側にいて良いと言うシリア達に…


2 ガラテアはマッキーの記憶を消そうとする

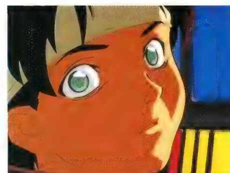

14 残ったネネに、マッキーが呼びかける


11 シリア達の動きを察知し、迎え撃つガラテア


7「マッキーの記憶をガラテアから取り戻す！」

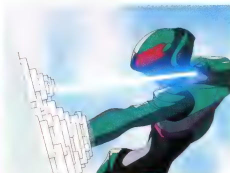

3 ネネの叫びを聞いて、プリス達が駆けつけた


8 プリスを呼び止め、不意打ちのキス


4 マッキー口からは、ガラテアの声が……／


15 マッキーは自分が人間として生きてきた情報、不規則なロジックをガラテアへと流し込み、混乱させてＫＳの活路を見い出そうとしていた



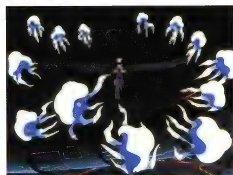

12 ブーマ化したナノメカニカルが行く手を阻む

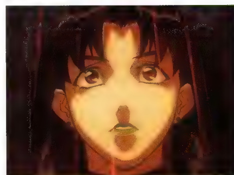
マッキーの記憶が、そして心が、ネネ達の思い出と共にガラテアによって奪われようとしていた。だが、最期の力を振り絞ってマッキーは戦う、仲間のためにナイトセイバーズの一員として……！


29ガラテアを切り裂いた切先から、ハードスーツが侵食されていく


22壁を破り、タワー内部へと潜入したKS

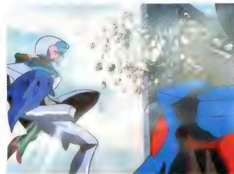

16最後に残された力を使うマッキー

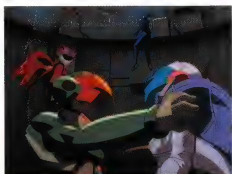

23待ち構えていたガラテアが攻撃してくる


17流れ込むマッキーの記憶に戸惑うガラテア

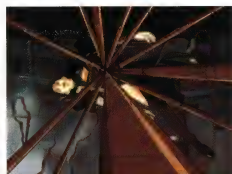

30ニードルガンでシリアのソードを折るネネ

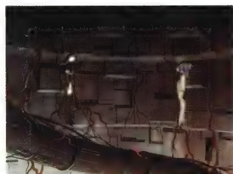

24フェノメノンを一掃する為、プリスはタクトを引き剝かし、そこへネネがエネルギーを流し込む


18一瞬の隙を突き、ナノメカニカルを粉砕


31「ごめんね、マッキー…」。むせび泣くシリア

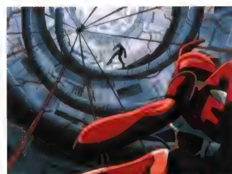

19力を使い果たしてしまったマッキー


32ガラテアの身体から無数の触手が伸びる


26ついにガラテアと対峙するシリア

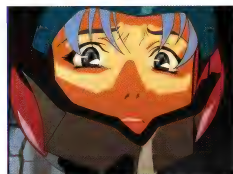

25吹き出す炎がフェノメノンを焼き尽くす！


20しかし、KS達に悲しんでいる暇は無い


33ゲノムタワーと融合を始めるガラテア


27「こんなところにいる必要だってないの」


34巨大化したガラテアは、宇宙へと昇り始めた


28マッキーの声で話しかけられ混乱するシリア


21先へと進むプリスたちは、ブーマ化し、タワーと一体化しているメイスンを見つける

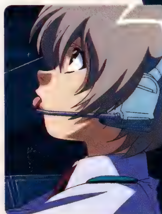


いつも元気な今時（2040年）の少女で、周囲が手を焼くお転婆ぶりを発揮。ただ、頭が良すぎるためか、恋の噂も立たない始末。少女らしい面も多々あるが、ここではやはりその暴走ぶりをご紹介しよう。

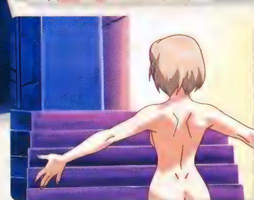




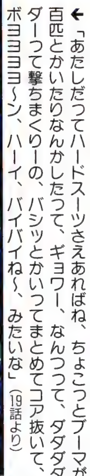








超お宝写真 ～ネネの爆走～



←「あたしだってハードスーツさえあればね、ちょこっとブーマが百匹とかいたりなんかしたって、ギョワー、なんつって、ダダダダーって撃ちまくりーの、バシッとかいってまとめてコア抜いて、ボヨヨヨヨ～ン、ハーイ、バイバイね～、みたいな」（19話より）



↑同じくトーテムポールにて。普段可愛いだけに、崩れた時のギャップがすごい

↑トーテムポールがブーマに襲われた時のショット。驚き顔は半端じゃない

←シリアに好きだと言われた事を、愛の告白と勘違いしてうろたえるネネ。そのうろたえぶりに本気が入っている



→上の写真と同じ時のもの。このただならないようすを見たリンナは「おかしな娘」と笑う

↑驚きの表情第3弾。スカイフックのカーゴが使えない事に驚くネネ

↑プリスにバカにされ、焦るネネ。頭は良くても運動神経はにぶいかも

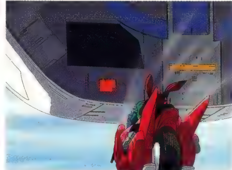
EPISODE.24

Light My Fire

ゲノムタワーと融合し巨大な宇宙船と化したガラテアは、宇宙へと飛び立った。目標は、ゲノムコーポレーションの推進していたエネルギー枯渇問題解消計画"ショウハムプロジェクト"の要となる"アンブレラ"。衛星軌道上に建設されたこの巨大な傘は、大気圏外のピュアな太陽光を集めてゲノムタワーに送り、地下のドラゴンラインに蓄積しようという計画であった。が、ガラテアはそれを利用してフェノメノンを地下に送り込み、地球全土をブーマ化しようとしているのだ。NSAはガラテアを破壊しようとシャトルミサイルを打ち込むが失敗。世界各国は自国が東京のようになるのを恐れて混乱を始める。ガラテアの狙いがショウハムである事が知れれば、フェノメノンの受け皿となる東京を核攻撃しようとするのは、火を見るよりも明らかだった。彼らにそれを知られる前に、ガラテアの企てを阻止しなければならない。最後の決戦を決意したプリス、ネネ、リンナの三人は、スカイフックを使って宇宙へ上がろうとする。しかし、スカイフックに乗り込む為に必要とされた"コンテナ"も、"スライダーパレット"も、プラットホームに到着するより早くフェノメノンの影響で海の藻屑となっていた。仕方なく、モトスレイブを駆ってフックに直接乗り込もうとする三人。苛酷な運転でモトスレイブを犠牲にしながらもどうにか飛び乗り、ナイトセイバーズはついに宇宙へと飛び出したのだった。


16 三人を乗せて疾走するモトスレイブ


12 メイシオに抱かれカーゴに運ばれるマッキー


17 時速780キロで、スカイフックに飛び乗る！


13 堪えきれずナイジェルの腕の中で泣くシリア


18 内部には、作業用ブーマが残っていた


14 精一杯の言葉で、プリス達を送り出すレオン


6 このままでは、他国に東京は核攻撃される！


1 巨大な女神像と化したガラテア


19 壊れたモトスレイブに語り掛けるプリス

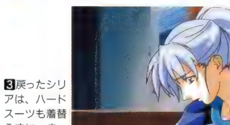

15 背後に迫る、スカイフック

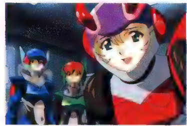

7 共に戦えないと悔しがるレオンに…


2 ガラテアを、ただ見送る事しかできないKS

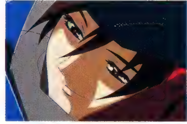

20「星がいっぱいだ。奇麗だな、こんなに沢山…」。窓の外に広がる宇宙を眺め、一人呟くプリス


8 マッキーの側に残るシリア

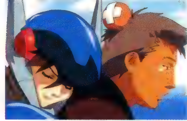

3 戻ったシリアは、ハードスーツも着替えずに、ずっとマッキーの側についている…


9「絶対帰ってくるからさ！」


4 身動き一つせず、眠り続けるマッキー


10 ADポリス嫌いの真相を語るプリス

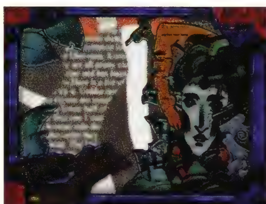
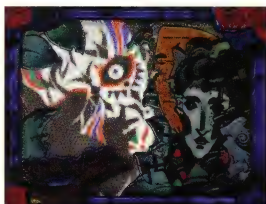

5「終わりになんてしない！」

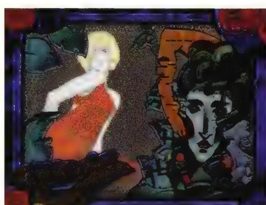

11 思わず吹き出した結果がこの姿

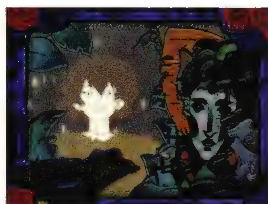


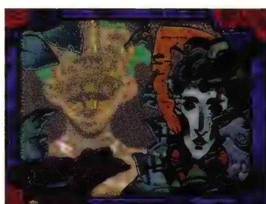
■イラストレーション：山田正樹／仕上げ：日比智恵子

ENDING







★オープニング同様フルCGによるエンディング。須藤あきらの『Waiting for you』が流れる映像は、本編の不気味にして華麗な余韻と見事に溶け合って作品を穏やかに締めくくる。演出・絵コンテ・作画監督を担当したのは中沢一登。

ep.25予告

（ナレーション／リンナ・ヤマザキ）

ショウハムプロジェクトの要であるアンブレラシステムにようやく辿り着いた私たちだったけど、そこは既にガラテアの魔城と化していた。
まるで病巣であるかのように繁殖するブーマの卵。
そして現れる、私たちの白き影。
果してガラテアの想いの先には何が!?
次回『バブルガムクライシス』





See You Next Week!

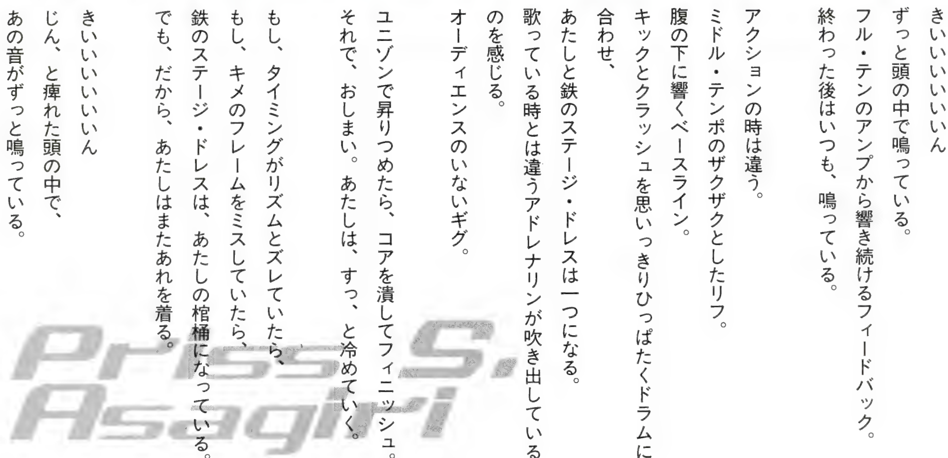
（※97ページにつづく）

VISUAL SIDE STORY
MAIN VOICE ACTRESS DISCUSSION
VOICE ACTOR& ACTRESSS COMMENT
SEKIRIA LIVE EVENT REPORT
STAFF INTERVIEW
STAFF COMMENT
DICTIONARY OF BUBBLEGUM WORDS
ANIMATION DESIGN MUSEUM



『BUBBLEGUM CRISIS TOKYO 2040』
VISUAL SIDE STORY
"Girls at heart"

●Story：小中千昭　●Illustration：山田正樹



きいいいいいいん
ずっと頭の中で鳴っている。
フル・テンのアンプから響き続けるフィードバック。
終わった後はいつも、鳴っている。

アクションの時は違う。
ミドル・テンポのザクザクとしたリフ。
腹の下に響くベースライン。
キックとクラッシュを思いっきりひっぱたくドラムに合わせ、
あたしと鉄のステージ・ドレスは一つになる。
歌っている時とは違うアドレナリンが吹き出しているのを感じる。
オーディエンスのいないギグ。

ユニゾンで昇りつめたら、コアを潰してフィニッシュ。
それで、おしまい。あたしは、すっ、と冷めていく。

もし、タイミングがリズムとズレていたら、
もし、キメのフレームをミスしていたら、
鉄のステージ・ドレスは、あたしの棺桶になっている。
でも、だから、あたしはまたあれを着る。

きいいいいいいん
じん、と痺れた頭の中で、
あの音がずっと鳴っている。



Rinna Yamazaki

夢ってかなうものなんだね。
ずっとずっと、願っていれば、
いままでだって、そうだった。
高校でずっと陸上を頑張っていた時も、
親の反対を押し切って東京に就職したのも、
ずっとあたしが願って、そうしたいと思っていたこと。
でも、まさか、本当にナイト・セイバーズになれるなんて。
あたしに出来るのかな。
あたしが、ナイト・セイバーズ？
これってただの偶然？
自覚ないけど、もしかしてあたし、凄く運勢がいいとか？
違う、と思う。
そういう気がしている。
ナイト・セイバーズは、あたしが思っていた通りでもあったけど、
違うところもあった。
人を襲う狂った機械を止める為に
命ギリギリのところで戦う女の子たち。
イメージ通り。
違っていたのは——、そう。
命ギリギリ、というのが、イメージだけじゃなかったこと。
自分が死ぬ時のことなんて、今まで考えた事もなかったもの。

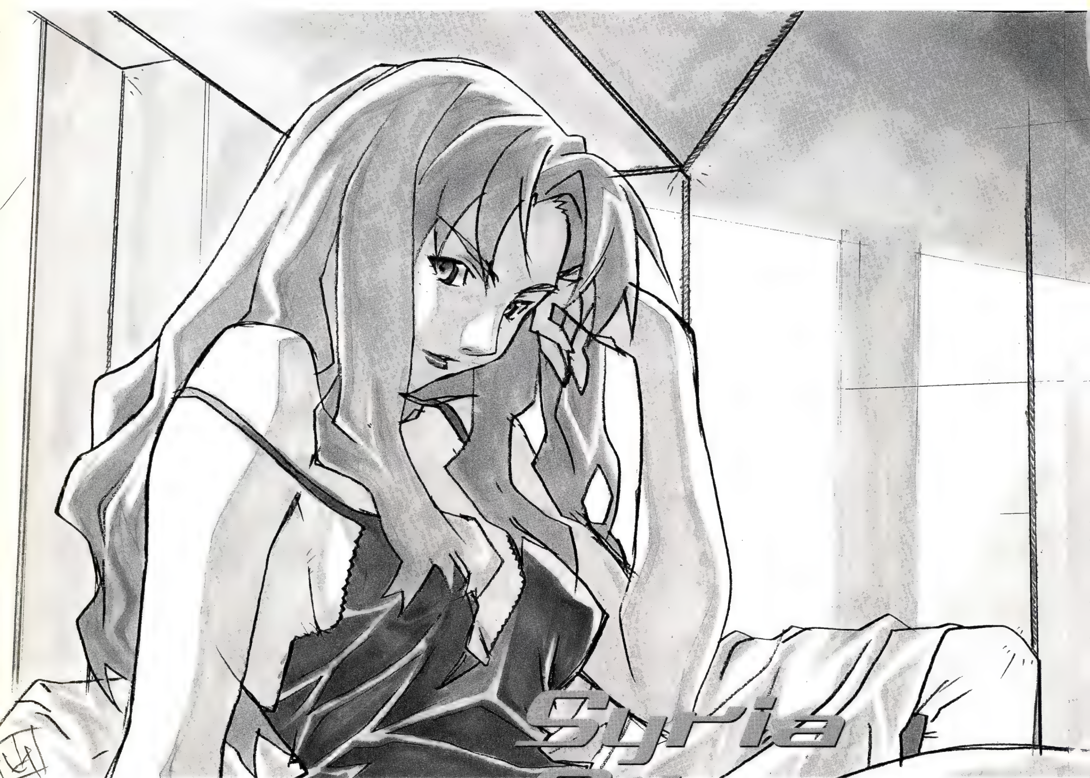
あたしは夢をかなえた。
でも、その夢はまだ続いている。
頑張るしかない。いままでと同じように。

Nene Romanova



ううん、そんなことない。
あたしはあたし。いつも通りだよ。
ほーら元気、元気。笑顔にこにこ〜。
──ってあたしの顔、ひきつってるかもしんない……。
え？　あの子が入ってきたからブルー入ってるって？
やっぱりそう、なのかなぁ。
ハードスーツ着て、アクションに出ていくのって
あたしには向いてないってこと？
そりゃあの子は運動神経、メチャクチャ凄いけどさ。
あたしだって──、やれてたじゃん。
シリアのアクションをピットでサポートしてた最初みたく
後ろの安全なとこにいた方があたしには向いてる。
だけど、だからあたしはそうじゃないあたしになりたい。
そう思った。そう決意したんじゃない！
プリスに嫌み言われたって、あたしだってやれるって。
ちゃんと頑張って、みんなに見せてあげなくちゃ！
やれる、かな……？
出来る！　あたし絶対出来るもん！

ねえ、どう思う？＞プリオちん



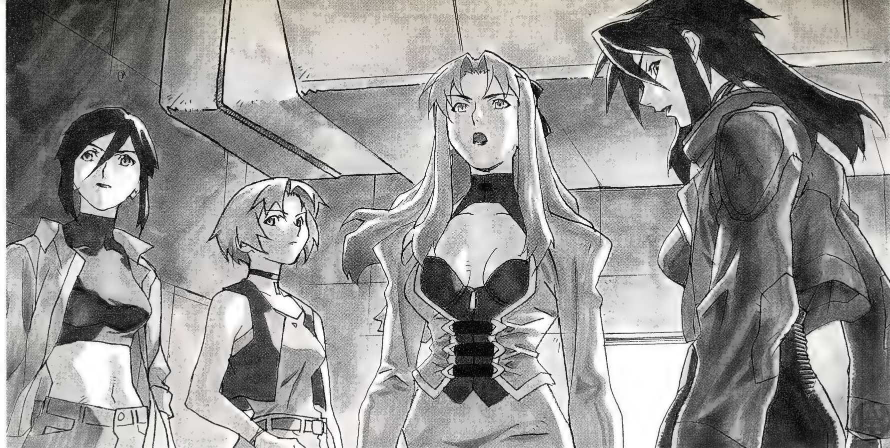
もう一度、キスして――。

その目は心配してるって感じね。
今の子たちは大丈夫。前の女の子と同じ事にはならない。
やっと本当のナイト・セイバーズが出来たと思ってるの。
いつだってあなたは何も言わないのね。それでもいいけど。

平気。いつもの頭痛。
薬を呑めばすぐに治る。
本当に呪わしい軀だわ！
触らないで！ 平気だって言ってるでしょう!?

ごめんなさい……。
私がどうして、忌まわしいあれを着ているのか――。
自分でも判らない。
けれど、あれを着る事で満たされたのは確かだわ。
あたしの中で生まれ、増殖したあれを、あたし自身が着る。
自然な事かもしれないでしょ？
判ってるわ。歪んでいる。
その私が、他の女の子を巻き込んでしまっている。
しかたないわ。だんだん私に、あれは軀に合わなくなってきている。
しなくてはいけない事は増え続けているというのに。
大丈夫。最期はあたしがきちんと始末をつけるから。

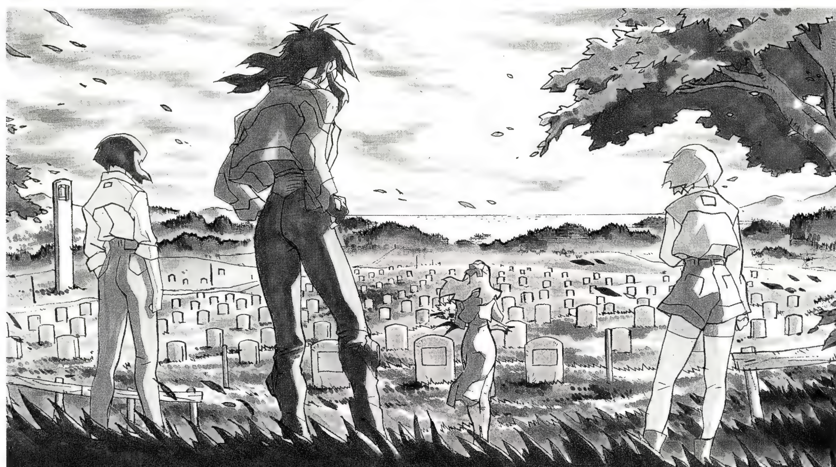
メイシオからよ。私、行くわ。



「な、何だよあれ！」
「ひ〜！　あんなにいっぱい増えてるぅ！」
「ビビってんのか？」
「なっ、だっ、誰がよ！　怖がってんのはリンナじゃない」
「え……？　あたし──」
「大丈夫なの？　リンナ」
「あたし、怖い。怖いと思っている」
「──」
「でもね！　一緒にワクワクしてる！　胸がこんなにドキドキしてる！」
「楽しんでる場合じゃないって。マッド・ブーマの数は」
「あっ、待って今アナライズする──。うっ、大ざっぱに言って30！」
「正確に言えよ」
「真ん中の方はくっついて大きくなってるよぉ！」
「コアを潰すのはやっかいね。バッテリメタル、チェック」
「さっき見たよ？」
「大事な事なの！　ちゃんと見なさい！」
「はい……」
「プリスのチェックよーし」
「ネネのもオッケーだ」
「シリアの、大丈夫、みたい」
「アクセラレーション掛けたらメタルの消耗は早いわ。時間は限られてる。いくわよ」

「ナイト・セイバーズ、アクション！」

In Action



メイン声優＋音響監督座談会

Member
本田保則（音響監督）
小西寛子（ネネ）
浅川悠（プリス）
夏樹リオ（リンナ）
雪乃五月（シリア）







去る３月25日、東京・新宿のタバックスタジオにて『バブルガムクライシスTOKYO2040』第26話の収録が行われました。
なんといっても最終話！
スタッフ・声優陣とも相当な意気込みでのぞんだだけあって、かなり力のこもったアフレコになりました。
その出来栄えはもちろんビデオで確かめて頂くとして、ここでは最終話の収録を終えたばかりのメイン声優４人＋本田音響監督との座談会をお届けします。
共演者のコメントと一緒にお楽しみ下さい

YU ASAKAWA

3月20日生まれ、東京都出身、アーツビジョン所属。独特のハスキーボイスが魅力の人気声優。TVアニメの代表作に『ロードス島戦記』(シーリス)、『アキハバラ電脳組』(東十条つぐみ)、『エルフを狩るモノたち』(レナ・オニール)など。TOKYO FM『DEEPER STREET』ほかラジオでも活躍中。





浅川 悠（プリス・アサギリ）

「最初はカッコイイと思っていたプリスが回を重ねるごとに可愛く見えてきました」

●最終回お疲れさまでした。

全員：お疲れさまでしたー！

●まずは作品の感想から一人ずつお願いします。

浅川 悠（＝浅）：今回こうした大役を演じるのは初めてなので、意欲的に取り組ませていただきました。でも1話の段階では、まさかプリスがあんなに男に溺れるとは思ってもみなかったですねー（笑）。元々そういう面もあったのかもしれないけど、その頃はまだ、人を好きになったことによってプリスがどう変わっていくのか全く分からなかった。最初の頃のプリスは、設定にあるようにぶっきらぼうで無愛想な感じだったのに、話が進むにつれて「自分1人じゃないんだ」という感情に目覚めていって、気がついた頃にはとても可愛らしくなっていたんです。とにかく〝強い・カッコイイ〟というイメージだった彼女の、可愛いところや表面的に強い反面精神的に弱い部分が見えてきたりして、まるで自分の中でプリスがどんどん枝分かれしていくような気分でした。最終回を録り終えた今は、〝特別強いわけでもないし、弱い所も可愛い所もあって人間としても女としてもすごく魅力的な女性〟というイメージになってますね。

雪乃五月（＝雪）：正直言って、よもやガラテアになろうとは思っていませんでした（笑）。以前、全くタイプの違う2役は演ったことがあるんですけど、同じ顔をして、かたやその人間の脳の中で育ったクローンのような機械人間、という複雑な背景の役はもちろん初めて。だから自分の中で果して「できるのかな？」という葛藤が常にありました。結果的に、あまり声を変えるわけでもなく、多少のトーンの違いだけで、いかに〝内面だけ別の人間〟というのを演じることができるのかという、すごいチャレンジをさせていただきました。こんな私をよく本田さんは起用してくださったと、本当に感謝感謝です。

夏樹リオ（＝夏）：最初からこういった、SFというか近未来的な話の中にあって、私は等身大の日常を演じさせて頂きました。それがすごい嬉しくて。緊張しながらも、今まで演じた中で一番親近感のある役だったんじゃないかな、と思っています。前半は日常的な部分を、後半はうってかわって戦いのシーンが中心だったので、2倍楽しめましたしね。1話を振り返るとすごく昔のような気もして、自分の中ではこの半年間、色々な意味で勉強になりました。

小西寛子（＝西）：2クール26話やっていたんですけど、本当にあっという間で。ネネは最初の頃、活発で脳天気でマイペースな女の子という感じで……まあ最終的にもマイペースだったんですけど、ストーリーが進んでいくうち、ちゃんと人の事を思いやったり、中には恋愛もあったりして、成長していったんですよね。その分、けっこう人間の内面を表現しなくてはいけない部分が出てきたので、今思い返すと、ネネと一緒にかなり悩んだり、泣いたりしてました。

本田保則（＝本）：全体的に言えば、役者のみなさん、この話の結末を知らないでスタートするというのは、非常にラッキーな始まりだったね。もし最初から結末が分かっていたら、その人物がどう描かれていくかが分かりすぎるだけに緊張するのだろうけど、今回はとりあえず、入口だけ見せてやっていったから、キャラクターと役者が共に成長して、色々な人との関わりというのを見事に演じてくれたと思います。

●皆さん印象に残ったシーンは？

西：私にとってはやっぱりマッキーとのシーン。相手が人間ならいいんですけど、ブーマだって分かった時の心境は、現実では絶対にあり得ないから、すごく難しく感じました。

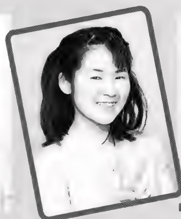
●皆さんは、マッキーがブーマだと最初から知っていたんですか？

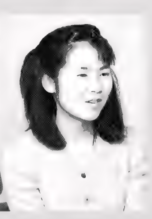
西：いえ、全然。

浅：途中で「ブーマなんじゃないの？」とは噂してたよね。

西：知ってから私もショックだったけど、作品中のネネはさらに驚いただろうし、本当に色々な葛藤があって。でもネネはマッキーそのものが好きで、それは彼がブーマであろうが何であろうが変わらない。そんな気持ちでいるネネというのは、客観的に見ると「可愛いな」と思うんですけど、でも本人はすごい大変だったろうなあ。演じていた私も大変だったし、本当に難しかったですね。

夏：私はやっぱり1話。リンナは普段、OLやって上司からセクハラを受けて、といったわりと普通の女の子な生活を送っている。そのリンナがナイトセイバーズに憧れて、その存在に触れたことで話がリンナの目で語られていくわけですけど、リンナの「これから一体どうなっちゃうの？」という状況と、その時の私の心境とが妙にリンクしていて、より感覚的に親近感を覚えたんですよね。あと自分の中にOLへの憧れのような部分があったので、そういう意味で







雪乃五月（シリア・スティングレイ）

「最終回を録り終えるとまるで何十年も年を重ねたような〝シリアの疲れ〟を感じた…」

SATSUKI YUKINO

5月25日生まれ、佐賀県出身、賢プロダクション所属。アニメを中心に、ゲーム、洋画、CMナレーションやラジオのMC、VP出演などその活躍は幅広い。TVアニメの代表作は『きこちゃんすまいる』(きこ)、『トライガン』(ミリィ・トンプソン)。OVAでは『聖少女艦隊バージンフリート』(雪見沢五月)など。

夏樹リオ（リンナ・ヤマザキ）

「等身大の日常を演じたリンナは、私にとって一番親近感のある役になりました」

RIO NATSUKI

3月5日生まれ、東京都出身、俳協所属。元気な美少女役には特に定評がある、澄んだメゾソプラノの持ち主。TVアニメの代表作は『バトルアスリーテス大運動会』（神崎あかり）、『神秘の世界エルハザード』（陣内菜々美）、『マクロス7』（美保美保）。またRKB福岡、FM愛知、bayFMなどラジオでも活躍中。

もすごく演じていて楽しかったです。それから初めてハードスーツを着た辺りも印象深いですね。とにかく1〜3話ぐらいまでは、私もリンナも必死でしたから。

西：そういえば、マサキさんに借りたお金ってどうしたのかな〜？

雪：もしかして忘れているんじゃない？（笑）

夏：悲しい過去だからね！（笑）でもまさかお見合いできるとは思わなかったから、あの話も楽しかったです。もうマサキさんとは会うこともないかもしれないけど……（涙）。

●でもお金を返していないということは、縁が切れていないということでは？

浅：そうそう、返さないことによって、しがみついてるわけですよ。

西：なるほどー、それで会うきっかけをまだ待っていると。

浅：実は「落ちついたら電話しようかな」とか思っているのかも（笑）。

夏：でも、ほら、レオンとプリスなんかイチャイチャだったじゃないですかー。正直、あれぐらいあってもいいんじゃないかなあ、って思ってたんですよ（笑）。

全員：（笑）。

浅：プリスで印象に残っているのは、どのシーンというのは難しいんですけど。そうですね……一番最初に登場したシーンで、リンナを轢き逃げして（笑）、バイクに乗ったままリンナが何かぎゃあぎゃあ言っているから、ヘルメットから顔を覗かせるっていうのが、プリスが素顔を見せた最初だと思うんです。その目の強さにまず驚いて、それがすごく印象的で、鮮烈に残りました。自分が演じたセリフでは、プリスというとアクションシーンが定番ですけど、むしろそれ以外の部分。例えば、レオンとキスした後ビックリして退ける所なんかはわりと想像どおりだったけど、段々慣れてきちゃって、逆に自分からする時、喋っているレオンに対して言った「黙れ」っていう一言とか。またはコアを潰す時の「バイバイ」という一言だとか。そういった一言で言い切るセリフが、印象に残ってます。中でもリンナとの会話は難しかった気がして……プリスはリンナに対して何か特別な感情があったから。というか、あの2人は不思議な関係でしたよね。最初の方でリンナがプリスの所へやってきて、ホットドッグを2人で食べている時の「マスタードつけすぎ」という一言とか、けっこう悩みました。

夏：あれ、難しかったね。

浅：リンナとの関係が微妙で、それを一言で表現するのが大変なんです。大好きですけど、難しくて楽しいシーンでしたね。

浅：あとナイジェルのことをプリスはすごく好きで、でもシリアと〝ねんごろ〟（笑）なのは知っていて、自分に対してそういう感情がないことは薄々気付いていたんですよね。でも作業しているナイジェルの背中に向かって「それ速い？」ってバイクのことを聞く場面。本当はシリアちゃんみたいに背中に抱きついてみたいんだろうけど、ちょっとすがれない、甘えきれないという切なさ。ナイジェルの気持ちへの不安とか寂しさが、妙に心に残っています。

夏：そういえば、プリスが女装した時、妙に可愛かったよね。

浅：女装っていうか……（笑）、そう、ドレスアップした時ね。別に「フン」ってしていればいいのに、赤くなっている所とか見ると「実は着てみたかったのかな」なんて思ったんけど。「素直になればいいのに、プリス」って。

夏：でも素直で女の子らしいプリスなんてあまり想像できない。やっぱり愛想がねー（笑）。

浅：CM向きじゃないしね。ビデオのCMなんか「本当に売る気あるのか？」って感じで（笑）。

本：そう、今日もCMを録ったんですけど、やっぱりプリスが「買ってね」って言ってもなんだか違うような。それで仕方なく……。

浅：「大好評発売中」。

雪：言わされてます、みたいな（笑）。

西：「買いたければ買えば」みたいな（笑）。

全員：（笑）。

雪：私はですね、何話のどのシーンというのじゃなくて、何といっても〝機械語〟です。もう機械語がある度に、実は家でひそかに「ポン・ピピン・ポンポン……」とか練習してたんですよー！（笑）本当に！　小さい頃のガラテアを演じた、堀江由衣ちゃんが最初にやっていたものを、原盤にさせていただきましたけど。

●ガラテアは、機械語の中でも言葉のようなものを喋っていましたよね？

本：あれはまず機械語があって、その間に言葉をぽんぽんと入れていって、機械的な音の中に言葉が入るように仕組んだんですよ。でも実は、あれも発端はいい加減でしてね（笑）。最初はテープを逆さ回しにするとか色々考えていたんで

小西寛子（ネネ・ロマノーヴァ）

「人間の内面を表現しなくてはいけなくてネネと一緒に悩んだり泣いたりしました」

HIROKO KONISHI

10月26日生まれ、神奈川県出身、田辺エージェンシー所属。アニメ作品の代表作はOVAでは『魔法使いTai！』（沢野口沙絵）、『A－Ka』（相田りおん）、TVでは『ドクタースランプ』（木緑あかね）など。美少女キャラの他、マスコットキャラなど特徴的な役もこなす。MX－TVではMCとしても活躍している。



●この現場の楽しい雰囲気がそのまま伝わってくるような、笑いの絶えない明るい座談会でした

すけど。まあ、でも機械っぽい感じということで、よく地震警報なんかで「ピロリロ……」なんていう音があるじゃないですか。あれが繋がったような音、という発想からだったんです。

●機械語にもOKやNGがあったんですか？

本：やっぱりありましたよ。パピプペポ系統以外のものが入ると音が濁りますので、やり直してもらったことは何度かありますね。

雪：幸か不幸か、最初にとったものを使い回してもらっていたという。私としてはなんか複雑な気持ちなんですけど……（笑）。

本：だって、機械語がだんだんうまくなってくるとつまんないじゃないか（笑）。

全員：（笑）。

本：だから、変わらないようにずっと貸し金庫に保管しておいたんです。

雪：ちゃんと冷凍保存してありました（笑）。

●でも機械語は常に同じではなかったですよね。

本：けっこう長く録ってありまして、この辺とこの辺とこの辺を……とうまくつないでね。そういう騙しをするのは、我々は得意ですから。

●スタッフ側の本田さんとして印象深いのは？

本：僕はですね、シーンがどうこうというより、作業をしているうちに、演じている俳優さん1人1人の成長を見つけられるというのが嬉しかったですね。よく歌の世界なんかだと、エコライジングなんかで色々できますけど、我々の世界だと、出てきた声そのものしかないでしょう。改造する時もありますけど、殆どがそのまま使われるんです。だから情感とか、演技そのものがどんどん深くなっていっているのが、聞いていると分かってくる。みなさん最初は白紙状態で臨んでいたものが、もう最終回なんかだと、セリフが自然に身体の中に入ってしまっているんですね。そういうのを見て感動しました。

●皆さんがオンエアをご覧になる時は、やはり作る側・演技した側として見てしまいますか？

西：私の場合はわりと作品全体を見ます。アフレコの時は音や効果が全く入っていない状態なので、どんな仕上がりになったのか見ておきたいし。自分の演技を確認するという感じで仕事的な見方もするし、一方で客観的に作品を楽しんだりもします。

浅：私は……そうですね、中間。いつもいけないと思いつつ、演じている時は自分の役に没頭してしまって、相手の会話をちゃんと受けていなかったりするので。家で見ている時は、その辺りをきちんと確認して、『バブルガムクライシス』の世界観であったり、キャラクターの心情だったり、そういうものを落ちついて考えるようにしています。あとは「ああ、こういう色だったんだ」とか思って見てるかな（笑）。

全員：（笑）。

浅：結構色のイメージというのは大きいと思うんです。簡単に言ってしまえば、プリスがピンクのハードスーツだったらおかしいわけで。あと細かい部分だと、建物の内部の色や明暗にも演技が左右されてくることがあるので、そういった色のイメージを見たりします。……やっぱり視聴者というかお客さん側ではどうしても見れないですよね。

雪：そうそう、あまり客観的には見れませんよー。プリスちゃんの意見にプラスαすると「あ、こういう動きをしていたんだ」というのもあります。録った時には「このセリフを言ってから動いたのかな」と思っていたのが、いざオンエアを見るとセリフを言いながら動いていたりして。そういうのがある度、真夜中に「あちゃー」とか「違ったのか」って叫んでいました（笑）。微妙な所がどうしても分からないので、

共演者インタビュー

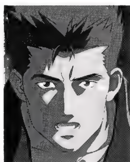
山口健（ナイジェル・カークランド／ニック・ローランド）……



●常にスタジオでの盛り上げ役だったという山口さん。なんでも浅川悠さんの言葉を借りれば、山口さんがいるときは「1人賑やか」だったのだとか……。

そもそもナイジェルというメカニックは、OVA版『バブルガムクライシス』では、存在していませんでした。だからなのか、当初お話を伺った時は、なかなかキャラ性が決まらなかったんです。でもいざフタを開けてみると、まるで以前から居たような不思議な存在感のあるキャラクターでした。僕はナイジェルの他にADポリスのニックも演じましたが、ナイジェルがハードボイルドで抑えたタイプである分、ニックでずいぶん発散させていただきました。楽しんだということでは断然ニックですね。印象に残っているシーンは、ニックが武器を持ってマッドブーマと戦う場面。アクションの映像がまるでハリウッド映画のようで、渋くて迫力がありました。この作品は、全体的に新しい主役の子たち4人のバランスがうまくとれていて、面白く感じました。また、女性のバックアップを男がしているという構図が、とても近未来的な世界観だという気がしました。

梁田清之（レオン・マクニコル）……



●言葉を選びながら、独特の低い深みのある声で応えて下さった梁田さん。インタビューに応える時にも、役柄そのもののような誠実な印象が残りました。

今までどちらかというと、男ばかりの収録現場が多かったもので、正直言って女性ばかりなのが嬉しいやら照れくさいやらで、ちょっと戸惑いました。ただ、レオンというキャラクターは、僕にはとても演じやすいタイプでしたし、最初はもっとツンツンした奴だとばっかり思っていたのが、しだいにナイトセイバーズの理解者になっていく、その心の過程というのに同じ男として好感を持てました。最終回を録り終えて、やはり気になるのはプリスとの今後でしょうか。最初はまさかプリスとあんなにいい仲になるとは思っていなかったもので、少しずつ打ち解けていく2人に、正直ワクワクしてました。僕の予想では、今頃結婚して尻に敷かれているんじゃないかなあ、という気がしてます。

ファンの方は、おそらく夜遅くまで起きてこの作品を見てくださったのだろうと思いますが、最後はビデオですので、安心して昼間に何度でも見てください。

宮田始典（マッキー・スティングレイ）……

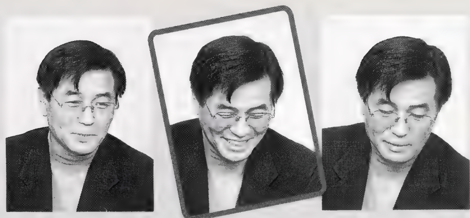


●「正直言って、自分の中ではまだ終わったという気がしないんです」と言う宮田さん。マッキーが最後にどうなるのか、もしやコメントにヒントがあるかも？

マッキーが登場したのは第6話からでした。実は最初に林監督とお話をした時に「マッキーは最後にどうなるんですか？」と聞いたんですけど「内緒。教えないよ」と言われてしまいまして。だから僕にも、マッキーが最終的にどうなるのか、全く分からなかったんです。でもそのおかげで、毎回新鮮な気持ちで台本を読めたし、アフレコに臨むこと

YASUNORI HONDA

1943年5月30日生まれ。67年にTVアニメ『マッハGO/GO/GO/』でデビュー。『ハクション大魔王』など多くの名作アニメの音響&プロデュースをつとめる。その後フリーを経て74年にアーツプロを設立。近作では『ちびまる子ちゃん』『バトルアスリーテス大運動会』『天地無用/』など。



本田保則（音響監督）

「とてもバラエティに富んだ現場で肩が凝らずに楽しめました」

完成されたものを見る時は、ある意味ちょっと時間を置いたあとの、自分だけの反省会になってましたね。

浅：ちょうど具合のいいことに、次の日がアフレコだったからね。

雪：教訓は次の日に生かせる！（笑）

●それでは、最後にファンへのメッセージをお願いします。

浅：初めての大役ということもあって、プリスがストーリーの中で色々な面を見せていくようになるのと同時に、自分も一緒に成長できていたらいいなと思いながら演じてきました。もう、凄く楽しかったので、その楽しさが少しでも多く見ている方にも伝わればいいなと思います。

雪：ガラテアが登場してからは、自分の中であっという間に時が過ぎていって、でもその反面演っていた時はものすごく長く感じていました。シリア自身がとても重い人生を重ねている人だったので、終わった時にはまるで何十年も年を重ねたような〝シリアの疲れ〟が出た、みたいな感覚がありました。まだ終わったという実感は湧かないんですけど、私も最終回を見て、また感動を再確認しようと思っています。みなさんもぜひ見てください。

夏：オンエアしか見ていない方は、おそらくビックリするぐらいの急展開になっています。実際演じている私たちも驚いたぐらいなので。1話や2話の出会いからすごく遠いところに行ってしまったわけですけど、思いきり力を出し切ろうと思って頑張ったラストなので、ぜひビデオでラストまで見て『バブルガムクライシス』の世界を最後まで堪能してください。

西：いつも応援ありがとう。私は宇宙に行ったことでまた違う世界を見て、なんだか人間の素晴らしさを感じました。ホントですよ～（笑）。そんな感動のラストが見られるので、ビデオを買ってぜひ見てくださいね！

本：この作品は、キャストには大変恵まれた作品だと思ってます。また見てくれた人も、プリスそしてリンナ、ネネ、シリアを自然な気持ちで見守っていられたんじゃないかと。私自身は現場で、まったく肩が凝らず楽しめましたし、普段は女性ばかりの華やかな現場で、時々そこに男性の俳優さんが入って、かき回していってくれたり、そういうバラエティに富んだ楽しさを味わえました。間違いなくいい作品に仕上がっていますので、ビデオをお楽しみに。

もできました。マッキーがブーマだったことだけは、知っていましたけど、最初はそのことは意識せずに、後半になってからグッと心情を盛り上げていこうと思っていたので、あくまでも普通の人間の少年という気持ちで演じました。もう最後までハラハラドキドキさせて頂いたので、そういう部分では視聴者のみなさんと同じ気持ちを味わえたと思います。とにかくこの作品は、キャラクターの思いが複雑なので、キャラそれぞれの立場に立って見ると、より楽しめる作品です。ぜひ最後まで見てください。

麻生智久（メイシオ・ヘンダーソン）



●実際の年齢より遥かに年配の声をあてることも多いという麻生さん。メイシオの役柄や作品全体に関して、とても深い考えを持っているのが印象的でした。



とても難しい作品、というのが第一印象でした。ただの機械と人間の話ではなく、人間と人間、人間と他の存在との心の触れ合いであったり、難しい言い方をしてしまうと、それぞれがどういう風に自我を持って、そして他人とどう結びついていくかを描いた作品だと思うんです。ですからこの作品は、今の世の中にある種の要求があり、必要とされて生まれてきた作品なんだと感じました。

まあ、主役の4人の女の子がほとんどこういった部分を表現してくれたので、自分としては、この作品の中でできる限り素直に存在できるように、と思って演じてきました。メイシオというのは能動的に何かをしていく役ではないですし、彼には「シリアを守るのだ」という感情が強くあるものの、特別に何かができるわけでもなくて。作品全体のテーマがあまりにも大きい分、むしろその素直な気持ちを基本として、大事にしながら演じるように心掛けていました。

山田美穂（秘書ブーマ弐号　他）

●主役の4人の女性陣に負けず劣らず元気な山田さん。秘書ブーマ弐号の名前に関してはこの本で確かめると言っていましたが、果して名前はついているのかな？



以前のOVA版で作品名は知っていましたが、まさか登場することになるとは思いませんでした。とにかく女の子たちがイキイキとしていて個性が強く、スタジオがいつも異様なほど盛り上がって、話はシリアスでも楽しい作品でした。私は作品中、秘書ブーマ弐号を始めとして、アナウンサーやリンナの親戚のおばちゃんやら、10役以上やっているので、ファンの方の中には「毎回、どんな役で出演しているのか楽しみ」と言ってくださる方もいて、私自身も色々と挑戦しつつ楽しませていただきました。中でも印象深いのは、メイスンの昼も夜も秘書、というちょっとアダルトな秘書ブーマ弐号。実は彼女、髪形や着ている服が私とよく似ているので、顔キャスティングじゃないか、ということでスタジオ内ではウケてました。私は彼女に名前がない事がとても気になっているんです。林監督、今からでも秘書ブーマ弐号にぜひ名前をつけてあげてください！



プリスの歌声とセキリアの音を聴いて下さい!!

1999年3月7日・日曜日
冷たい小雨の降りしきる中、東京・吉祥寺の「ON AIR Planet K」にて
その熱いライブは行われたのだった

「今日はみんなが『バブルガムクライシス』の世界に迷い込んだように感じてくれれば嬉しい」

本日の主役であるプリス＝須藤あきらは開演前にそう語った。

だがこの雨の中、果してファンはどれほど集まってくれるのか。そんなスタッフや出演者たちの不安は、あっさりと吹き飛ばされた。入場30分前になると、会場前はすでに長蛇の行列ができており、入場開始後も、その数は増すばかりだ。結局ライブハウス内は、まさに「アリの入る隙間もない」ほど、ぎっしりと人、人、人で埋めつくされたのだった。

この中には、OVAからの長年のファンもTVシリーズからのファンもいるのだろう。だがそんな違いは関係ない。彼らは〝プリスの歌、そしてセキリアの音を聴きたい〟という同じ思いを抱えて、ここへ集まって来たのだから。

そして……開演！

バイクの爆音が響き、プリスが登場。その瞬間、ライブハウス内はパンクしそうなほどのエネルギーで満ち溢れた。1曲目は『バブルガムクライシス2040』のOP『y'know//』。聞き慣れたノリのいいメロディに、ファンのボルテージはさらに上がる。そして『トンネルのなかの惑星』『雨』『イデア』『Bug list』『ぶっきらぼうな愛に溺れたい』と、ファンにはおなじみの曲が続く。だが、ついに最後の曲になった。歌うのはED曲『Waiting for YOU』。しっとりと歌うプリスの声に、観客の合唱も加わり、感動的にラストを締めくくったのだった。

だが、もちろんこれで終わりではなかった。会場内からは当然のようにアンコールが発生。全員が「プリス！」「プリス！」と喉を嗄らして叫ぶ。





Sekiria Featuring PRISS
IN "HOT LEGS"
the Eastern C-12 block of Megalocity

Vo : Priss　G : Maxon　Dr : Jaid　B : Fox

Sekiria
...ing PRISS!!
Every Weekend!
at "HOT LEGS"
the Eastern C-12 block of Megalo City









「2人のプリス」の共演をずっと夢見ていた――

その声に応えライトは再び点灯した。メロディが流れ、プリス再登場。だが現れたのは、さっきまでステージで熱唱していたプリスではなく、もう1人のプリス、声優の浅川悠だった！　しかも歌っているのは、OVA版の曲『今夜はハリケーン』。この心憎いばかりの演出に、観客のボルテージは頂点に達した！

浅川＝プリスはライブ直前に「今まで一緒の役をやっていたのに、なかなか会う機会がないので、この共演がとても楽しみ。生ライブというリアルさを感じてほしい」と語った。この〝2人のプリスによるライブ〟というのは、まさにリアルな興奮を観客全員に与えたに違いない。

その後は須藤＝プリスも登場し、ダブルプリスによる『y'know//』を披露。そして新曲である『journey』を歌って、ステージは幕を閉じた。

だが再度会場内は「プリス！」コールの嵐に包まれた。

当初の予定ではこれで本当の終了になるはずだった。だが収まりそうにないコールと熱気に、スタッフ・出演者ともども、再アンコールを決めた。まさに嬉しい誤算だった。

再びステージに上がった2人のプリスは『y'know//』を歌う。その歌は喜びと興奮に溢れ、同時にファンの心と1つに重なりあっていた。

ライブが終わると〝HOT LEGS〟は消え、空間は現実に戻った。あとには、興奮覚めやらぬまま、立ち去りがたい思いで呆然と立ち尽くす人々が残る。ステージを見つめつづける者、何度も振り返りながらライブハウスを後にした者。それぞれの中で、今日のライブはまさに一生の思い出になったに違いない。

2人のプリスは言った「やっとみんなの前に〝プリス〟として出ることができた。またこういうチャンスがあれば、ぜひみんなに来てほしい」

その機会があることを、ぜひとも願うばかりだ。







〔曲目リスト〕

1. y'know//
2. トンネルのなかの惑星
3. 雨
4. イデア
5. Buglist
6. ぶっきらぼうな愛に溺れたい
7. Waiting for YOU

アンコール

8. 今夜はハリケーン
9. y'know//
10. Journey

再アンコール

11. y'know//







須藤あきら（すどう　あきら）：1994年1月発売のシングル『あなたに伝えたくて』（TBS系『ニュースの森』EDテーマ）でデビューした、ハスキーボイスが魅力の本格女性ロックシンガー。その後6枚のシングルを発表する一方、ラジオのパーソナリティやライブ活動など精力的にこなす。1997年3月には米のハードロックグループMR.BIGのエリック・マーティンプロデュースによるミニアルバム『UNITED STATE OF MIND』を発表し、大きな反響を呼んだ。
11月4日生まれ／A型／群馬県高崎市出身

INTERVIEW

監督

林宏樹

一種の喜劇というか悲劇というか、そういうものをTVシリーズではやりたかった。

PROFILE●1962年、山口県出身。21歳でAICに動画マンとして入社。『ガルフォース2』で初演出。OVA版『バブルガムクライシス』第4話の演出として実質的な監督作業を経験し、『ソルビアンカ2』で初監督。梶島正樹と共同で『天地無用！　魎皇鬼』の原案を手がけ、第1期シリーズの監督として活躍する。

時は99年6月17日、所は東京・中村橋にあるAIC。TVシリーズ『バブルガムクライシスTOKYO2040』の最終26話を、ようやく完成させて安堵している林宏樹監督を直撃。実は、OVAの超ヒット作『天地無用！』の第一期シリーズを手がけた林監督、意外にもTVシリーズの演出はこれが初となる。そこでその大役を終えた今、事の始まりから制作過程、そして注目の最終話26話の内容まで、じっくりとうかがってみた。

●まず、『バブルガムクライシス』のテレビシリーズに入ることになったきっかけからお願いします。

○今から3年前。僕がちょうど『エルハザード』のビデオシリーズをやり終えてヒマをしていた時のことです。そんなことは許さないうちの社長がやってきて、「仕事をしろ」と言われたんです（笑）。そして、『バブルガム〜』のリメイクと『天地無用！』の劇場版のどちらかの選択を迫られました。僕としてはやるなら『バブルガム〜』の方が面白そうだなと思ったんです。それに、昔のビデオ版では、監督として秋山（勝仁）さんがいたんですけど、ほとんど任せてもらって監督のようなカタチで作ったこともありました。でも、その時は作業的なことを覚え始めた段階で、作品の世界観や、自分なりの好みを反映させることができなかったんです。後になって『バブルガム〜』ってこういう作品だったのかも!?と思い当たることがいくつか出てきて、シリーズを再構築するのも面白いのでは、と考えたんです。だから、敢えて『天地無用！』という自分の作品を蹴って『バブルガム〜』を選んだわけです。

●シリーズを始めるにあたって、スタッフをご自分で集められたそうですね。

○小中（千昭）さんは、前から力のある人だな、面白そうだなって思っていたし、外山（九市）さんもかなり腕のたつ人だなって……。山田（正樹）くんや、高岡（淳一）さんにしてもそうです。なんせ僕にとってテレビもシリーズも初めて。自分一人じゃ絶対やれないって。それで、力のある人を集めざるおえなかったと（笑）。

●テレビシリーズとして特に意識したことってありますか？

○ビデオリリースを前提にしたものなので、テレビという媒体を特別には意識しませんでした。時間帯にしても深夜でも7時でも流せるような番組にしようとテレビ局側に言われていたので、何も気にしませんでしたし。でも、昔のビデオで分かりにくかった部分をテレビシリーズではとにかく分かりやすくしようという思いはありましたね。

●一話完結ではなく、連続ものになったのは何故ですか？

○テレビの枠は、実質20分程度ですから、『バブルガム〜』の作品性を考えると、その枠の中で何かひとつやるのは到底無理だろうと思いました。だから、最初は前後編の13エピソードにしようと考えていたんです。でも、シナリオを進めていくうちに終われなくなって、結果的にすごく連続性をもった構成になってしまいました。

●設定も随分と変わって、ゲノムが悪ではなくなり、会長もただのおじいさんになってましたけど……？

○いち世界企業が悪者っていうのは、どうしてもおかしく思えたんです。だから会社としては良いことも悪いこともする普通の会社だと解釈して、ストーリーに関わる悪の部分は一人の人物に集約させました。だから、ゲノムの会長も誰かを殺そうと考えているわけではないだろうと。人類のために良かれと思っていても、他の人が見ればそれは悪いと感じる、そういう構造にしました。

●主人公がシリアで、その対極の位置にメイスンがいるわけですが、そのへんのところを詳しく解説してください。

○自然保護っていう言葉がありますよね。じゃあ、その自然ってなんだろうって考えたんです。人間の手が何も加わっていないものが自然なのか、それとも、人間という存在も自然の産物だから、その人間の思うがままで進んでいく世界も自然なのかと。シリアは前者で現在の環境保護団体のような考え方なんです。逆にメイスンは、人工物も自然の一形態だと捉えている。だから、どっちがイイとも悪いとも言えない。そのように振り分けたつもりです。

●26話まで完成させた今の気持ちを聞かせてください。

○やっぱり、構成的な部分では、こうした方が良かったかなっていう部分はありますけど、画面のつくりとしては、良かったなって思っています。とりあえずカッコイイ画面、全体から感じるかっこ良さっていう部分は、そんなに破綻せずに26本やれましたから。それと、昔のビデオ版では、それぞれのキャラクター性が際立っていなかったように感じられたので今回はそこを美術設定の部分から考えていきました。シリアの部屋を広く豪華にしたり、ネネをいわゆるコンピュータオタクにしたり。また、リアルにはしたかったので、服装にも気を遣いました。シリアはブティックのオーナーなので、できるだけシーンごとに服を変えたり。反省点ではないですけど、外伝のようなお遊び的な話、例えば女の子たちがハワイに行って水着になるとか、そういう和むようなエピソードがやれれば、と思っていたんですけど、ストーリーを追うのに終始してしまいました。だから、劇場版などを作る機会があれば、おちゃらけた部分を出して、「テレビシリーズと全然ちゃうやん！」っていうのをやりたいと思います。

●今回、テレビ放映が途中で終わったことについての説明をください。

○単純に言ってしまえば、放送枠の都合ですよね。それが分かったのは作り始めた時だったんですよ。短縮できなくはなかったんですが、そうすると最初に考えて構成していたものが崩れてしまうので、敢えてそのままにしました。一度26話で構成したんだからそのまま作りたいなという作り手の勝手もありまして。ただ、それが商売の戦略だと思われるのは嫌ですね。でも自分としては、24話は24話で一つの終わりのカタチになっているのではないかと思っているんですよ。後を匂わすような。イメージは石ノ森章太郎の『幻魔大戦』。最後にみんな集まって星を見上げ、「これから戦いだ！」みたいな。実際は戦いを描いてないけど、その後を予感させる終わり方もあるよなと勝手に思っています。まあ、作り手としては作るのをヤメろと言われたわけじゃないからそうでもないですが、放送を見てくれていた方は不満だったのではという不安はありますね。

●26話の内容は？

○ガラテアというものは一応なくなりはしましたけど、いわゆる大魔王を倒して世界に平和が訪れました、という感じにはしていません。物語としての完結は迎えますが、さっきの自然とは何かっていう考え方で、結局は自然の成り行きになっちゃいましたっていう終わり方にしています。どっちがイイのか悪いのか、そういうのは結論を出していないので、そういう意味では、そこから何らかを感じてくれればイイかなって思っています。

●では、最後にファンの方にメッセージをお願いします。

○昔のビデオ版のファンの人にも、今回初めての人にもちゃんと分かるように、自分なりに解釈して作ったつもりです。僕の信念としては、そのフィルムを見ているあいだ楽しめて、そんなに深く考えないでイイようなものを作りたいというのがあります。だから単純にフィルムから面白い部分を感じてもらえればイイかなと思いますし、また、わりと細かいところまで設定を考えて作っているので、その部分でも楽しんでもらえればなと。あと、キャラクターも未来社会の生活のなかで、できるだけ実在感、存在感を出すように努力しましたので、好きになってもらえると嬉しいです。

STAFF

シリーズ構成

小中千昭

PROFILE●1961年、東京都出身。少年時代から自主映画を製作。成城大学在学中から、ライターとして活動。卒業後、映像演出を経て、怪奇幻想系ドラマの脚本を手がけるようになる。近年はアニメーションの脚本にも参加。代表作は『ｌａｉｎ』『ウルトラマンガイア』『魔法使いＴａｉ！』他多数。

『バブルガムクライシス』は旧OVAという、大きなモニュメントが先にありますから……。

この記事は『バブルガムクライシス』の放映中の99年2月6日に『電撃ビーマガジン』(99年4月号)用として行われたインタビュー原稿を元にしている。それをベースに、小中千昭氏ご自身に新たに加筆・修正を加えていただいた。

●林宏樹監督に誘われて、シリーズ構成を担当することになったそうですね?

○ええ。『アミテージ・Ⅲ』をやった時に紹介されて。その後、しばらくして『バブルガムクライシス』のリメイクの話が持ち上がった時に林さんに誘われたんです。でも、『バブルガム～』は旧OVAという、大きなモニュメントがありますから、リメイクというと風当たりが強いですよね。何をやっても違うという時点で、嫌われる可能性がすごく高い。それに『バブルガム～』って、女の子がメカを着てアクションする、言ってみればアニメとしては王道。私はそれまで実写主体でアニメーションは始めたばかりだったので、抵抗がありました。でも、林さんが考えていたシリーズ全体のビジョンは、元のOVAよりもずっとハードなSF。これでどうやって女の子がキャピキャピするんだ? っていうくらい。でも、林さんはそんなことあまり気にしていないようで。それなら、リアリティや人間のドラマというところをやればイケそうだ、ということで「やらせて貰います」となったわけです。でも、いちばんラストのシーンのイメージは、すごく早い時期から林さんが言ってくれていたので、私としては非常にやりやすかったです。「そうか、そこに落とし込めばイイのか」って。それがある分、いかにそこまでをエモーショナルにブラすかを考えればイイわけですから。

●今回は村井さだゆきさんと共同作業だったようですが?

○最初の頃、私は一人で全部書けたらいいなぁと思ってたんです。それまで人と一緒に1作書くということをほとんどしたことがなかったんですけど、26話を一人でやるのは無理だと途中で判りました(笑)。それで、7、8話越えたくらいで、「もうあかん、村井さんお願い」という感じで入って貰ったんです。彼は、私と嗜好性が凄く近くて巧い人。やって楽しかったです。でも、私とは違うものの見方をする人なので、よりいい結果になったと思います。

●深夜で連続ものっていうのは、ちょっとツライところもありますが……?

○いえ、製作スタート時は深夜枠という想定ではありませんでした。例えば日常から始まって、事件が起きて、解決しましたっていうフォーマットだと、お約束でつまらないと思ったんです。だから、20分の枠だったら、危機をお尻お尻に突っ込んでそれでさあどうする?! っていうところで切る、というのが私と村井さんの共通の生理でした。それで次は引きのアクションに行ってから、日常にポンと落とす。そういうなんでもない日常でのキャラクターの触れ合いで、一人一人のパーソナルが深まっていきますから。

●最初の話ではリンナが中心でしたが?

○中心なのではなく、あくまで視点です。シリアもプリスもネネも、ちょっと普通の人じゃないですよね。これは私個人の好みになってしまうかも知れないんですが、いちばん普通っぽい人の視点で、その普通じゃないのが普通に見えてくるようにしたかったんです。もの凄く違和感のあるものをぶつけるやり方もあるとは思いますけど、リンナのような普通の視点で入っていって、「ああ、そうなのか」となった方が、「この人はこういう人」って記号化されたキャラクターをポンと出すより、もっと深いところに行き易い。他の3人は、リンナの目から見るとちょっとおかしい人たち。でも、それだけじゃない。やっぱり付き合ってみないと分からないですから。それと、もう一つ、私自身の中で大きな問題がありまして、旧シリーズでは〝闇の仕置人〟というキャッチフレーズがついていたんですが、「それはちょっとできない」とハッキリ言ったんです。「仕置人て何?」って。それは、なまじ力があるから弱い人を助けてやろうっていう意味? と。ナイトセイバーズとは何か。それがリメイク版をやる意味にもなる。番組の中で繰り返し言っているように、あれはバイトなんです。でも、それは彼女たちの建前で、本当は面白くてやっている。正義ではなくてね。そんな風に成り行きでやっている人たちが、最終的には地球規模のクライシスに、唯一立ち向かえる人たちになってしまうという、一種の喜劇というか悲劇というか、そういうものをTVシリーズではやりたかった。だからこそ、一人ナイトセイバーズに強烈になりたがっている根性のある奴(リンナ)をまず最初の視点にしたかったんです。

●思ったよりも上手くいった、という部分はどこですか?

○思ったよりも、というより、今回幸せだったのは、声優さんにすごく恵まれたことです。四人のみならず、ナイジェルあるいはマッキーも、今となっては、これ以外の配役はないっていうくらいにハマっています。そこは、林さんが非常に気を配ってくれたと思うんですけど、例えば、プリスのナイジェルに対する視線とかいうのは、本では凄く薄めに書いているんです。でも、それが絵になると、ちゃんと拾ってあって、ニュアンス的な芝居を忘れずにつけてくれている。そういうところがイイな、と思いました。

●書きやすかったキャラクラーは?

○ネネですね。ネネは、書いている時から小西(寛子)さんがイイっていう風に私は言っていたので、彼女の芝居をあてて書いていました。決定したのは、もう書いてから随分経った頃でしたけど。そもそもネネって、私が一番好きな書き易いタイプのキャラクターなんです。〝良い子〟ではない、ぶーたれる、大人を小馬鹿にした態度をとる——。でも心の深いところは、それだけでは勿論なくて……。リンナに関しては、完全に実写の芝居を書いたので、ちょっと心配でした。声優さんにベタにやられちゃうとニュアンスもへったくれも飛ぶなあって。でも、夏樹(リオ)さんが凄くナマっぽい芝居をしてくれたから快感でしたね。

●TV放映は24話で終わりましたが。

○最初は26話ということでスタートした作品なんです。それが、オンエアされてから、TV局の都合で24話までしか放送できなくなってしまって。まあ、放映バージョンということで、ちょっとそれっぽく取り繕って、一応終わりに見える感じにしようか、っていう案も出ました。でも、いろいろと議論した結果、最初のビジョン通り、いい形で終わらせるためには、ちゃんと26話作った方がイイだろうという判断をしました。それが私達なりの誠意の示し方だと思って。それがどう取られるかは分かりませんが、単に商売上の目的だと思われるのは、身を切られるくらいに辛いです。だから、そういうつもりは全くないということは、ぜひ理解していただきたいです。

●最後にファンの方にメッセージをお願いします。

○林監督との仕事は楽しかったし、以前から一緒に仕事したいと思っていた荒牧伸志さんと、やっと作品を作れたのがとても嬉しかった。山田正樹君、外山九市さんという才能ある人たちとの出会いも出来たし。

『バブル』はロックのアニメですから、音楽の方にも口を出させて貰ってました。が、是永巧一さんとは非常に楽しく仕事が出来ました。プリス役のオーディションで、もの凄い数の中から浅川悠さんを発見出来たのは本当にラッキーでした。シリアの雪乃五月さんの演技も素晴らしく、彼女達の演技を引き出した本田保則さんには心から感謝しています。

全てが巧くいったわけではないし、凄いヒットにはならなかった。アニメ史に残るようなシリーズではないかもしれない。でも私は、このシリーズに参加出来た事を誇りに思っています。

スタッフコメント
STAFF COMMENT

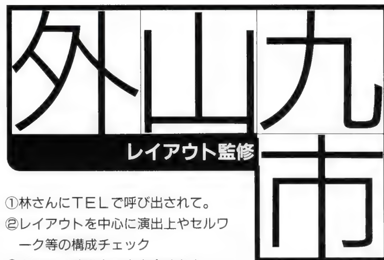
TVシリーズ『バブルガムクライシス』の大きな魅力の一つとなっているのが秀麗な作画。実力派のスタッフ４名が作画の監督・監修に携わっている。ここではスタッフを代表してその４名に、コメントをいただいた。



①この作品の監督である林さんに誘われて。
②キャラクターデザイン、総作画監督、作画監督
③第１話の総作監作業、オープニング作監作業、最終話作監作業
④リンナとネネ。リンナは前作とは全く趣を異としたキャラで、デザインするにあたって一番思い入れがあるから。ネネは描いていて楽しかったです。でも、４人とも好きですよ。メカはニューハードスーツ。荒牧さん入魂のデザインだったから。
⑤私の中では４人はまだ暴れたがっているので、また別な形でブラウン管に登場させたいですね。私としては、４人のキャラを気に入ってくだされば、とても幸いです。
⑥1971年８月13日
⑦鹿児島県鹿児島市
⑧『精霊使い　エレメンタラー』で原画、『バブルガムクライシス　TOKYO2040』で作画監督デビュー。
⑨『バブルガムクライシス　TOKYO2040』と次回作。
⑩『覇邪巨星ダンガイオー』（TV予定）キャラクターデザイン、『ああっ女神さまっ！』（劇場版）原画、『ソルビアンカ』（OVA）原画







①林さんにTELで呼び出されて。
②レイアウトを中心に演出上やセルワーク等の構成チェック
③とにかく移動とメカを含めたキャラが多くて、設定を探し出すだけでも時間がかかった。
④ネネとプシュケ　劇中ノリツッコミをしたから。
⑤キャラクターを愛してやってください。
⑥1960年10月12日
⑦愛知県
⑧『レンズマン』で原画、『グリーンレジェンド乱』で絵コンテ、演出
⑨『大運動会』Vol.3（OVA）絵コンテ、演出
⑩オリジナル企画、作成予定（内容マル秘）

※注＝プシュケとは、ep.24に登場した、スカイフックの作業用ブーマの名前

①この仕事をされるに至った経緯
②ご自身が担当された仕事内容
③印象に残っている作業内容、もしくは作中のシーン
④お気に入りのキャラクター&メカとその理由
⑤『バブル』のファンに一言メッセージを
⑥生年月日
⑦出身地
⑧デビュー作
⑨代表作（自選）
⑩現行作品もしくは新作



荒牧伸志

メカニックデザイン

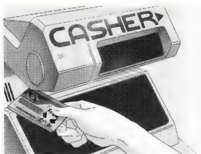
①'97年8月頃、林監督よりメールがきたのがきっかけです。
②メカニックの設定デザイン、一部美術設定
③3DCGで作成したゲノムタワー（デザイン画はなく、いきなりCGで作ったら、林さんのOKが出てしまった）
④ハードスーツ（やはりこれがないとバブルガムが成り立たないから）
⑤初めて『バブル』がリリースされたのが'87年だったので、もう12年以上も『バブル』と付き合っていることになります。こうなったら末永く（2040年まで）作り続けてみたいもんだ。
⑥1960年10月2日
⑦福岡県
⑧『機甲創世紀モスピーダ』でメカデザイン
⑨『メガゾーン23』メカデザイン、『MADOX-01』メカデザイン、監督など……（古い……）
⑩お話できる作品はまだありません。

高岡淳一

総作画監督

①AICプロデューサーの渡辺さんから仕事の依頼をいただいて。
②総作画監督
③23話、ゲノムタワー内でのガラテアとシリアの対話シーン。
④メイシオ　ただ、なんとなく。
⑤全スタッフの熱意が伝わってくる作品です。スタッフ一人一人の想いを感じ取って頂ければ幸いです。
⑥1965年4月15日
⑦香川県
⑧『レイズナー』原画、『スレイヤーズ』（劇場版）作画監督補佐
⑨『バブルガムクライシス　TOKYO2040』
⑩『トラブルチョコレート』総作画監督





(ほ) キャッシャーマシン

常用 BUBBLEGUM WORD
バブルワールド用語辞典


(あ) インナースーツ

シリアと同じ姿をしている。ラボ内ではドッペルゲンガーと呼ばれており、復活後、メイスンによりガラテアと名づけられる。

●外区 (き)
震災後、再開発されずにスラムと化した地区。しかし、そこに住む人々の手により、いち速く復興を果たしたのもこの一帯である。

●大深部地下
東京地下深部。震災以前に企業や政府がこぞって危険な施設を建設した。ウィズラボもここに埋まっている。

●超伝導
ある種の物質の温度を下げて行くと、ある温度以下で電気抵抗が突然0になる現象。超伝導物質でコイルを作ると、抵抗が発生しないため大電流を流し続けて、強力な磁場を得る事が出来る。また、超伝導物質の上に磁石を置くと、反発力を受けて宙に浮き上がる。

●東京大地震
西暦2033年に突如として関東で起こった大地震。これにより、首都は完全崩壊した。だが、その真相は、暴走した素体の封印の為、ゲノムが地震発生装置で人工的に引き起こしたものであった。

●トーテムポール
ADポリス本部ビルの通称。ネイティブアメリカンの神体に形状が似ている為、この名で呼ばれる。

●ドッペルゲンガー
1・ウィズラボにおける"素体"の名称。
2・ドイツ語で「二重に歩く者」の意。突然現れるもう一人の自分で、このドッペルゲンガーを見た者は死期が近いと言われている。

●ドラゴンライン (ふ)
ショウハムプロジェクトの一環。東京の地下を走るエネルギー供給ラインで、アンブレラで集めた太陽エネルギーを東京中に流す役割。

●ナイトセイバーズ
「メガロシティの闇の仕置人」と呼ばれる女性集団。高性能強化服『ハードスーツ』に身を包み、暴走するマッドブーマを破壊する為、ブーマ破壊テロリストと、ADポリスに呼ばれている。リーダーのシリア・スティングレイを筆頭に、プリス・アサギリ、リンナ・ヤマザキ、ネネ・ロマノーヴァの4人のメンバーから成る。

●ナノメカニズム (と)
超微小機械。ナノは、10億分の1の単位。

●ネオテニー
幼形成熟。

●ノーマルポリス
ブーマ犯罪以外の事件を担当する、いわゆる普通の警察。

●ハードスーツ
ナイトセイバーズの高性能強化服。その素材はブーマそのものであるが、コアには何も書き込まれていない為、自我を持つことはない。

●バイオスケープ社
ブーマ開発に最初に着手した企業。ゲノムに買収され、ブーマ販売の権利を奪われた。

●バッテリーメタル
ハードスーツの活動用エネルギー。減少するとハードスーツは次第に重くなり、完全に無くなった瞬間に着装者を開放してしまう。

●バベルの塔
旧約聖書に登場する巨大な塔。人々は天まで届く塔を作ろうとしたが神の怒りに触れ、それまで同一であった言語をバラバラにされる。意志の疎通が不能となった人々は建設を中止し、世界各地へと別れていった。転じて"実現性の無い架空的計画"の意味ともされる。

●パラサイトボム
コンピュータウィルス。以前ADポリスに送られてきたものを、ネネが保存しておき、国防省のサーバ侵入時に使用した。

●P4実験
遺伝子組み替え実験の危険度レベル。P1からP4まであり、その最高レベルにあたる。

●ヒューガイド株式会社
ゲノムの下請けで、ブーマパーツの製造販売をしている。リンナはその東京支社に勤める。

●ファイアーウォール
ネットワーク侵入者妨害用プロテクト。

●ファイアービー (な)
ADポリスの攻撃用ヘリ。各チームは"ブラボータンゴ""サルサソース"等のコードネームで呼ばれている。

●VHP
高圧力化用ブーマ実験施設。大西洋海底に建設された、惑星開発用のリモートスレイブブーマ"モート"の実験場。

●ブーマ
Voodoo Organic Metal Extention Resource の略。スティングレイ博士の開発した、生態的機能を持つアンドロイド。博士の娘シリアの脳内にインプラントされたアンチシード＝素体を元として量産された亜人。その製造・販売はゲノムが独占しており、目的に合わせ量、種類共に数多くのブーマが開発され、人に代って労働を担っている。しかし、マッドブーマ事件も多発しており、社会問題となりつつある。

●フェノメノン (に)
ガラテアが放出するブーマを覚醒させる力。本来は緑色の光として視覚されるが、ガラテアはこれを実態化。生物の様に変化させた。

●プロトタイプ
原形、基本形、試作体。

●プロボット (い)
プローブロボットの略。ADポリスの小型遠隔偵察機。

●フロンター
ADポリスのマッドブーマ処理実行部隊員。

●ホットレッグス (お)
セキリアが演奏するライブハウス。壁から巨大な脚のオブジェが幾つも突き出した店内は、"テーブルの下"がモチーフになっている。

●マイクロウェイブ砲 (そ)
マイクロ波を撃ち出す兵器。マイクロ波は水分に作用し、水分子を分極させて＋－極を持つ電気双極子を作り、それを高周波数で振動、回転させる事によって分子間に摩擦熱を起こさせる。この原理を利用したのが電子レンジであり、シリアはこれによってガラテアを封印ごと焼きつくそうとした。

●マガジンマシン (つ)
紙のように薄い液晶パネルで作られた本を、スリットに差し込むだけで、新しいデータに書き換える事が出来る。

●マッドブーマ
ブーマが突如狂暴化し、変容した状態。醜悪で攻撃的な姿に変貌して人を襲う。更には様々な機械を取り込み、自らの身体と融合して強力化する。マッド化の原因は、いまだ解明されていない。

●MUS!CA (え)
セキリアが使っているバンドの練習場。

●メガロシティ (け)
震災後の東京。特に復興時、計画的に整備された中心地区を指す。

●メトロエキスプレス (す)
地下を通るチューブ内を、リニアモーターによって進む高速列車。東京～博多間を1時間で走行。リンナが帰郷に利用した。

●モート
リモートスレイブ型ブーマ。辺境惑星開発等の使用を目的として制作された。自己判断応力を持たず、リフレクターを必要とする

●モバイルピット (ひ)
ナイトセイバーズのトレーラー型移動基地。

●モトスレイブ (ち)
ナイジェルが開発した、プリス用のハードスーツ速度支援バイク。速度に合わせ、形態が変化する。後に新ハードスーツの登場に伴い機体も強化、パワードスーツ形態への変形も可能となる。

●リフレクター
モートの遠隔操縦者。

●リンナのスクーター (せ)
プリスを追跡する為に買った中古品。

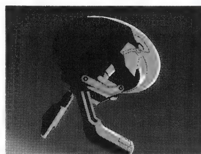
●レシーバーパレット
スカイフックのカーゴを運ぶ台車。

●レゾンデートル
存在理由。

●RED HOT SNACK (て)
2話でネネが食べているスナック菓子。辛い。

●ロジック
論理。

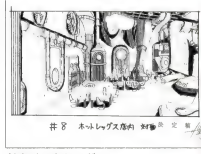
●ワーム
東京地下に広がるドラゴンラインを、ガラテアがフェノメノンでブーマ化したもの。


(い) プロボット



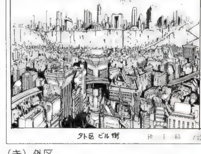
(う) シルキードール


(え) MUS!CA



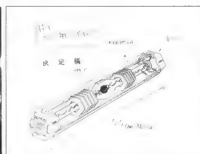
(お) ホットレッグス


(か) ゲノムタワー



(き) 外区

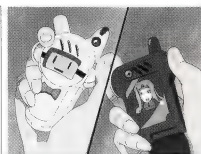

(し) アンブレラ

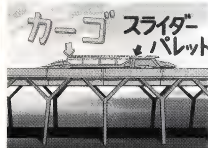


(さ) コアチップ

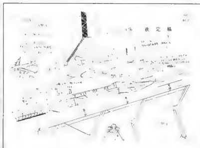

(こ) 巨大生物

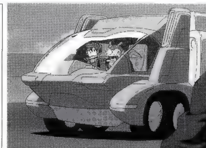

(け) メガロシティ

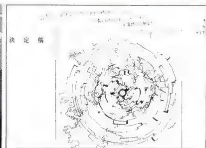

(く) 携帯NAVI

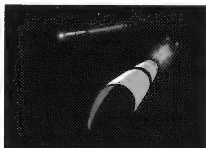


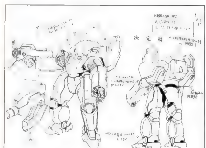
（ね）カーゴ（の）スライダーパレット


（は）スカイフック

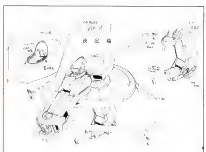

（ひ）モバイルピット

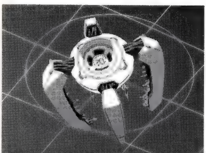

（ふ）ドラゴンライン

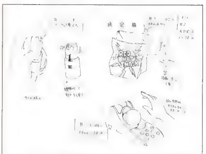

（へ）シャトルミサイル


（ぬ）Kスーツ


（に）フェノメノン


（な）ファイヤー・ビー

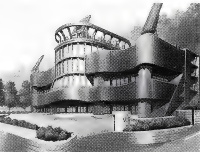

（と）ナノメカニズム

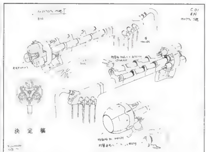

（て）RED HOT SNACK

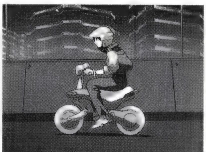

（つ）マガジンマシン

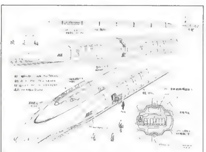
●アーカイブ
公文書保管所。
●アーキタイプ
原形。
●アクションレコーダー
ナイトセイバーズの戦闘記録。シミュレーションマシンを使い、戦闘の疑似体験をする事が可能。システムはネネ制作によるもので、"NeNeX" というブランド名。
●アルゴリズム
問題に対する解答の計算手順。
●アンチシード
シードをシリアの脳にインプラントし、人間のクォリアを模倣して誕生した全てのブーマの原形。シードはシリアの母親の情報を元としている為、娘であるシリア以外では成功しなかった。素体＝ガラテア。
●アンブレラ（し）
ショウハムプロジェクトの要となる、大気圏外に建設された巨大な傘。これによりピュアな太陽エネルギーを収集する。
●インタープリター
1・通訳、通訳者。
2・プログラムの内容を、その都度機械語に翻訳しながら実行していく言語方式。
●インナースーツ（あ）
ナイトセイバーズが、ハードスーツを着装する前に着る薄手のアンダーウェア。
●インナーメタル
新しいハードスーツ着用時に使われる粘液体。装着者の思念に反応して、ハードスーツと一体化する。
●インプラント
移植。体内に異物を埋め込む事。
●ADポリス
アドヴァンストポリス。警察機構に新設されたマッドブーマ事故処理班。元々はアンチテロの特務警察であったが、マッドブーマ事件の増加に伴いマッドブーマ対策専門の部署とされる。レオン曰く「ブーマ事故の収拾屋」。
●NSA
アメリカ国家安全保障局。
●ウィズラボ（た）
ブーマ研究施設。所長のスティングレイ博士の元、ブーマの実験、開発が行われていた。ナイジェル、メイスンも当時の所員である。2033年、完成した素体の暴走により壊滅。ゲノムの起こした地震によって地下へと埋没し、地殻流動により、その所在は不明となった。
●ウェンブリースタジアム
ロンドンにあるサッカー場。コンサート会場としても使用され、ロックの聖地とされる。プリスはここで歌うのが夢。
●カーゴ（ね）
ショウハムプロジェクト用の機材を積み込み、スカイフックによって宇宙へと運ばれる。
●ガーディアンエンジェル
1970年代後半にニューヨークで結成された私設自警団。繁華街や地下鉄などの治安維持の為、ボランティアでパトロールを行う。その規模は世界的に拡大し、日本でも活動。
●ガラテア
1・メイスンが名づけた「素体」の名前。
2・ギリシア神話に登場する女性像。自らの作った彫像に心を奪われたキプロス王ピグマリオンは、女神アフロディテに懇願して命を与えてもらい、自分の妻とした。
●キャッシャーマシン（ほ）
商品の識別から支払いまで、センサーを潜らすだけの全自動。使用するカードは、電話、バス、地下鉄、買い物等全てが一枚でまかなえるID兼クレジットカード。
●巨大生物（こ）
ウィズラボ以前のブーマ研究施設において、コアのバイオ生成実験過程で誕生したミュータント。触手から発する振動波でブーマを弱らせ捕食する。カンブリア期に生息していた古生物がベースにされている。
●クォリア
質。性質。
●クローン
遺伝子組成が同一な個体群、単一個体から無性的に繁殖された群属や子孫、複製生物。
●K'S
外区にある、ナイジェルのバイク工房。
●Kスーツ（ぬ）
ADポリスの戦闘用機動強化服。正式名称・K－11対ブーマ用パワードスーツ。
●携帯NAVI（く）
携帯ナビゲーションシステム。音声のみならず、映像も送受信できる。ナイトセイバーズ達の連絡用にも使用。
●ゲノム
1・ゲノムコーポレーションの略称。
2・生物の染色体の基本となる一組。もしくは、その染色体に含まれる遺伝子全体。
●ゲノムコーポレーション
ブーマの製造販売から、エネルギー開発計画まで扱う巨大企業。
●ゲノムタワー（か）
ゲノムコーポレーション本部ビル。東京湾の中央にそびえ建つ巨大な塔。
●コアチップ（さ）
ブーマの中核。素体のコアの複製から、自我を抜いたもの。ブーマ暴走の要因もこのコアの異常化にあるのだが、その全容はスティングレイ博士のみが知り、博士亡き今、大半がブラックボックスと化している。その為、未だマッド化の原因は解明されていない。
●ゴーレム
ユダヤの伝承等に登場する、魔術で動く土像。額にヘブライ語 "emeth（真理）" と彫って呪文をかけると術者の意のままに動くようになるが、頭文字を削って「meth（死）」とすると土塊に戻ってしまう。中世ヨーロッパでは「無から有を、人が人を造る」という一つの錬金術的思想にまで高められた。
●サーバ
特定のサービスを行うコンピュータ。
●サプライヤーパレット
スカイフックのカーゴを運ぶ台車。
●シード
ブーマの種子。シリアの母の脳から摘出された松果体をトレースして組み立てられた、ナノメカニズム。
●シャトルミサイル（へ）
大気圏外の目標を攻撃可能な核ミサイル。ガラテア攻撃の為、NSAが使用。
●ショウハムプロジェクト
ゲノムの推奨するエネルギープロジェクト。大気圏外に建造したアンブレラにピュアな太陽エネルギーを集め、それを地上に送り込み、ドラゴンラインによって東京中に供給しようという壮大な計画。
●シルキードール（う）
シリアの経営するブティック。地下にはナイトセイバーズのピットがあり、店内の更衣室の奥に隠されたエレベーターで出入り出来る。店内の水槽は屋上のプールに繋がっている。
●シナプス伝達
電気的興奮がニューロン（神経細胞）からニューロンに伝達される部位をシナプスと言い、その興奮伝達がシナプス伝達である。
●情報局管理センター
ADポリス内の、ネネの勤める部署。東京中のブーマ関連事件の情報は瞬時にして全てここに集められ、フロンターへと連絡される。
●人工地震発生システム
元々はゲノムの軍事部門が兵器使用目的で開発していたが、素体の暴走を止める為これを使用。それにより、震災が引き起こされた。
●スカイフック（は）
ショウハムプロジェクト建設の為に使われる、機材運搬用の装置。大気圏外に浮かぶ中心部から対極に伸びた2本の長いポールが、二日に一周の間隔で回転し、先端部が地表（房総沖プラットホーム）へと近づいた時にコンテナを接続、半回して宇宙空間に到着すると機材を置いて、また地表に戻るというシステム。
●スライダーパレット（の）
スカイフックのカーゴを運ぶ台車。
●スクランブル
電波信号を複雑に乱して暗号化する事。
●セキリア
プリスの所属するロックバンド。ボーカル＝プリス、ギター＝マクソン、ベース＝フォックス、ドラム＝ジェイドの4人編成。
●素体
ウィズラボで開発された、全てのブーマの原形となる存在。フェノメノンを発し、ブーマをマッド化させる力を持つ。実験体となった


（ち）モトスレイブ


（た）ウィズラボ


（そ）マイクロウェイブ砲


（せ）リンナのスクーター


（す）メトロエキスプレス

BUBBLEGUM CRISIS

バブルガムクライシス 設定資料ミュージアム

スカートにしろパンツにしろ、とにかくタイトで、くっきりとラインが出るものが多い。まさしく“大人の女”といった感じのシリア。ブティックを経営してるだけあって、洋服へのこだわりは強いのかもしれない。

SYLIA シリア・スティングレイ

ガウン姿

→自室にいる時によく着ていたガウン。ちょっと短すぎるような気も……？

私服

↑→シリアの基本イメージという感じのスーツ。パッド入りで、肩の辺りが上がっている。靴も踵に空きがある面白いデザイン。

↑←コルセットにジャケット、タイトパンツという組み合わせがウマイ

BACK

UNDER

水着

←→ビキニ派のようなイメージがあるが実はワンピ派

幼少のシリア

表情

↑口許をきゅっと引き締めた表情が多く、心から笑った顔が少ないのが寂しい

ハードスーツ

→がお馴染みの旧型ハードスーツ。←が20話から登場する新型ハードスーツだ

UP

FRONT

REAR

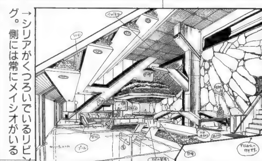
UP

FRONT

REAR

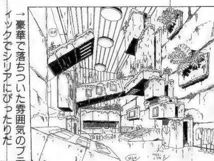
BUBBLEGUM CRISIS

リビング



→シリアがくつろいでいるリビング。側には常にメイシオがいる

ブティック店内



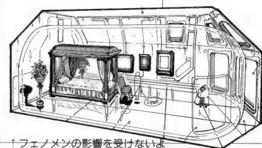
→豪華で落ちついた雰囲気のブティックでシリアにぴったりだ

シリアのビル

↓シルキードールのあるビル。中にはシリアの住まいやナイトセイバーズのピットもある



ウィズラボガラテアの部屋



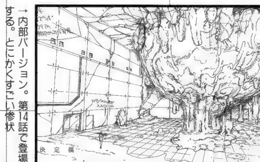
↑フェノメンの影響を受けないように金属は一切使われていない

封印された部屋①

↓左にあるガラテアが封印されていた部屋のなれの果て

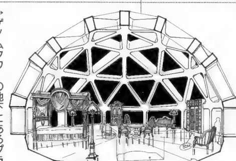


封印された部屋②



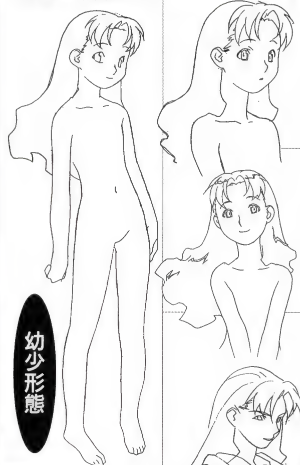
→内部バージョン。第14話で登場する。とにかくすごい惨状

ガラテアドーム内



→ゲノムタワーの地下にあるプラネタリウムのような形のドームだ

幼少形態



↑ほぼ同一人物なのだから当たり前だが、シリアの幼少時代とそっくりなガラテア。この幼さがどこか悲しい……

少女形態

●この時点ではどこにでもいる普通の少女という感じ

最終形態

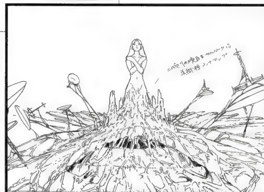
女神風コスチューム



→シリアとうり二つの顔をしながら、雰囲気の違うガラテア。まさしく、"女神"といったイメージではあるのだが……

女神像





↑→23話から登場した女神像。荘厳さとどこか異質な雰囲気の両方を感じさせる

GALATEA ガラテア

"もう1人のシリア"であるガラテア。幼少・少女形態まではごく普通の少女らしいあどけない表情が多く、最終形態以降はどこか寂しげな微笑を浮かべた顔が多い。

BUBBLEGUM CRISIS

PRISS プリス・アサギリ

"ロックな女"プリスは、ラフでスポーティ、機動性を重視した服装が多い。表情もキリッとしてカッコイイが、女の子らしいドレス姿に頬を赤らめているというカワイイところもある。

私服

●キャミソールやタイトパンツ等お色気系になりそうな服もさっぱりと着こなす

ドレス姿

表情

ライダースーツ

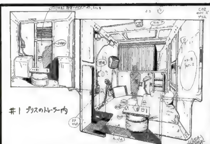
バスタオル姿

●けっこうきわどいラインのような気もするが……

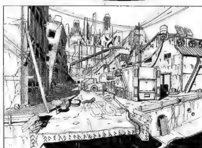
UNDER

●基本的に"かっこいい"のがプリススタイル

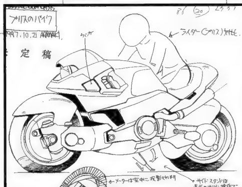
トレーラー内



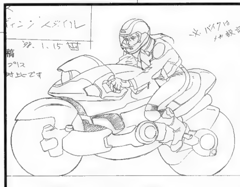
プリスのトレーラー外



バイク



ライディングスタイル



←プリスといえばおなじみのライディング姿。重そうなバイクだが、倒れてもプリスなら平然と起こしそうだ

新

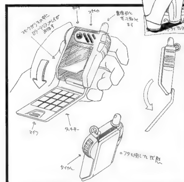
UP

旧

ハードスーツ

●プリスの新ハードスーツがお目見えするのは21話から。より女性的なラインの強調されたデザインだ

NAVI



メンバー



セキリア

ステージ衣装



ホットレッグス

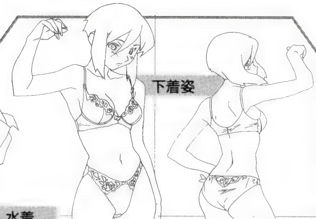


↑やはりセキリアの存在は欠かせない
←ライブをするホットレッグスの変わった内装は気になる。こんなライブハウスが実際にあったらさぞかし話題になりそうだ

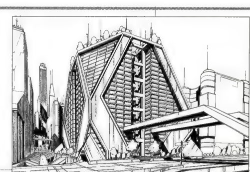
BUBBLEGUM CRISIS



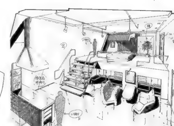
私服



下着姿



リンナのマンション



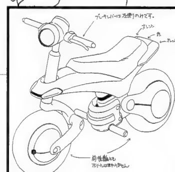
●豪華マンション。実家が金を持っているのか、ヒューガイド社の給料がいいのかは謎だ



水着

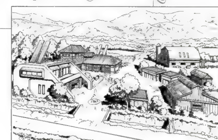
バスタオル姿





リンナのスクーター

裸



リンナの実家

↑この世界にもこんなのどかな風景があったのかと、思わずホッとする



お見合いリンナ

→その後マサキとはどうなったのか気になるところなのだが……



表情

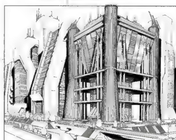
●表情だけ見ると大人っぽいが、動くと少し幼く見えるリンナ。人の良さそうなお嬢さん、といった感じがある

RINNA

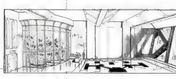
リンナ・ヤマザキ

ヒューガイド社

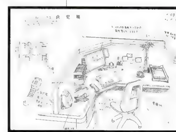
●大きな会社だけあって新入社員の教育用ブーマもいる。だがセクハラする上司を野放しにしているのがいただけない



オフィスビル



第2営業部



リンナの机



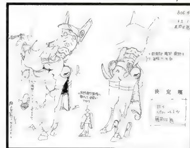
制服

ハードスーツ

旧

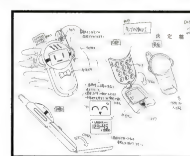
UP

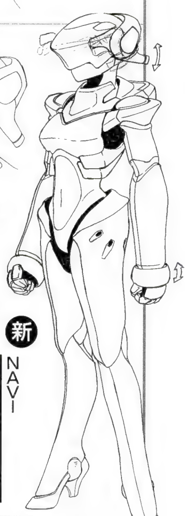
OPEN



新

NAVI





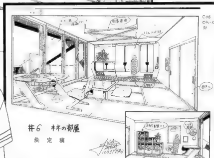
現代風の等身大な女の子、という感じのリンナ。確かに服装も現在町中で女の子がしていそうなデザインのものが中心。実はリンナは下着や裸などお色気（?）ショットも多いのだった。

BUBBLEGUM CRISIS

NENE ネネ・ロマノーヴァ

天然元気少女ネネの服装は行動的なボーイッシュ系が多く、表情もコロコロとよく変わる。ともすれば重くなりがちなストーリーの雰囲気を明るくしてくれるネネの性格をよく表したデザインになっている。

HOUSE



マンション

部屋





→シャツにスパッツ・スニーカーというスポーティーさがネネらしい。あまり運動は好きじゃないらしいが……



私服

←見ようによってははけっこうセクシーなパジャマ&ネグリジェ。でもなぜかカワイイ

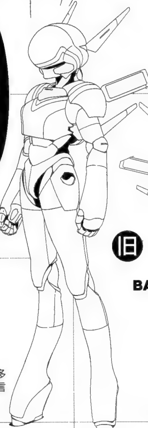
就寝着

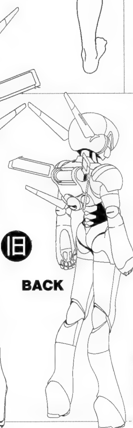
表情

↑とにかく表情の変化が多いネネ。天真爛漫という言葉がよく似合う

ネネのアイコン

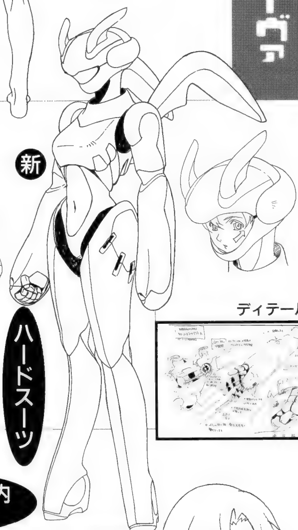
→いつもシリアスな雰囲気を吹き飛ばしてくれる(?)アイコンだ





旧

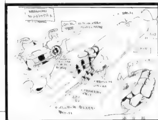
BACK

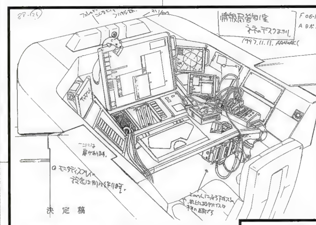


新

ハードスーツ

ディテール





ネネの机

←ADポリス情報局内にあるネネの机。フェレットのマスコットが置いてあるところがネネっぽい。ここでよくレオンをからかっている

ADポリス内(ネネVer.)

制服

●制服を着ているとさすがに社会人に見える。ちなみに下の帽子&ケープは本編には登場していない。外回り用なのだが、ネネは基本的に外回りがないので出番なし





総務部長



情報担当部長



BUBBLEGUM CRISIS

MACKY マッキー・スティングレイ

→ブーマと言ってもごく普通の少年。それだけに運命の過酷さが悲しい

実はブーマ、という衝撃的な身の上のマッキー。シリアの弟だけあって、ラフな恰好をしていてもどこか上品なムードがある。

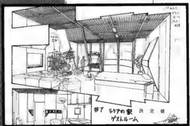






自転車

シリアとの写真



シリアビル内の部屋

NAIGEL ナイジェル・カークランド

見た感じ少し〝ムサイ〟ようにも思えるが、シブさをバッチリ身につけた大人の男の魅力がある。髪の長さにはなにか意味が？



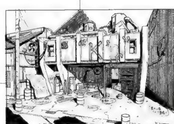




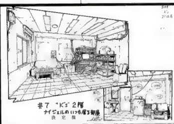
●表情にあまり変化がないが、芯は優しく男らしい。基本はとにかく〝ニヒル〟だ。



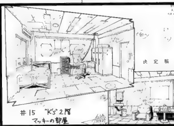
K.Sショップ



表



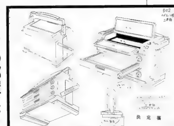
ナイジェルの部屋



マッキーの部屋



シリアの部屋にて



工具箱

MEYSIO メイシオ・ワンダーソン

貴族の家の執事といった雰囲気をもつメイシオ。シリアを見守る影の功労者だ。あまり多くを語らないが、不思議な存在感がある。



↑ひたすら控えめにシリアやナイトセイバーズのみんなを気づかう態度が印象的



●執事スタイルにはかなりのこだわりがありそうだ。まさに生まれながらの執事

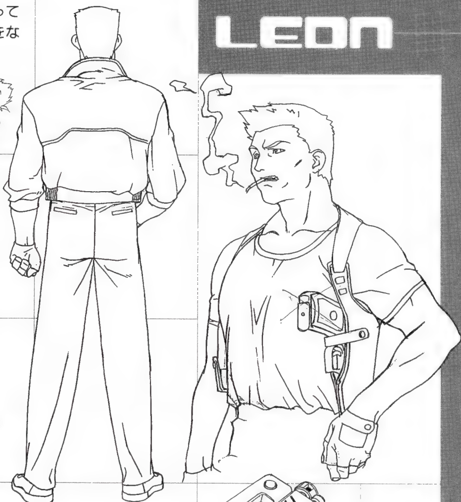


BUBBLEGUM CRISIS

LEON レオン・マクニール

荒くれで頑固そうだが、実は情にもろく優しいレオン。最前線で戦っているだけあって体格のよさは抜群。ナイトセイバーズの優美さと対をなす、武闘派的存在といった感じだ。





対ブーマライフル

●ADポリスの見どころといえばやっぱりガンアクションだ。対ブーマ用のため、銃もかなりものものしい。これを使いこなすのは相当の筋力が必要

DAILY デイリー・ウォン



私服

●アンダーは少し公務員チック。靴もあまりアクション向けじゃないが……



表情

●知的でシニカルな笑みを浮かべるデイリー。スーツは男の戦闘服だ、というキャッチをつけたくなる

レオンとは対照的に頭脳派の印象があるデイリー。一見するとデスクワークタイプなのだが、スーツで戦闘をすることも。設定では見られないが、服の下は筋骨隆々なのかもしれない。外柔内剛型？

BUBBLEGUM CRISIS

AD POLICE

ナイトセイバーズと同じブーマ制圧という目的を持ちながら、敵対することが多いADポリス。あらゆる兵器を持っているが技術的にはイマイチ。この作品中では少しもの悲しい存在かもしれない。

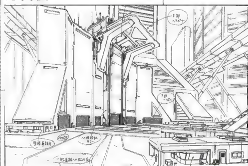
←↓イマイチ影の薄い署長と、叩き上げの刑事といったニック。中年のシブ味

署長

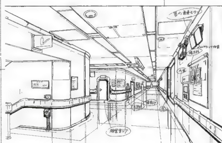
ニック

隊員A

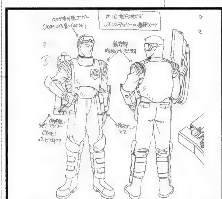
庁舎裏



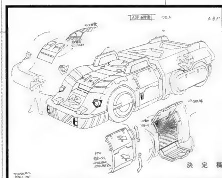
下層部廊下



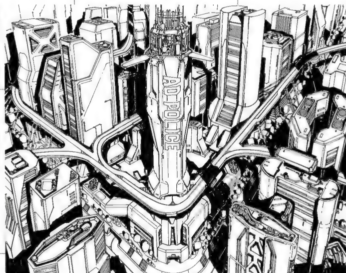
装甲スーツ



装甲車

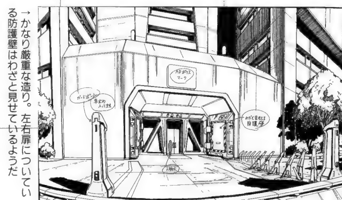


全景



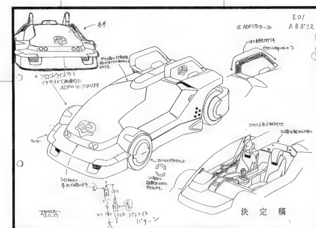
←巨大な街の中にひときわ目立つビル。警察というよりは軍隊に近い装備と体制を誇っている

一般出入口



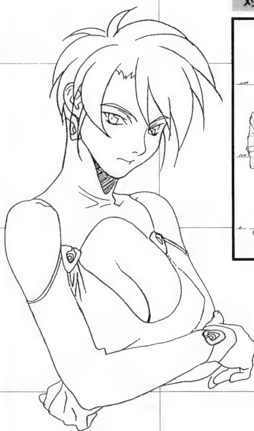
→かなり厳重な造り。左右扉についている防護壁はわざと見せているようだ

パトカー



キャラ対比

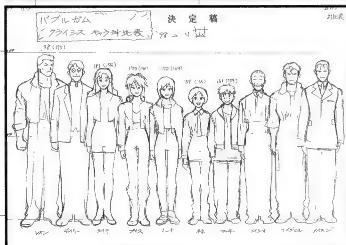
対比表を見てもらえばわかるように、レギュラーで一番背が高いのがレオン。低いのがネネとなっている。どうでもいいかもしれないがデイリーのギョロ目が気になる。メガネ？

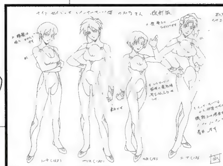


対比表②

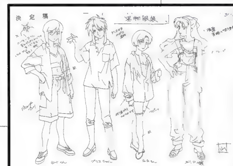


対比表①

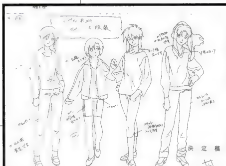




インナースーツ姿



男物服装



ナイトセイバーズ服装

GENOM ゲノム社

2040年の世界をまさにリードする、ブーマ事業最先端企業。だが建物や人物の雰囲気はむしろ神話的なものさえ感じさせる。特にゲノムの権力を象徴するゲノムタワーは"バベルの塔"のイメージだ。

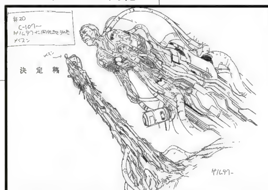
ブライアン・J・メイスン



若かりし頃のメイスン

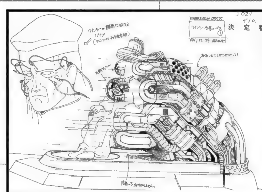
★スーツはタイトなラインのジャケットがポイント。表情は若いころから固い

ゲノムタワーと同化



←ゲノムタワーに同化させられてしまったメイスン。哀れな姿に……

クインシー・ローゼンクロイツ



会長のイス

●ブーマに取りつかれた哀れな老人。その言葉には深みがある

キャラetc.

クズイ

↓オールドタイプの探偵といった雰囲気のクズイ



秘書ブーマ壱号

秘書ブーマ弐号

↑メイスンの愛人でもあった弐号。声をあてていた山田美穂さんにソックリらしい

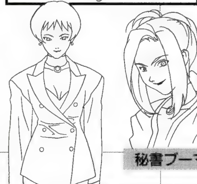
ロゴ



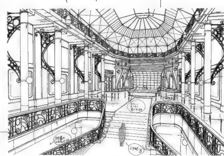
ゲノムタワー



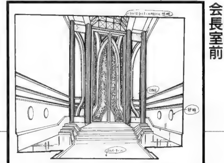
副社長室



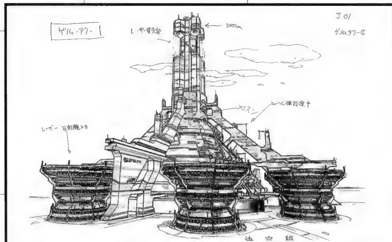




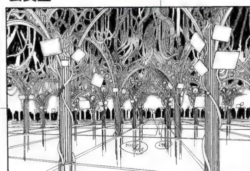
会長室前



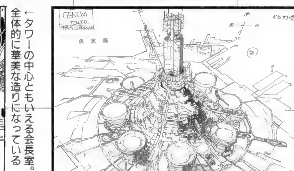
全景①



会長室



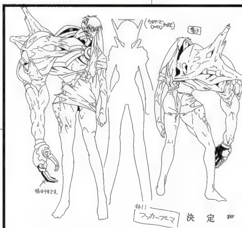
←タワーの中心ともいえる会長室。全体的に華美な造りになっている



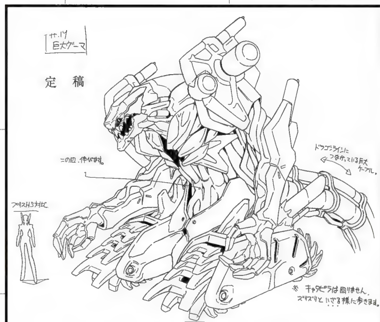
全景②

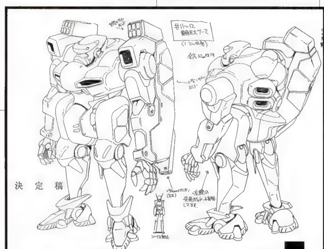
←広大な敷地にそそり立つゲノムタワー。ビルの高さは約千メートル

フッカーブーマ

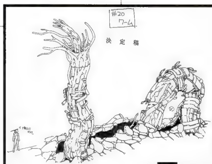



巨大ブーマ

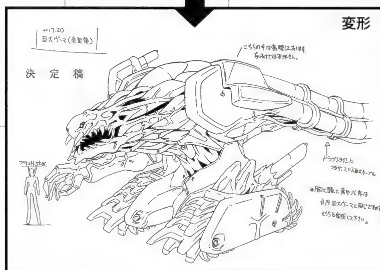




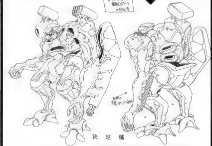
ワーム



変形



MAD



UP



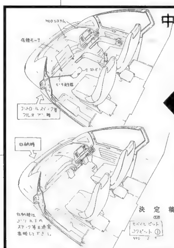
軍用巨大ブーマ

↑→巨大・重装備の軍用ブーマ。これがマッド化するとより恐ろしいことに……

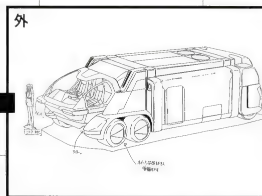
この作品にとって必要不可欠な要素、それがブーマとメカニックだ。ストーリーのキーポイントとなる存在だけに、そのデザインにも力がこもっている。

モバイルピット

中



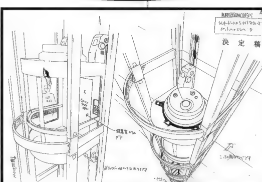
外



↑一見するとキャンピングカーのようなモバイルピット。中は仮想モニタ・HUDシステムなどが配備されている、ナイトセイバーズの移動型作戦本部なのだ

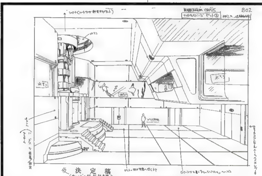
ナイトセイバーズピット

シルキードールより



→シルキードールからナイトセイバーズピットへ降りるためのエレベーター。周りは耐圧ガラス製

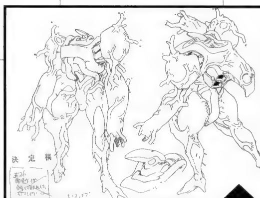
ピット内



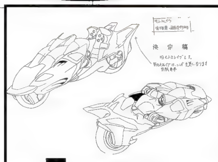
↑この場所からドレッシングルームやシャフト、コントロールルームへと移動できるようになっている

モトスレイブ

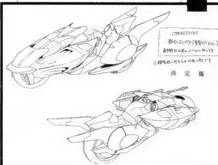
ハイパーモトスレイブ



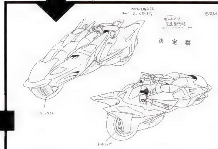
通常時



新モトスレイブ

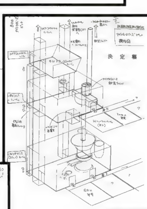


高速走行時

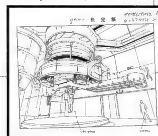


↑ナイジェルが作ったモトスレイブはもちろんただものではなかった。ここで注目したいのは"ハイパーモトスレイブ"。見たことがない？　そう、これが登場するのは……

構成図



ハードスーツマシン



↑ピット内の立体構成図。
←ハードスーツピットのマシンルーム。巨大クレーンによって回転している

ブーマ&メカニック

BUBBLEGUM CRISIS

CAST DATA

オール スタッフ&キャスト データ

演出助手	中川　聡、石田　暢、近橋伸隆
原　画	斉藤雅治、佐藤　修、重松晋一、吉田　祐、斉藤和也、安藤義信、黒柳賢治、西村元秀、戸井一樹、金崎貴臣、今野幸一、笹嶋啓一、嶋田俊彦、谷　圭司、福世孝明、横山義家、山岸徹一、中山岳洋、柿田英樹、秋葉健児、佐々木世子也、飯田宏義、中屋　了、伊藤尚往、生亀信幸、松田宗一郎、片山義夫、及川　啓、岡崎洋美、今里佳子、南　義昭、高橋　聰、奥田万つ里、木下喜生、福井拓郎、斉藤　剛、細田直人、竹市眞、浜森理宏、岩堀公幸、番由紀子、藤本篤史、石井祐美子、河野安弘、中村　明、本多　哲、村中博美、野口木ノ実、高坂宏、守田芸成、中澤勇一、浦野達也、八木元喜、青柳重美、高橋正洋、坂木　力、越後谷寛、佐藤道雄、刈谷素、山内大輔、柳瀬雄之、谷口守泰、松坂定俊、高井浩一、柴田和紀、赤坂理恵子、佐藤哲也、小原太一郎、杉本光司、石原　哲、内納健治、熊岡利治、安彦　守、大篭之仁、日下部智津子、玄馬宣彦、渋谷英樹、田中真二、吉田はじめ、池田裕治、坂本修司、片貝　稔、小山和弘、岡野倖男、金本英雄、杉原ガクト、大平直樹、武藤照美、熊澤英樹、崔　榮禧、八木元喜、鎌田　均、高津幸央、丸英男、青木昭仁、大島　巧、瀬口敦士、土橋幸生、飯田宏義、布施木一喜、清水健一、村上元一、高原秀喜、尾崎正幸、やまうちなおき、若林　要、内原茂、定井秀樹、坂本　力、瀬川みずほ、石原　哲、三柴直樹、さとうしげき、滝川和男、松岡秀明、百瀬恵美子、鷲田敏弥、米田宏、若山政志、刈谷　素、土井智晴、桑野佳子、島田英明、吉田　仁、遠藤ひろみ、岩田イチロー、武井　努、中川義久、滝吾郎、高橋博之、鈴木雄大、石崎寿央、黒沢治、阿保孝雄、若林　要、近藤伸隆、栗井重紀、阿部和彦、オクノメグミ、古山匠、金子秀一、友岡新平、高橋真一、奥田泰弘、和田伸一、小山善孝、水野桂樹、戸川俊信、竹内進二、数江正義、深谷裕一郎、新田敏夫、中弥幸一、牛嶋知佐子、細川智代、秋山由樹子、置鮎美穂、中澤勇一、中本尚子、崎山知明、高井浩一、藤井　満、村田雅美、津熊健徳、武本大介、浦野達也、植田二三子、木村貴宏、日野貴史、木下由美子、田中一嘉、市川達也、金　紀杜、Keny松平、内原　茂、小野修次、塩川貴史、槌田幸一、黒澤　治、大塚八愛、山内尚樹、村松和子、河野恵子、井上　哲、青井清年、北沢典子、水村雄之、今野博司、森前和也、安本　学、桝田浩史、谷口幸治、石本英治、笹島啓一、高橋丈夫、中沢一登、藤沢俊幸、松本卓也、山内則康、WHITE LINE、FUN FILM、Stdio D-VOLT、アニメアール
動画検査	斉藤裕之、田中保美、谷川政輝、斉藤新明、福井拓郎、守田芸成、中屋　了、中川義久、藤本明子、渡辺美佐、福永啓人、浅井智栄、酒井博美、部谷訓子、田中　聡、滝　吾郎
動　画	秋吉育子、浦田武治、野口陽子、丸加奈子、沖田篤志、原和泉、小野涼司、神原大仁、津野田和江、浅井智栄、新井貴弘、椎名剛弘、鈴木孝典、原　修一、金明基、吉田照美、藤野弥生、小山知子、中村祥子、斉藤新明、吉田浩美、稲岡壮樹、平林隆史、福井拓郎、及川　啓、片山義夫、土井智晴、細田直人、近藤唯人、清水春香、酒井和男、沼　憲子、藤本明子、仲條久美、吉田康秀、高原秀喜、山田政仁、加々美昌子、梅林由加里、網野佳子、秋葉奈美恵、高井彩子、黒崎彰浩、坂田　理、浅野陽二、高橋　剛、工藤真弓、石渡　浩、小田弘子、広岡歳仁、数藤健司、今岡　大、渡部寿也、中村和久、山本公浩、奥村幸恵、飯田友和、佐藤朗子、康　文僖、鄭　眞英、池谷俊之、工藤真司、石渡　浩、スタジオライン、すたじおガッシュ、中村プロダクション、ウォンバット、スタジオマーク、スタジオアルファ、マーサ、京江動画、スタジオシータ、スタジオミュウ、HANA PRO、東京アニメーションセンター、PRODUCTIN I.G、LEE PRO、童夢、FAIインターナショナル、上海南通斬伯麦動画公司、星山企画、イマジン、ブーメラン、エムアイ、進藤プロダクション、博　英、ホワイトライン、TOプロ、オーツー、KANON
色指定	渋谷圭子、関美恵子、金丸ゆう子、斉藤麻記、鴻野明子、新井正春、杉森　司、北村浩二、島方亜矢子、ますだよしまさ、松岡珠江、今川和行、千葉賢二、浜野　茜、佐藤丈志
仕上検査	真家一義、関美恵子、本郷二郎、安達恵子、阿部紀子、江口哲治、関口智子、木村栄美子、遠藤菜緒美、松岡珠江、佐藤直子、山森靖子、斉藤麻記、浜畑輝美、木下亜津子、高木章代、杉浦仙一、競　昌則、北村浩二、佐藤丈志、新井正春、杉森　司、北村浩二、島方亜矢子、ますだよしまさ、箕輪綾美、大内　綾、今川和行、山森靖子、浜畑輝美、熊澤稚佳子
仕　上	本郷二郎、競　昌則、大下亜津子、杉浦仙一、高木章代、阿部幸子、伊東さき子、伊藤照美、大西峰代、箕輪綾美、日比智恵子、大内　綾、鈴木祐香、鴻野明子、鈴木衣里、田口恵理子、山田ひろみ、小川さゆり、小原真由美、鬼塚美季子、緒方佳代、菊地淳子、的場良子、長沢辰美、江野村みき子、秋元ヒロ子、金久保高央、羽根石幸枝、平尾あい子、鈴木純代、浜野　茜、熊澤稚佳子、片桐聡美、佐々木夏江、阿部紀子、内山智栄子、瀬古由布子、諸富孝子、谷路しず江、中沢敦、阿部千恵子、庄村みつ代、江川正雄、渡辺貴士、北村浩二、佐藤丈志、ますだよしまさ、あきもとひろこ、千葉賢二、梅本栄里、スタジオオーエム、スタジオOZ、すたじおガッシュ、京江動画、スタジオミュウ、HANA PRO、スタジオポッケ、ライトフット、ムーク、LEE PRO、FAIインターナショナル、上海南通斬伯麦動画公司、星山企画、ピーコック、宮崎アニメーションスタジオ、マーサ、武　遊、カラーセンター、Toプロダクション、博　英、Woo in、スタジオアルファ、KANON
動画仕上協力	スタジオミュウ
特殊効果	前川　孝、福田貴博、新井正春、小森靖彦、木原悦郎、千場豊、長谷川敏生、中島正之、マリックス
美術ボード	丸山由紀子
背　景	アトリエムサ 大久保修一、加藤正樹、大川真由美、篠崎英子、小倉隆博、貴志泰臣 獏プロダクション 西山正紀、小谷隆之、清水隆夫、山口　忍、鍵山晶子、津島めぐみ、西村康浩、服部一宏、永井洋子、小杉光芳、前美智子、高橋明希、北村公平、金島邦夫 System Will of Freedam イースター 藤井かおり、徳田俊之、中田しず子、糸満　昭、梶原芳郎、石原信明、清水　彩、高橋智子、南沢貞子、清水健也 ほわいとまっぷ 長谷川正史、野澤　洋、遠藤さちえ 矢島洋一、若松栄司、下野哲人、甲斐政俊、佐南友理、清水　誠
撮影監督	藤田正明、佐藤　均、関戸宏樹、遠藤泰久
撮　影	虫プロダクション 諫川　弘、鈴木秀男、山口利明、伊藤あい子 AIC撮影課 安原俊之、谷垣　宏、山内正太、阿部安彦、山本　猛、太田和亨 トランスアーツ 遠藤泰久、橘高敬司、酒井邦彦、竹内　尚、奥井厚子、津村浩彦、だいけんいち IMG St.ヴィオラ 珊瑚礁 あどりぶ ズィーベン
編　集	松村正宏、伊藤　裕（JAY FILM）
現　像	IMAGICA
タイトル	マキ・プロ
音　楽	是永巧一
音楽プロデューサー	野崎圭一
音楽制作	ビクターエンタテインメント
音楽協力	テレビ東京ミュージック
効　果	佐々木純一
録　音	川崎公敬
録音スタジオ	タバック
音響制作	アーツプロ　寺尾桂子
オープニング　テーマ	『y' know』
作詩／須藤あきら	
作曲／SAGE KOIZUMI	
編曲／是永巧一	
歌／プリス・S・アサギリ	
オープニング　アニメーション	
演出・絵コンテ・原画	菅沼栄治
作画監督	山田正樹
原画	高岡淳一、金子秀一、松本文男、伊東伸高、吉田英俊、村木靖、富田与四一、坂野龍宏
エンディング　テーマ	『Waiting for You』
作詞／須藤あきら	
作曲／須藤あきら	
編曲／是永巧一	
歌／須藤あきら	
エンディング　アニメーション	
絵コンテ・演出・作画	中沢一登
デジタルワークス	あおき武、設楽　希、ディジメーション
設定協力	高倉武史、山崎健志、真崎隆春、吉田幸一郎、八谷賢一
タイトルロゴ	神宮司訓之
制作進行	安楽春一、小野涼司、浅田貴浩、小山倫也、岩城三成、天笠秀人、都野雄大、長路由紀子、菊池一真、山口雄士、柴田知典、榊原英起、石灘　賢、岩田義彦、吉田敏裕、吉田敏裕子、山本真一、川合英司、山崎剛資、菊池一真、佐々木一也、遠藤広隆、新津祐紀
文　芸	気賀沢昌志
設定制作	知念明仁
制作デスク	上川畑修一
担当協力	野澤勝彦、関　裕幸、川上　聡
番組担当	小林教子（テレビ東京）
番宣担当	伊藤淳也（テレビ東京）
プロデューサー	小松茂明 井上博明 隈部昌一
アニメーション制作協力	童夢 APPP FRONT LINE ライフワーク B. I. G. トランスアーツ スタジオ　ガゼル アニメ・アール MOOK
アニメーション制作	AIC
製　作	日本ビクター

ALL STAFF&

監督	林 宏樹
脚本	小中千昭 村井さだゆき
プロダクションデザイン	荒牧伸志
キャラクターデザイン	山田正樹
総作画監督	山田正樹 高岡淳一
ビジュアルディレクター レイアウト監修	外山九市
美術監督	池田繁美
色彩設計	大槻浩司
音楽	是永巧一
音響監督	本田保則
ハードスーツ原案	園田健一

キャスト	
プリス	浅川 悠
シリア、ガラテア	雪乃五月
リンナ	夏樹リオ
ネネ	小西寛子
レオン	梁田清之
デイリー	上田祐司
ナイジェル、ニック	山口 健
メイシオ	麻生智久
ミサエ	増田ゆき
ケイン、ビル、他	安井邦彦
メイスン	中田譲治
クインシー	中村 正
クズイ、ジェイド、他	室園丈裕
フォックス、他	石川和之
マクソン、ダニエル、他	鈴木琢磨
スティングレイ博士	有本欽隆
シリアの母	渡辺美佐
秘書ブーマ（壱号）、他	石井七央子（直子）
秘書ブーマ（弐号）、他	山田美穂
マッキー	宮田始典
エレン	氷上恭子
リンナの母	喜田あゆみ
マサキ	石川英郎
シャン先生	鈴木昭生
マイルズ	宇垣秀成
ガラテア（少女）	堀江由衣
ヤノ	亀井三郎
マリア	前田このみ
モトスレイブ	銀河万丈
	安達まり
	清水敏孝
	乃村健次

『バブルガムクライシス TOKYO2040』TV放映リスト

★テレビ東京にて、1998年10月７日より1999年３月31日まで、毎週水曜日25：15～25：45（１話25：35～、２話25：45～、11話26：15～、19話25：25～）
第１話～第24話放映（12月30日と翌年の１月16日は特番のため休止）〔NET局：WTV、TVN、BBC〕

話数	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	作画監督	制作担当	放映日
ep.1	Can't Buy A Thrill	小中千昭	林 宏樹	西山明樹彦	青野厚司	童夢	'98年10月７日
ep.2	Fragile	小中千昭	林 宏樹	中山岳洋	中山岳洋	APPP	'98年10月14日
ep.3	Keep Me Hanging On	小中千昭	林 宏樹	八谷賢一	青野厚司	童夢	'98年10月21日
ep.4	Machine Head	小中千昭	小林孝志	久志秀彰	北島信幸 柳瀬雄之	AIC	'98年10月28日
ep.5	Rough And Ready	小中千昭	井硲清高	八谷賢一	加野 晃	童夢	'98年11月４日
ep.6	Get It On	小中千昭	別所 誠	伊達勇登	山沢 実	フロントライン	'98年11月11日
ep.7	Look at Yourself	小中千昭	外山九市	三泥無成	佐藤道雄	APPP	'98年11月18日
ep.8	Fire Ball	小中千昭	林 宏樹	柳瀬雄之	柳瀬雄之	AIC	'98年11月25日
ep.9	My Nation Underground	村井さだゆき	細田雅弘	棚橋一徳	南伸一郎	ライフワーク	'98年12月２日
ep.10	Woke Up With A Monster	村井さだゆき	小林孝志	栗井重紀	小山和弘	九魔	'98年12月９日
ep.11	Sheer Heart Attack	小中千昭	岡野倖男	鈴木 薫	松山光治 金本英雄	BIG	'98年12月16日
ep.12	Made in Japan	小中千昭	黒田やすひろ	小田 雅	布施木一喜	トランスアーツ	'98年12月23日
ep.13	Atom Heart Mother	村井さだゆき	嵯峨 敏	嵯峨 敏	大下久馬	ムーク	'99年１月13日
ep.14	Shock Treatment	村井さだゆき	吉田英俊	吉田英俊	佐藤道雄	AIC	'99年１月20日
ep.15	Minute by Minute	小中千昭	岡野倖男	鈴木 薫	松山光治	BIG	'99年１月27日
ep.16	I Surrender	小中千昭	外山九市	棚橋一徳	南伸一郎	ライフワーク	'99年２月３日
ep.17	Moving Waves	村井さだゆき	黒田やすひろ	細田雅弘	小山和弘	九魔	'99年２月10日
ep.18	We Built This City	村井さだゆき	嵯峨 敏	嵯峨 敏	関口雅浩	ムーク	'99年２月17日
ep.19	Are You Experienced?	小中千昭	金子秀一	伊達勇登	山沢 実	フロントライン	'99年２月24日
ep.20	One Of These Night	小中千昭	しのだよしの	しのだよしの	宮藤仁義	ガゼル	'99年３月３日
ep.21	Close To The Edge	村井さだゆき	吉田 徹	吉田 徹	佐々木一浩	Wアール	'99年３月10日
ep.22	Physical Graffiti	村井さだゆき	中川 聡	中川 聡	Keny松平	BIG	'99年３月17日
ep.23	Hydra	小中千昭	渕上 真	渕上 真	関口雅浩	ムーク	'99年３月24日
ep.24	Light My Fire	小中千昭	外山九市	伊達勇登	山沢 実	フロントライン	'99年３月31日
ep.25	Walking On The Moon	小中千昭	池田 成	しのだよしの	宮藤仁義	ガゼル	未放映
ep.26	Still Alive&Well	小中千昭	金子秀一	下司泰弘	山田正樹 高岡淳一	AIC	未放映

Dセレクション
BUBBLEGUM CRISIS TOKYO2040 PERFECT MANUAL

企画……電撃Animation magazine編集部
谷澤光一 住博司 有永真仁
構成・編集……川守田 游（DARTS）
執筆・編集協力……和田 理
水島摩美
小泉聰
山口誓子
長尾けんじ
表紙デザイン……神宮司訓之（ZinSTUDIO）
本文デザイン……伊澤信行（Dスタジオ）
YUMEX
写真撮影……丸山尚
エルクラフト
SPECIALTHANKS……AIC
日本ビクター
ビクターエンタテインメント
東芝EMI
アーツプロ
表1側イラスト…原画：山田正樹
仕上げ：伊東さき子
表4側イラスト…原画：荒牧伸志
仕上げ：大西峰代

ピンナップ表側イラスト…原画：外山九市
仕上げ：佐藤直子
ピンナップ裏側イラスト…原画：高岡淳一
仕上げ：遠藤菜緒美
特殊効果：福田貴博

発行日／1999年11月30日 初版発行

発行者／佐藤辰男
発行所／株式会社メディアワークス
〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8
東京YWCA会館
TEL.03-5281-5217（編集）
発売元／株式会社角川書店
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
TEL.03-3238-8605（営業）

印刷・製本／共同印刷株式会社

Ⓡ本書の全部または一部を無断で複写（コピー）することは、
著作権法上での例外を除き、禁じられています。
本書からの複写を希望される場合には、
日本複写権センター（03-3401-2382）にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えします。
ISBN4-8402-1279-1 C0076

©JVC・AIC
©1999 Media Works

CONTENTS

キャラクター紹介……2
第1話～第24話フィルムストーリー……15
イラストギャラリー……22、32、42、52、62、98
インターバル プレミア写真館 素顔のナイトセイバーズ……34、40、56、60
VISUAL SIDE STORY“Girls at heart”……66
声優座談会……71
レギュラー声優コメント……74
セキリアライブイベントレポート……76
スタッフインタビュー……78
スタッフコメント……80
バブルワールド用語解説……82
設定資料ミュージアム……84
第25話フィルムストーリー……100
第26話予告ダイジェスト……104
OVA版『バブルガムクライシス』FLASH BACK GUIDE……105
アイテム紹介……112

『バブルガムクライシス』の全てを掌握するための巻末2大特典

『バブル』のよりコアな世界に浸っていただくため巻末に、特典カラーページを設けた。TV未放映で、2000年にならなければ見られない第25話と、OVA版を分かりやすく簡潔に、しかもディープに解説する鑑賞ガイド。いずれも読んで得する永久保存版スペシャル企画だ//



1 TV版未放映第25話 FILM STORY



2 OVA版全8話 FLASH BACK GUIDE



■イラストレーション：山田正樹／仕上げ：日比智恵子／背景：アトリエむさ

「どうして私をそんな目で見るの？」



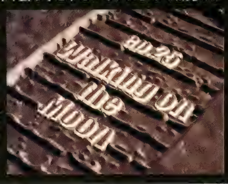
EPISODE. 25

Walking On the Moon

ゲノムタワーを取り込み巨大な女神像と化したガラテアは、新たな時代を築くため、今、宇宙へ向かって上昇しつつあった。そして彼女は回想する、ブーマの歴史を――。

微小なナノメカニカルのコアとしてこの世に生み出された彼女。開発者であるスティングレイ博士の娘・シリアの脳内視床下部にインプラントされ、そこで人間を学び模倣して生命を宿し自我を得て素体となる彼女。やがて彼女を基に亜人第1号であるマッキーが生み出された。しかし、彼は自我を持って生まれたがために失敗作とされ、その後量産される複製のコアからは自我が抜かれる事になる。自我を抜かれた彼女の複製はブーマと呼ばれ、人に仕え、人に忌み嫌われ、同時に愛されながら働き続けた。一方、彼女は機械を変質させる現象（フェノメノン）を引き起こす事が明らかになり、地中深く眠りにつく。だが、彼女は彼女を葬り去ろうとするシリアによって目覚めさせられ、メイスンにガラテアと命名された。成熟した彼女は人がブーマを受け入れない事実を憂い、神となって世界を造り変える事を思い立ったのである……。

そのガラテアを追ってスカイフックのフック部分に飛び乗ったプリス、リンナ、ネネ。3人のKSは、ショウハム計画の拠点、宇宙空間に建設された巨大な傘・アンブレラにようやく到着した。が、その時既にガラテアは、アンブレラを支配しつつあった。彼女の野望を阻止するため、KSは走る。





「私が人間に近づけば近づく程、人は私を物質として認識し、人は私を愛し――

そして憎む」



「私のコアからデュプリケートされた最初の亜人。でも不完全」

「人間に近すぎたが故の **不完全**」



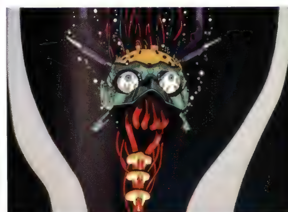
ガラテアの前から、メイスンによって連れ去られるマッキー



「ただの人間の模造品などを求めていなかったスティングレイ博士は、いかな存在として私を創造したのか」



「お父さま。スティングレイ博士。インタープリター。個は総体へ進化」



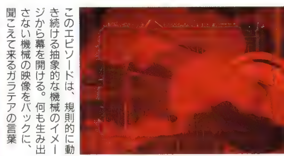
採取されたアンチシードをコアにして形成されてゆくバイオメカニカル。後にガラテアと命名される素体の、表皮のない頭部が、人工眼球をギョロつかせている。そして、それを冷たい瞳で見つめるシリア

「シリア――私はあなた」



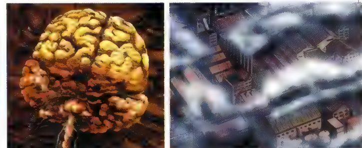
「私は、人が人を見下す代わりの存在。その憎しみを全て背負わされるのが、私のレゾン・デートル」

「人が人である事、機械が機械である事。そこに秩序があると思い込んでいたのは、人の側だけ……」



このエピソードは、規則的に動き続ける抽象的な機械のイメージから幕を開ける。何も生み出さない機械の映像をバックに、聞こえて来るガラテアの言葉

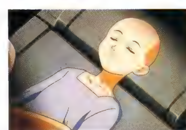
「ネオテニーのまま進化を遂げ、衰退してゆく人の中に、秩序を秩序と思わない者が生まれたのも、たまたま一つの秩序の中に予定されていた事なのかもしれない」



「この時、私の自我というものはまだ生まれていなかった。生まれていたのは私という自我ではなく、存在だけ。人が他者を視覚によって認知するクォリアは、いかなる精緻な機械であっても、引き起こす事は不可能だった」

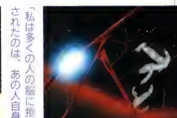


「お父さま…」



「私は多くの人の脳に拒絶された。唯一私が根づく事を許されたのは、あの人自身の娘の脳の中……」





「人のクォリアを模倣するために、視床下部に埋め込まれたアンチシードというコア。それこそが、私という存在」



スティングレイ博士によってシリアの脳に埋め込まれ、彼女そのものを学び、吸収したナノメカニズム（アンチシード）が再び採取される



ガラテアの手から転がり落ちたボールが壁の操作パネルにぶつかった。と、突如変容し暴れ始める機械。ケーブルが生き物のように蠢き、一瞬にして地獄と化す“ウィズラボ”



「これが私だった。私は最初の一人なのだ。私は私だけで完結する存在ではなく——」

「あなたはやはり人。
人としての思考から離脱する事が出来ない」





「いいわ。
私は眠ってあげる。創造者に反発する程、私の思考は成熟していないもの」

「増殖する私のコアから自我を抜かれた複製——。人に仕える者。クオリアを持つ人工人類。人が人をさげすむ代わりの存在——」





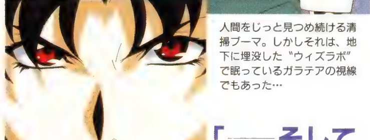
「私はじっと人間たちを見つめてきた。私から生まれた者たちを、
人はブーマと名付けた」



東京。路上では清掃ブーマが、カフェではウェイトレスブーマが働き続ける。投げ捨てられたタバコの吸殻を見つめる清掃ブーマ

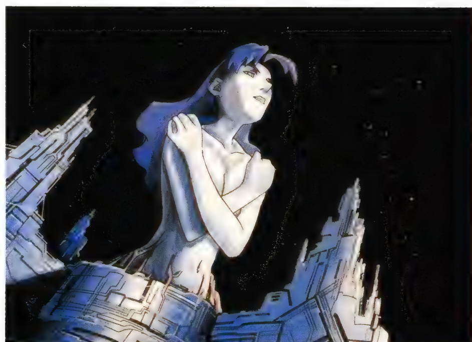
「ブーマという名前には、ユダヤでいう土より生まれたゴーレムと同じ意味しか持たない。私は彼らと共にあって、しかし見つめ続けるだけだった…」



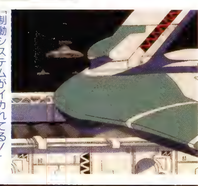


人間をじっと見つめ続ける清掃ブーマ。しかしそれは、地下に埋没した“ウィズラボ”で眠っているガラテアの視線でもあった…

「——そして、私は再び目覚めさせられた」



「私は何をしようとしているのか。私は何をするためにこの世界に生まれたのか。人から作られた全ての機械は私自身であり、私は全ての中にあるのに——。なぜ人はブーマを、内なる者として受け入れないのか⁉」



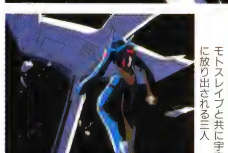


「制動システムがイカれてる！」
「えーっ！」
「早く‼ 脱出しないと！」

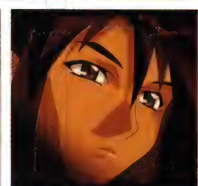
「私を消し去る事は、人以外の全てのつながりを断ち切る事なのに。それでも私を消し去りたいの？

——だったら、私はやっぱり神になってあげる」



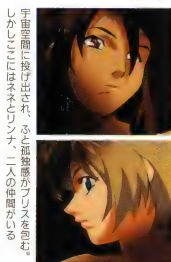


制御システムの故障でフックが破壊し、ブーマやモトスレイブと共に宇宙に放り出される三人





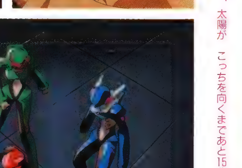
「プリス、プリスーっ！」「プリスを見つけたぁ〜！」

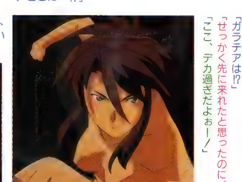


宇宙空間に投げ出され、ふと孤独感がプリスを包む。しかしここにはネネとリンナ、二人の仲間がいる

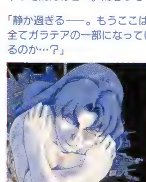
「こんな所まで来て、どういうつもり？ あたしバカだよね…。誰に頼まれたワケでもないのにさ。酸素ってあとどのぐらい保つんだろう…。だいたいあたし、どうやって帰んのさ…。帰るって——、どこに…⁉」

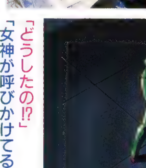
「ガラテアは⁉」
「せっかく先に来れたと思ったのに、太陽が こっちを向くまであと15分しかないよ」
「ここ、デカ過ぎだよぉー！」





「静か過ぎる——。もうここは、全てガラテアの一部になっているのか…？」







「どうしたの⁉」
「女神が呼びかけてる」
「女神が⁉ 今の感覚はそれ？でもいったい、誰に呼びかけているの？」
「ネネは、メイン・コントロールルームに急いで、システムを制御するんだ。リンナとあたしは女神をチェックする」
「わかった」
「行くよ！」
「うん」

EPISODE.25

Walking On the Moon

太陽光がアンブレラを照らすまで残された時間は15分。メイン・コントロールルームに向かったネネは、そこで直接コンピューターにリンクしてアンブレラの向きを変えようとする。一方、プリスとリンナは、エネルギー・センターから流れ出すフェノメノンの影響で変質を始めるスーツを押し止めるため、精神力による戦いを強いられる。センター内に突入した二人が見たものは、ガラテアに支配されブーマの巣と化したシステムの核だった。必死にネネが傘の向きを変えようと操作しても、傘はブーマ化した触手に操られている。そこに突如出現する3つの白い影。ガラテアが生み出したニセのＫＳだ！　自身の影と戦いを繰り広げる三人。苦戦するリンナを嘲笑するように「つまらない生き物」と言い切るガラテア。この言葉が怒りを原動力とするリンナに火を付けた。形勢は一挙に逆転。白いＫＳは次々と本物のＫＳ達によって打ち倒される。しかしこの間に太陽光はアンブレラに注ぎ、一発目のフェノメノンのビームが地球に送り込まれてしまった。第２波を阻止するべく、再度行動を開始しようするネネとリンナに、プリスは自分一人で行くと言いだす。だがリンナもネネも、そんな言葉を受け入れるハズがない。結局三人でシステムの核を破壊し、自爆させる事に成功する。が、その爆発にリンナとネネが巻き込まれ、宇宙空間に飛ばされしまった!!

「リンナァ～ッ！」

「あたしは…あたしは…」

「きゃあああああっ！」

「何で!?　どうして命令を受け付けないのよぉ!?」

「もうすぐ太陽の光が届いちゃうじゃない！」

「よーし、アンブレラの向きを変更。とにかく全部を分散すれば、ＯＫだよね……」

錯乱するリンナの腕をとった瞬間、プリスはかつてシリアの住んでいた邸宅にいた!?

ビクトリア調の内装を施された邸宅の中で、プリスは幼い少女と出会う……

「シリア？…シリアなの？」

「お姉ちゃんの、そのお洋服、あたしも、欲しいな」

「誰だよ、あんた」

シリアの面影を持つ少女に問いかけるプリス。しかし少女はその質問に答えず、無表情なまま奇妙な事を語りかける

「リンナ、しっかり！」

「はっ！　……うん」

「あんた…ガラテア!?」

プリスが少女の正体に気付いた瞬間、閃光がきらめき、現実が舞い戻る。そこには怯えきったリンナの姿が…

「どーして傘の向きが変えられないの!?」

「傘が直接制御されてる！
いつの間に…!?」

リンナが正気を取り戻すのを待っていたように、二人の前に出現する二つの白い影!?　その頃ネネは、操作不能の傘を相手に苦闘を続けていた。だが、ガラテアによって物理的に支配された傘が微動だにするはずもなかった。その事に気付いたネネの背後にも、彼女自身の姿をした白い影が現れる！

「ううー事するのって気持ち悪い…」

「らっきー♡　まだシステム死んでなかった」

アンブレラのメイン・コントロール・ルームにやって来たネネ。センサーが来訪者を察知して室内に照明が点灯、システムが正常に作動している事に安堵する。そこでネネは、コンソールをハードスーツから繰り出したワイヤーで連結し、ダイレクトに傘を操作することに。さすがのネネもこの作業には抵抗を感じるようだ

「来た！　アンブレラの向きを変えるには――」

「プリス！　フェノメノンはあそこから出てるわ!!」

「ああ、動力室だ。よっぽど気合を入れておかないと、ハードスーツは即座にマッド化しちまうよ」

「プリス！　これは!?」
「フェノメノンが漏れ出してる」

エネルギー・センターにたどり着いたプリスとリンナは、そこから漏れだしているフェノメノンに気付く。ここでは気を許すとハードスーツが瞬時にマッド化してしまうと、気合を入れるプリス達

「――これは!?」

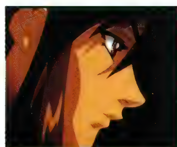
「なんだこれは!?」

「いや……、いや……」
「リンナ！　意識をしっかり持つんだ。自分はブーマに絶対に取り込まれないって！」

「今のはガラテアの声！」
「やっぱりそうか。もうショウハム・システム全体がブーマ化、ガラテアになっちまってるって事か」

「全てのブーマ、全ての人でないものは私と一つにある…」

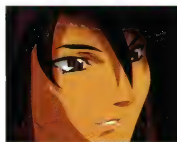
「エネルギーがたまったら、
またすぐ発射されるよ」
「しょうがねーな」
「なっ、何が!?」
「こうなったら、エネルギー・センター
をぶっ潰すしかないだろ」
「ダメだよ！　さっき判ったでしょ！
あそこにはフェノメノンが充満してて、
今度入ったらハードスーツは
完全におかしくなるってば！」



「たぶんね。だから、
あたし独りで行く」
「何言ってんのよ」
「3人揃って行ったっ
てね、足手まといな
んだって。さっさと
先に降りな」

「いーかげんにしてよ！　あたしたちは何!?
もうただのバイト仲間でも友達でもないんだよ」

「正義の味方。
だからしょうがないよね、
確かに。じゃ先行くわ、あ
たし」
「へ？　あ、ずるい」

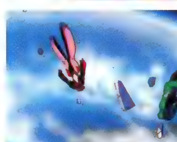




「じゃあ、何」「それは…」

「ハァ…。ま、いっか」

「ネネ！」



ハードスーツの変容を肌で感じ、恐れおののくネネ

「ネネ、走れ！」
「うん。判った！」



2度目のビーム発射を阻止しようとしたネネが、ブーマ化したアンブレラに捕まってう…！

「あ、あたしの体が…」
「リンナ、あたしを捕まえてて！　あたし
が、あたしの心がどっか行っちゃって――
あたしじゃなくならないように!!」

「ネネエ、リンナァ〜！」



駆けつけたリンナに、自分を支えてくれと哀願するネネ。しかしフェノメノンの威力は、フォローするリンナをも巻き込んでしまった

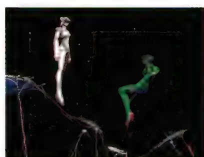
「リンナ…」
「なに？　ネネ」
「ゴメン。やれる
だけやったのに
…」
「うん。あたした
ち、やれるだけ
やったよ…」

アンブレラを自爆させる事には成功するが、その爆発に吹き飛ばされてしまうリンナとネネ！

「太陽が！　太陽が当たって来る――。始まった。これが地球に、ゲノムタワーに降り注いだら!?」



「…何よあんた」



「怯えている…」



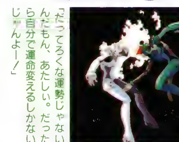
「だから何よ…」
「こんなつまらない生き物が、
どうして私を消滅させよう、
なんて考えられたの？」
「つまらない生き物…」
あたし――あたしって…」

「あたしのマネっこなんかしてぇ！」

「そんなあなたが、人の向かうべき道を阻止しようなんて、おかしいと思わない？
これは人が辿る運命なのよ、たぶん。だって私が決めたんだもの」

「神が決めた事なんだもん」

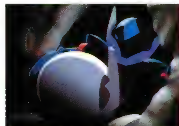
「だってろくな運勢じゃないんだもん、あたしぃ。だったら自分で運命変えるしかないじゃんよー！」



「残念でした。あたし、占いとか信じないようにしてんの」

「つまらいない生き物」というガラテアの言葉がリンナを奮起させる。持ち前の負けん気が爆発して、自身の白い影を打ち破るリンナ

「あんたが神だって？　ふざけんじゃないよ！」





「よーし、あたしだってぇ！」

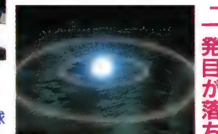
「何言ってんだ！
そんな事、誰が許すかよ！」

「シリアは愚かだわ、こんなものを作って。ブーマを洋服みたいに着たところで、いずれは体の中に入り込み、一つになってしまうんだもの」

「こんな形状に、意味はないわ……」



自ら姿を消すプリスの白い影。そしてついに、地球に向けて発射されるフェノメノンのビーム。呆然とするリンナとネネだが…



「一発目が落ちた」

「どうしたらいいんだ!?
ガラテアの奴、
フェノメノンのビームを地球
に向けて撃とうとしてる！」
「ゴメン！　あたしが止められなかった…」
「そんな事よか、早くなんとかしないと！」



EPISODE. 26 予告

（ナレーション／プリス・アサギリ）

天使の翼は、いま折れた
傷ついた心と翼を癒し、いつしかまた空へと戻っていく……
でも今は、ただこうしていたい……
大好きな唄を口ずさみ、時の流れに身を任せる。
……いつか空へ。
その想いに寄り添いながら……
『バブルガムクライシス』最終回。











★TVシリーズの『バブルガムクライシス』は、テレビ東京の深夜（毎週水曜日25時15分〜25時45分）枠で半年間TV放映された。企画そのものは放映の2、3年前から動いており、初期段階から全26話を放映予定として作業が進められた。幾度か企画は頓挫しかけたが、プリス風に言うなら、それを"気合で乗り切った"スタッフはようやく放映枠（放映日程を含む）を確保。しかし、番組の途中で年末年始を向かえる事もあり、特番が2回入る事が後から決定する。丁度、第1話のアフレコの頃の話である。それは全てが予定通りに動き出した後に発生した不測の事態だった。かくして本誌インタビューで林宏樹監督や小中千昭氏が語っているように、TV放映はラスト2話を残し、24話をもって幕を閉じた。25・26話の収録されたビデオテープ&LD第13巻は、2000年に発売される。

See You Next…
（このつづきはビデオでご覧ください!）

OVA版バブルガムクライシス FLASH BACK GUIDE

TV版のベースは、OVA創世期におけるヒット要因〝美少女＋メカ・アクション〟が見事に結実した傑作OVAシリーズ『バブルガムクライシス』全8作だ。日本国内はもとより欧米のアニメ・ファンの注目も集め、『ジャパニメーション』の先駆的作品となった『バブル』シリーズの、バックステージを覗いてみよう

●構成・文/小泉 聰（元OVA版スタッフ）



Illustrated by Ken-ichi SONODA

スタッフ&キャストの情熱が育んだ豊潤な作品世界

『メガゾーン23』（'85年）、『ガルフォース』（'86年）等、初期のOVAヒット作を連発した企画集団アートミックは、その後のOVA作品の流れを決定づける大作『バブルガムクライシス』を'87年に発表した。前作『ガルフォース』でデビューを飾った新鋭キャラクターデザイナー園田健一が再び起用され、セル画映えする硬質感とセクシーさを合わせ持つ園田キャラたちの躍動する本作は、'87年2月のビデオ発売と同時に爆発的反響を呼び、以後4年にわたってシリーズ化されることになるのだ。

アニメ界のゲリラ部隊的な同社には当時、柿沼秀樹、荒牧伸志を中心に園田健一、山根公利、夢野れいといったそうそうたるメンバーが結集しており、彼らは夜ごと近未来のTOKYO伝説を紡ぎ出していった。そしてその吸引力は、制作会社であるAICスタッフも引き付け、複雑で濃密でありながら多様な顔を持つ世界を構築したのである。製作プロデューサーはYOUMEX（現東芝EMI）代表の藤田純二が担当。彼は『機動戦士ガンダム』等の音楽ディレクターとしてアニメ・サントラブームを起こした気鋭の人物であった。企画当初から音楽性を重視した本作のため、主題歌、挿入歌、BGMには藤田の手腕が存分に発揮された。音楽にはヒットメーカー馬飼野康二が起用され、またロック歌手であるプリス役声優には新人歌手を抜擢するなど、画面に新風を吹き込むことに成功した。藤田はのちにこう語った。「〝一般市民感情に基づく正義感と行動力をテーマにした近未来のSFアクションドラマ〟これがバブルガムクライシスの全てだった。このようなドラマにとって音楽は重要な要素である。〝仕置〟を盛り上げ、それを〝様式美〟にまで高めるための〝音楽〟を必要とした。時代劇ではない近未来SFとして相応しい音楽はロックしかなかった。バブルガムの音楽はどれも〝怒り〟がテーマだった……」

いつもは一人の録音スタジオから、突然未知のアフレコ・スタジオにほうり出された歌手・大森絹子、そしてナイトセイバーズ役の声優・榊原良子、富沢美智恵、平松晶子たちは、音響監督・松浦典良の4年にわたる演出のもとで年齢や経験はもちろん人生観も異なる関係を乗り越え、役柄そのままの固い絆を結んでいくことになる。

第1話から3話までは世界観を説明しつつ、ゲノムとナイトセイバーズの対立の構図が描かれ、企画当初から参加した秋山勝仁監督独自の視点が貫かれていた。その初期3話を契機として、若く有能なクリエイターたちが次々とバブル・ワールドの住人となった。第4話では林宏樹がメカニズムへの執着と、キャラクターの生活描写とを融合させた佳作を発表。彼のその後の作風を決定づけている。また第5、6話は、熱血アニメーターとして頭角を表していた大張正己が初めて演出に挑戦。その後の活躍のきっかけを手中にした。第7話では作画監督として園田キャラを見事に自分のものとした、うるし原智志の美学で彩られ、またラストの第8話では、合田浩章による緻密な人間ドラマが輝きを放ち、現在に至る作劇リズムをつかんだといっても過言ではないだろう。

創世期から爛熟期へと移行するOVAシーンにおいて、バブルガムクライシスは多くのクリエイター、アーチスト、そしてファンが一体となって構築した類い稀なシリーズであった。そしてその時代の熱情は、TV版スタッフの手によって新たな伝説へと昇華したのである。（文中敬称略）

名作はDVDで永久保存

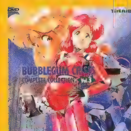
OVA版は、現在東芝デジタルフロンティアよりDVDソフトとして発売中だ。TV版をより楽しむためにも、またOVAの歴史を知る上でもぜひチェックしてほしい！



■バブルガムクライシス・コンプリートコレクションVol・1／第1～3話を収録。BBBA－1058 4800円（税抜）



■バブルガムクライシス・コンプリートコレクションVol・2／第4～6話を収録。BBBA－1059 4800円（税抜）



■バブルガムクライシス・コンプリートコレクションVol・3／第7～8話を収録。BBBA－1060 4800円（税抜）

©AIC・東芝EMI

混沌都市MEGA TOKYOの舞台裏

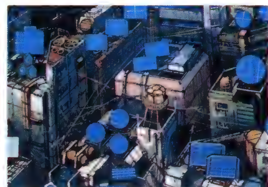
作品の舞台は2032年の東京である。設定は1986年に着手され、今後起こり得る第二次関東大震災や、その影響による都市再開発、テクノロジーの発達、人々の日常などが綿密にシミュレートされた。ここでは、MEGA TOKYOへと変貌した未来都市を構築する3つの要素を検証してみたい



↑全高約1,000mに及ぶゲノムタワー。現在の初台周辺に位置するゲノムの本拠地。着工以来8年が経過した今なお天に向かって増築が続けられている。街を狂わす悪の城だ



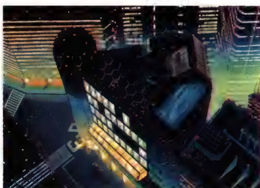
↑MEGA TOKYOの中心を横切る大断層。底辺の居住区はスラム化しており、犯罪の温床となっている



↑深刻なエネルギー資源不足の解消のため、街中にはガソール車が走り、ビルの屋上には集光器が並ぶ



↑プリスが住むトレーラー。シャッターに書かれた"REPLICANTS"とはプリスのバンド名である



↑シリアが所有するファッションビル"Lady's 633"。最上階が居住スペースとなっている

MEGA TOKYO

西暦2025年に発生した第二次関東大震災で壊滅的な打撃を受けた東京。東西に走る高低差50mの大断層は、復興作業が継続している2032年においても、大きな傷痕となって残っている。20世紀に建造された高層ビル街は老朽化のため、解体作業が進んでいる（第1話の冒頭に注目。企画時には計画段階だった新都庁舎の解体が描かれている）。見捨てられた旧市街と、復興された新市街が混然となり、人々の生活は大きく変化した。極端な貧富の差が露呈し、モラルの低下を招いた。さらに重科学犯罪が多発し、都市機能は破綻寸前となっていた。それでも街は、欲望や絶望を飲み込んでバブルガムのごとく膨らみ続け、破裂寸前のクライシスを迎えようとしていた。



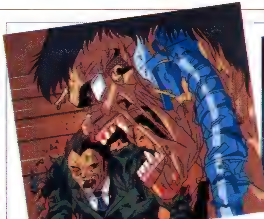


↑フル装備のADポリス隊員。殉職率は非常に高い
←左上はポータブル攻撃ヘリ"ファイア・ビー"。折り畳まれた状態で輸送され、市街地でのブーマ追撃に使用される。下はレオン専用のK-12S試作装甲兵（第5～6話に登場）だがスーパーブーマには無力だった

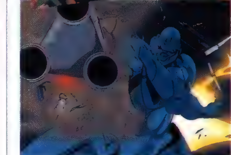
AD.POLICE

2025年の大震災以降、市民の暴動や違法ブーマが引き起こす凶悪犯罪が続発した。復興に追われる既存の警察機構ではもはや鎮圧は不可能となっていた。そのため政府は行政上7分割されている警察機構から独立した〝暴徒鎮圧隊〟を設立、それがADポリスの誕生となった。隊員の多くは一般警察（ノーマルポリス）から選抜されており、レオン・マクニコルも交通機動隊から転属、その初期はADP特殊機動隊員（フロンター）として活動した（註／トニーたけざきによるコミック『AD・POLICE終焉都市』（小社刊）には、フロンター時代のレオンの活躍が描かれている）。

隊員たちは耐火防弾スーツと光学センサー装備の防弾ヘルメットを装着し、グレネード付きのマシンガンで武装している。また、設立当初よりもブーマによる重犯罪が多発したことが要因となり、装甲兵員輸送車や攻撃ヘリ、また本来防衛軍に配備される装甲兵なども装備され、その規模は軍隊に近いものとなっている。とはいえブーマ犯罪の多くは裏でゲノムが糸を引いているため、捜査に圧力がかかることも多く、さらにナイトセイバーズの登場もレオンたちの不満の元凶になっている。







↑完成したアダマ。だがそのコストは宇宙飛行士20人分の教育費用に匹敵した
↑文字通り"人の皮"を破って本性を現すC系列ブーマ。その重量を計測しない限り人間と見分けがつかない。下はその物質融合機能を利用し、破損した右腕の代わりに機関砲を融合した例である

BOOMER

21世紀に入り、宇宙開発の急速な発展に伴って、特殊環境下で人間の補助作業を行う新たな存在が求められた。それがブーマと呼ばれる亜人間であった。PCBC（亜人創造計画）はシリアの父であるスティングレイ博士が所長を務めるバイオエスケープ・コーポレーション（ウィズ・ラボラトリー）で研究が進められた。2020年、その第1号である『アダマ』が完成。しかし、2年後に研究施設が謎の爆発事故を起こし、所長以下全スタッフは死亡、データも焼失したため計画は中止となってしまった。だがこれは、ブーマの独占利用を企むゲノムの犯行であり、その主犯はメイスンであった。ゲノムは引き続いてブーマ開発を進め、20年代後半ついに違法ブーマを完成するに至った。その中心はC系列（コンバット・タイプ）と呼ばれるもので、それらは人間に偽装して行動することが可能だ。またC系列ブーマは、標準装備である自己修復機能をより発展させた『物質融合機能』を有しているのが大きな特徴である。人の魂をも融合したブーマの進化は止まらず、ついにはラルゴのようなニュータイプも出現するようになったのである。

●2032年のレオンを描いた『AD、ポリス25時』（トニーたけざき著、大日本絵画刊）も発売中。



■普段はバイクを愛し、ライブハウスを熱狂させるロッククイーン。大震災で両親を亡くし、すさんだ生活をしていたが、内に秘めた激しい闘志がシリアの目にとまりメンバーとなる。ADポリスを憎んでいるがレオンには心を開くようになる。



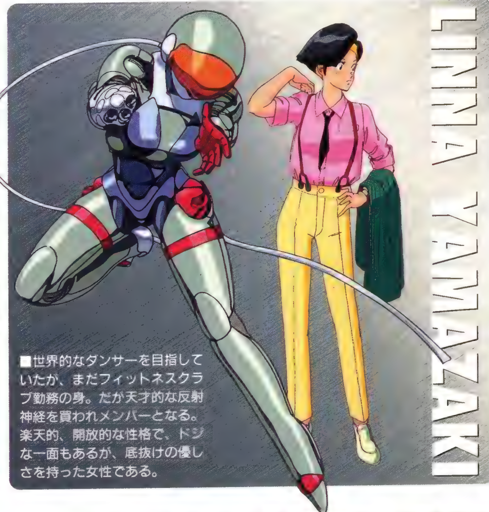
■父であるスティングレイ博士から、ブーマ・テクノロジーを脳内にインプットされた。普段はランジェリーショップのオーナーだが、ゲノムの野望を砕くため、ナイトセイバーズのリーダーとして戦う。

KNIGHT SABERS

ハイテク甲冑、ハードスーツをまとった女必殺仕置人。4人の騎士たちは、今夜も巨悪に立ち向かうのだ！



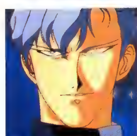
■ADポリスに勤務する女性警官。ミーハーな性格だが、天才的ハッカーで、シリアのコンピュータに侵入した腕を認められメンバーとなる。攻撃力は低いが、敵のデータ分析などに才能を発揮する。



■世界的なダンサーを目指していたが、まだフィットネスクラブ勤務の身。だが天才的な反射神経を買われメンバーとなる。楽天的、開放的な性格で、ドジな一面もあるが、底抜けの優しさを持った女性である。

●4人の活躍を描いた『GO／GO／セイバーズ』（神塚ときお著）は電撃コミックから発売中。

THE OTHERS



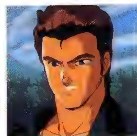
ラルゴ(メイスン)

■ブーマによる新世界創造を企むスーパーブーマ。ビーム衛星と同調する機能を持つ。その頭脳には、メイスンの意志が生きている。



デーリー王

■レオンのパートナーで、事件現場の指揮を行う。ホモの気があるが、時々その"女の勘"で事件のヒントをつかむこともある。



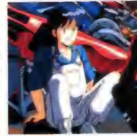
レオン・マクニコル

■ADポリスの指揮官として活躍。ブーマ事件ではいつもナイトセイバーズに先を越されて面白くない。プリスの大ファンである。



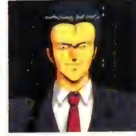
レーヴィン博士

■ナイトセイバーズのメカの開発を手掛ける天才エンジニア。第4話でギブスンの求めに応じてグリフォンの違法改造に手を貸した。



マッキー・スティングレイ

■シリアの弟で、メカいじりとノゾキが好きな少年だが、ナイトセイバーズのサポートやメインテナンスもこなす。ネネに憧れている。



ブライアン・J・メイスン

■クインシーの秘書。スティングレイ博士を殺害し、ブーマ技術を手に入れた。様々な悪事で世界支配を推進するがシリアに阻まれる。



クインシー会長

■超集合企業体ゲノムの設立者だが、その経歴は不明。あらゆる国の経済、政府機関に影響力を持ち、世界支配を企んでいる。

DATA 1

バブルガムクライシス
BUBBLEGUM CRISIS

カラー／46分
初回発売日：1987年2月25日

BUBBLEGUM CRISIS

混沌都市の平和を守るナイトセイバーズ参上

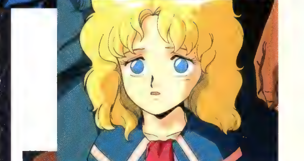

Illustrated by Ken-ichi SONODA













■STAFF
監督――秋山勝仁
脚本――松崎健一・柿沼秀樹・荒牧伸志・秋山勝仁
キャラクターデザイン――園田健一
プロダクションデザイン――柿沼秀樹・荒牧伸志・園田健一
演出――八谷賢一
作画監督――田中正弘・仲　盛文
美術監督――荒井和浩
撮影監督――高橋明彦
プロデューサー――三浦　亨

■CAST
シリア――榊原良子
プリス――大森絹子
リンナ――富沢美智恵
ネネ――平松晶子
クインシー――川久保潔
メイスン――池田秀一
レオン――古川登志夫
シンシア――笠原弘子
マッキー――佐々木望

DIGEST STORY-1

■MEGA TOKYOを疾駆する闇のハイテク仕置人ナイトセイバーズ。ある日彼女たちが引き受けた仕事の依頼主は、意外にもUSSD（宇宙防空軍）だった。誘拐された少女・シンシアの救出がその内容だ。単独で行動したプリスは水上都市でシンシアを発見、しかし誘拐犯フレデリックとその一味はゲノムのブーマだったのだ。プリスに危機が迫った時、シリアたちが登場して戦闘が始まった。フレデリックは物質融合機能を発揮して水上都市と同化、巨大ブーマへと変貌した。プリスはモトスレイヴで中枢へと突入し、機能の停止に成功。だが暴走した触手がシンシアへと伸びると、彼女の悲鳴とともに衛星兵器のビームが水上都市に降り注いだ！　彼女の正体は衛星兵器の標的として機能するUSSDの新型ブーマだったのだ。シリアたちは、炎上する水上都市の黒煙に、巨大な敵・ゲノムの姿を垣間見るのだった……。

DATA 2

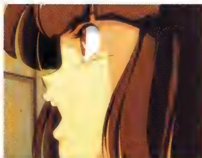
バブルガムクライシス2
BORN TO KILL

カラー／28分
初回発売日：1987年9月5日

BORN TO KILL

親友を暗殺された、リンナの怒りが爆発！

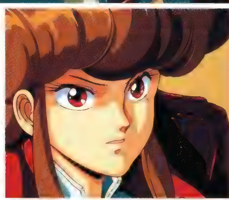

Illustrated by Ken-ichi SONODA

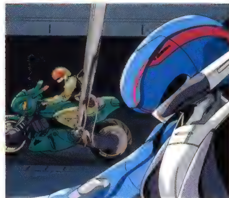












■STAFF
監督――秋山勝仁
脚本――秋山勝仁
キャラクターデザイン――園田健一
プロダクションデザイン――柿沼秀樹・荒牧伸志
演出――八谷賢一
作画監督――田中正弘・仲　盛文
美術監督――荒井和浩
撮影監督――高橋明彦
プロデューサー――青木　武

■CAST
シリア――榊原良子
プリス――大森絹子
リンナ――富沢美智恵
ネネ――平松晶子
メイスン――池田秀一
レオン――古川登志夫
デーリー――堀内賢雄
マッキー――佐々木望
アイリン――伊藤美紀

DIGEST STORY-2

■水上都市炎上のあと、ゲノムの研究所で謎の爆発事故が発生。その事故で死亡した研究員の中に、リンナの仕事仲間のアイリンの婚約者がいた。時を同じくしてナイトセイバーズは、再びUSSDから依頼を受けていた。海底から強奪されたシンシアの衛星同調システムを回収してほしいというのだ。今回の仕事に気乗りしないリンナは、アイリンを励ますために中華街へと繰り出した。アイリンは、ゲノムの悪事をマスコミへ公表することをリンナに告げた。リンナと別れると、女ブーマがアイリンを付け狙う。追いかけるリンナとプリスの面前で、無残にもアイリンは殺害されてしまった。彼女の婚約指輪を胸に秘めたリンナは出撃を決意し、ナイトセイバーズはゲノム研究所へと突入した。女ブーマたちを次々に倒して行くが、彼女たちの前に赤鬼のような巨体が出現。それは衛星同調システムが移植されたスーパーブーマだった。



Illustrated by Ken-ichi SONODA

DATA
バブルガムクライシス3
BLOW UP

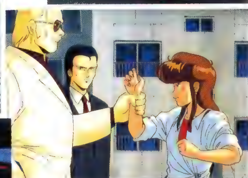
3

カラー／26分
初回発売日：1987年12月5日

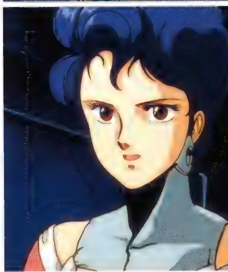
BLOW UP

ついに対決の時を迎えるシリアとメイスン！









■STAFF
監督――秋山勝仁
脚本――秋山勝仁
キャラクターデザイン――園田健一
プロダクションデザイン――柿沼秀樹・荒牧伸志
演出――井出安軌
作画監督――田中正弘・奥田　淳
美術監督――荒井和浩
撮影監督――高橋明彦
プロデューサー――田崎　廣・青木　武

■CAST
シリア――榊原良子
プリス――大森絹子
リンナ――富沢美智恵
ネネ――平松晶子
メイスン――池田秀一
レオン――古川登志夫
クインシー――川久保潔
マッキー――佐々木望
ショウ――羽村京子

DIGEST STORY-3

■ある夜に発生した戦闘ブーマの暴走事件。だがそれは、住民に恐怖を与え、土地買収を推進するメイスンの計画であった。地上げの対象となった第12地区に住むプリスは、母親と二人暮らしの少年シヨウと知り合った。いつか郊外に住むことを夢見る親子の姿に、孤児であるプリスはかなわぬ夢を重ね合わせた。そのころ、シリアは父親であるスティングレイ博士殺害の主犯がメイスンであることを確認。シリアの正体を知ったメイスンもいよいよ行動を本格化させた。プリスたち住民を無視して第12地区の開発工事が開始されたのだ。アパートにわずかな貯金を取りに戻った母親は、瓦礫の下敷きとなり息絶えてしまう。怒りに燃えたプリスは掟を破り単独で出動しようとするが、シリアたちもすでに出撃の準備を整えていた。ゲノムタワーに突入するナイトセイバーズ。その最上階で、シリアとメイスンの宿命の対決が始まった！


Illustrated by Ken-ichi SONODA

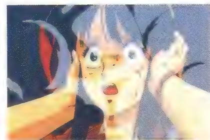
DATA
バブルガムクライシス4
REVENGE ROAD

4

カラー／40分
初回発売日：1988年7月24日

REVENGE ROAD

復讐心を乗せて加速する怪物マシンの咆哮













■STAFF
脚本――有井絵夢
キャラクターデザイン――園田健一
プロダクションデザイン――荒牧伸志
グリフォン・コンセプトデザイン――横山　宏
演出――林　宏樹
作画監督――田中正弘・奥田　淳
美術監督――荒井和浩
撮影監督――小西一廣
プロデューサー――田崎　廣・青木　武

■CAST
シリア――榊原良子
プリス――大森絹子
リンナ――富沢美智恵
ネネ――平松晶子
レオン――古川登志夫
デーリー――堀内賢雄
マッキー――佐々木望
ギブスン――塩沢兼人
ナオミ――荘真由美

DIGEST STORY-4

■夜の街を暴走するアウトライダーたち。そんな彼らを蹴散らす一台のモンスター・マシンが出現。ドライバーの名はギブスン。無法者たちに傷つけられ、心を閉ざしてしまった恋人ナオミの復讐のため、彼は愛車グリフォンを違法改造し、毎夜ハイウェイを猟場としていたのだった。ナイトセイバーズのメカ開発に協力するレーヴィンは、ギブスンの愚行に気づかず、彼の要求のままグリフォンの改造に手を貸していた。エスカレートするギブスンの暴走に、ついに警察の手が伸びる。全てを悟ったレーヴィンはナオミを連れて逃走したギブスンを止めようと、シリアたちに救援を求めた。しかし、警察とのチェイスのショックでグリフォンの制御システムが暴走、ギブスンとグリフォンは一体化し停止不能に陥ってしまう。追いつけるのは、もはやマッキーが試作した怪物バイク、ハイウェイスターしかない。プリスが決死の追撃を開始した！



Illustrated by Ken-ichi SONODA

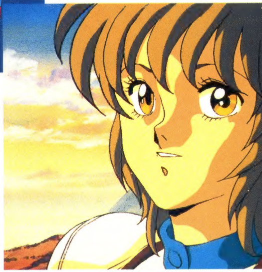
DATA **5**

バブルガムクライシス 5
MOON LIGHT RAMBLER

カラー／43分
初回発売日：1988年12月25日

MOON LIGHT RAMBLER

宇宙から舞い降りた、美しきヴァンパイア













■STAFF

スーパーバイザー	荒牧伸志
ストーリーボード・演出	大張正己
キャラクターデザイン	園田健一
ゲストキャラデザイン・作画監督	合田浩章
D－Dデザイン・作画監督	大張正己
プロダクションデザイン	夢野れい
美術監督	荒井和浩
撮影監督	高橋明彦
プロデューサー	田﨑　廣・青木　武

■CAST

シリア	榊原良子
プリス	大森絹子
リンナ	富沢美智恵
ネネ	平松晶子
レオン	古川登志夫
デーリー	堀内賢雄
シルヴィ	鷹森淑乃
アンリ	水谷優子
ラルゴ	曽我部和恭

DIGEST STORY-5

■宇宙人工島ジェナロスから少女たちが脱走を企てた。シルヴィとアンリ、二人の正体は、33－Sと呼ばれるセクサロイド・ブーマ。人工島の男たちの愛玩品として閉ざされた運命を打破しようと、地球を目指したのである。シャトル墜落の直後、シルヴィはプリスたちと知り合い自由を味わっていた。その一方で続発する吸血鬼事件。それは自由をつかみとろうとするシルヴィの裏の顔であった。彼女は、血液循環機能を損傷したアンリのため、試作戦闘メカD－Dを駆り、女性の血液を採取していたのだ。D－Dは密売のためシャトルに搭載されたもので、首謀者であるGPCC局長フリントは不祥事発覚を恐れ、謎の男ラルゴに回収を命じていた。ラルゴたちに追跡されたシルヴィは反撃を開始。しかし、傷ついたシルヴィはD－Dとシンクロし、さらに自爆装置が作動してしまう。プリスは友を撃てるのか？



Illustrated by Ken-ichi SONODA

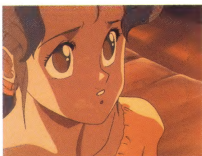
DATA **6**

バブルガムクライシス 6
RED EYES

カラー／50分
初回発売日：1989年8月30日

RED EYES

新世界創造を画策するラルゴの野望が炸裂！













■STAFF

監督	大張正己
キャラクターデザイン	園田健一
ゲストキャラデザイン	合田浩章
プロダクションデザイン	荒牧伸志・山根公利
ストーリーボード	大張正己
作画監督	松原秀典・合田浩章・大張正己
美術監督	池田繁美
撮影監督	高橋明彦
プロデューサー	田﨑　廣

■CAST

シリア	榊原良子
プリス	大森絹子
リンナ	富沢美智恵
ネネ	平松晶子
レオン	古川登志夫
デーリー	堀内賢雄
クインシー	川久保潔
ラルゴ	曽我部和恭
アンリ	水谷優子

DIGEST STORY-6

■サイバードロイドによる世界支配を企むラルゴの魔手がシリアたちに向けられた。偽ナイトセイバーズによる悪事で挑発されるナイトセイバーズ。血気にはやるネネたちであったが、シルヴィの命を奪ってしまったショックが大きいプリスは仕事を降りてしまう。プリス抜きで偽物の挑戦を受けたシリアたち。だが、その圧倒的なパワーに追い詰められてしまう。同じ頃ハイウェイを飛ばすプリスは、アンリを従えたラルゴの車とすれちがった。ラルゴは野望達成の切り札OMSをクインシー会長に要求するため、ゲノムタワーに向かっていたのだ。アンリを追ってタワーに向かったプリスは、シルヴィの仇だと洗脳されているアンリにナイフで刺されてしまう。だがその刃の痛みを受け入れたプリスの涙がアンリの心を解放した。しかしラルゴの攻撃から身を呈してプリスをかばったアンリは絶命、プリスの怒りがついに爆発する！



Illustrated by Ken-ichi SONODA

DATA

バブルガムクライシス8 SCOOP CHASE

カラー／50分

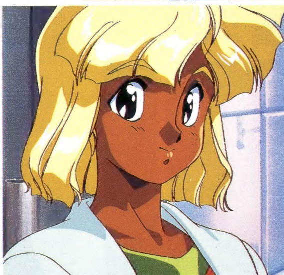
初回発売日：1991年1月30日

8 SCOOP CHASE

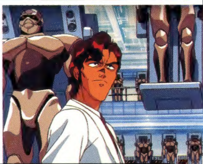
かわいい強敵、リサが狙うネネたちの秘密













■STAFF

監督――合田浩章
ストーリー原案――合田浩章・松原秀典
脚本――吉田英俊
キャラクターデザイン――園田健一
プロダクションデザイン――荒牧伸志・山根公利・夢野れい・園田健一
作画監督――松原秀典・岸田隆宏
美術監督――平城徳浩
撮影監督――小西一廣
プロデューサー――田﨑　廣・小泉　聰

■CAST

シリア――榊原良子
プリス――大森絹子
リンナ――富沢美智恵
ネネ――平松晶子
レオン――古川登志夫
デーリー――堀内賢雄
マッキー――佐々木望
リサ――久川綾
ミリアム――二又一成

DIGEST STORY-8

■ブーマ退治に出動したナイトセイバーズを隠し撮りする少女リサは、プリスに見つかりカメラを壊されてしまった。リサはADポリス所長の叔父に署内見学を頼み、ナイトセイバーズのスクープに闘志を燃やすのだった。そんなリサの姿にお守り役を命じられたネネは一抹の不安を感じた。一方、ゲノムの系列企業エビス社ではミリアム所長が新型ブーマを極秘に開発していた。最近頻発するブーマ事件は彼の仕業であり、ナイトセイバーズのデータを入手し、新型ブーマを開発して自分の才能をゲノム本社にアピールしようとしていたのだ。再び発生したブーマ事件に出動したネネを追ったリサは、ブーマにバイザーを割られ素顔が露出した瞬間をスクープ。翌日からネネを徹底マークし始めるリサ。だがネネの困惑をよそに、ADポリスはミリアムのブーマに占拠されてしまう。孤立したリサを助けるため、ネネの戦いが始まった。



Illustrated by Ken-ichi SONODA

DATA

バブルガムクライシス7 DOUBLE VISION

カラー／50分

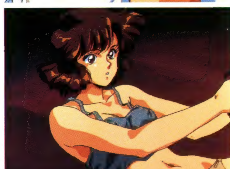
初回発売日：1990年3月14日

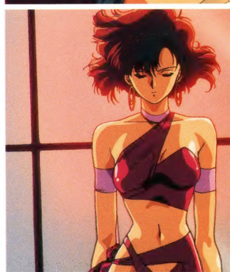
7 DOUBLE VISION

ゲノムに奪われた妹の復讐を誓う悲しき歌姫









■STAFF

キャラクターデザイン――園田健一
ゲストキャラテザイン・総作画監督――うるし原智志
プロダクションデザイン――荒牧伸志・山根公利・夢野れい
ストーリーボード――高山文彦
作画監督――よしもときんじ・うるし原智志
美術監督――南郷洋一
撮影監督――小西一廣
プロデューサー――田﨑　廣

■CAST

シリア――榊原良子
プリス――大森絹子
リンナ――富沢美智恵
ネネ――平松晶子
レオン――古川登志夫
デーリー――堀内賢雄
クインシー――川久保潔
ヴィジョン――橋本舞子
コオ――松本保典

DIGEST STORY-7

■人気歌手、ヴィジョンの1年ぶりの新曲で沸くアメリカの裏側で、G&B社とゲノムの新型ブーマ開発の契約が行われていた。だが、その会場は謎の戦闘メカによって急襲されてしまう。事件の直後、ヴィジョンが来日。その真の目的は、ゲノムに殺された妹アイリンの復讐にあった。彼女はアジア最大の企業、九星工業会長・張少奇の孫娘レイカであり、秘密結社フウバンが彼女をバックアップしていた。レイカたちは、さっそく新型ブーマ開発リーダーのカウフマン博士の暗殺を企てるが失敗。その身を案じた博士はナイトセイバーズに護衛を依頼、ホテルに逗留した。次にレイカはコールガールに扮し博士に接近、誘拐に成功する。監視していたリンナはレイカの面影が気にかかり尾行を開始。行き着いた所は、アイリンの眠る墓地だった。レイカの仲間に拉致されたリンナは、復讐の無意味さをレイカに説くのだったが……。

バブルガムクライシス TOKYO2040 アイテム紹介



★ヤッホーツ！　ネネで〜す。最後にあたしたちのキャラクターグッズを紹介するネ。ナイトセイバーズの活躍を1巻に2話ずつ記録したビデオテープ&LDはトーゼン発売中。1巻に4話ずつ記録したレンタル版もリリース中だよ。是永巧一さんのサントラや、歌プリスこと須藤あきらさんのヴォーカル曲を集めたCDアルバムもステキだよ。ほんでほんでー、全99種類のトレカもあるんだかんね。ガレージキットの即売会とかで、あたしとかプリスのハードスーツ姿のフィギュアを売ってたー、なんて情報もあるけど、そのへんは公式データには記録されてないみたいなんで、自分で探してみてよ。ほんじゃ、がんばってコレクションしてよね。バイバ〜イ!!

■ビデオテープ&レーザーディスク　ACTION1〜7(発売中!)※以下続巻



⇧レーザーディスク
ACTION 1の初回生産特典、山田正樹描き下ろしジャケットによるボックス

■各巻２話収録（50分）、全13巻予定
各6,090円（税込）
発売元：日本ビクター
※毎月１巻ずつリリース中。
最終巻TV未放映25話、26話を収録

■トレーディングカード



■１パック10枚入り
343円（税抜）
１ボックス15パック入り
5,145円（税抜）

描き下ろしイラスト４枚を含む全99種類

■ビデオテープ（レンタルヴァージョン）



■各巻４話収録（100分）、全８巻予定
各9,660円（税込）
発売元：日本ビクター
※毎月１巻ずつリリース中。

■CDアルバム&シングルCD



■BUBBLEGUM CRISIS TOKYO 2040 オリジナルサウンドトラック１
品番：VICL-60236
3,045円（税込）
発売元：ビクターエンタテインメント

■BUBBLEGUM CRISIS TOKYO 2040 オリジナルサウンドトラック２
品番：VICL-60238
3,045円（税込）
発売元：ビクターエンタテインメント



■y' know
品番：VICL-30221
作詩：須藤あきら／
作曲：SAGE KOIZUMI／
編曲：是永巧一
歌：プリス・S・アサギリ
1,020円（税込）
発売元：ビクターエンタテインメント



■プリス・アサギリ ヴォーカルコレクション AS SEKIRIA
品番：VICL-60237
3,045円（税込）
発売元：ビクターエンタテインメント



■BUBBLEGUM CRISIS コレクターズＦＩＬＥ1999
品番：VICL-60239
3,045円（税込）
発売元：ビクターエンタテインメント



■Waiting for YOU
品番：VICL-30222
作詩：須藤あきら／
作曲：須藤あきら／
編曲：是永巧一
歌：須藤あきら
1,020円（税込）
発売元：ビクターエンタテインメント



■イラスト／山田正樹（ビデオテープ&LD第３巻ジャケット用）

※この商品情報は、1999年11月10日現在のものです。





ISBN4-8402-1279-1

C0076 ¥3000E

発行●メディアワークス

定価：本体 3,000円
※消費税が別に加算されます